

くしろの水道

2024年度

(令和6年度)

2025年（令和7年）9月発行

釧路市上下水道部

目 次

<p>I 事業のあらまし</p> <p>1 釧路市の地勢及び気候</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地勢 7 (2) 気候 7 <p>2 釧路市の水源</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 屈斜路湖 8 (2) 釧路川と新釧路川 8 (3) シュンクシタカラ川 8 (4) 田ブチ川 8 (5) チップ川 8 <p>3 水道の立地条件</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 川の水質 9 (2) 防寒対策 9 (3) 地震地帯 9 (4) 配水方式 9 <p>4 水道事業の沿革</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 水道事業の始まり 10 (2) 改良事業の取り組み 10 (3) 拡張事業等の取り組み 10 (4) 地震と復旧への取り組み 12 <p>5 簡易水道事業の沿革</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 釧路地区的簡易水道事業 13 (2) 阿寒地区的簡易水道事業 14 (3) 音別地区的簡易水道事業 15 <p>6 釧路町への給水開始から給水区域化に至るまで 17</p> <p>7 拡張事業の推移 18</p> <p>8 事業年表 18</p> <p>9 施設の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 上水道 20 (2) 山花簡易水道 22 (3) 阿寒簡易水道 23 (4) 鮑別簡易水道 25 (5) 阿寒湖畔簡易水道 26 	<p>(6) 音別簡易水道 27</p> <p>(7) 二俣飲料水供給施設 29</p> <p>10 水道料金の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 上水道 30 (2) 簡易水道(山花) 34 (3) 簡易水道(山花・阿寒・阿寒湖畔) 34 (4) 簡易水道(山花・阿寒・阿寒湖畔・音別・二俣) 34 (5) 簡易水道(阿寒・阿寒湖畔) 35 <p>II 業務のあらまし</p> <p>1 水道の普及状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 人口 39 (2) 世帯数 39 <p>2 業務量</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 施設能力及び利用状況 40 (2) 用途別の給水収益・有収水量・供給単価 42 (3) 業務用業態別給水収益・水量 44 (4) 配水量 48 <p>3 料金業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 検針実績 50 (2) 調定件数・水量・金額 50 (3) 料金収納状況 50 (4) 滞納整理状況 51 (5) 口座普及状況 51 (6) 異常水量調査業務 51 (7) 法律事務所への債権回収委託の状況 51 <p>4 給配水装置維持管理の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 給配水管保存工事 52 (2) 給水工事件数の推移 52 (3) メーター整備工事の状況 52 <p>5 水質検査・試験の種類と回数 53</p> <p>6 薬品及び電力使用量の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 薬品使用量 53 (2) 電力使用量 53 <p>7 水質検査成績</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 愛國浄水場 54
---	---

(2) 山花簡易水道	55
(3) 阿寒浄水場	56
(4) 鮑別浄水場	57
(5) 阿寒湖畔浄水場	58
(6) 音別浄水場	59
(7) 直別浄水場	60
(8) 二俣飲料水供給施設	61

7 経営分析指標	
(1) 決算書内の経営指標に関する項目	89
(2) 構成比率	89
(3) 回転率	90
(4) 施設及び業務概況に関する指標	90
(5) 損益収支及び資本収支に関する指標	91

III 2024(令和6)年度決算概要

1 業務実績について	65
2 経営状況について	
(1) 収益的収入及び支出について	66
(2) 資本的収入及び支出について	70
3 企業財政について	
(1) 資産の構成	71
(2) 負債・資本の構成	73
(3) 資金の状況について	74
4 経営指標について	75

V 機 構

1 上下水道部(水道事業)機構図	95
2 事務分掌	96
3 職員配置表	102
4 職員構成	
(1) 年齢別職員構成	103
(2) 勤続年数別職員構成(企業経験年数)	103
5 給与支給状況	
(1) 一般職	104
(2) 会計年度任用職員	104

IV 財 务

1 収益的収入及び支出	79
2 資本的収入及び支出	81
3 資金収支の状況	83
4 企業債の状況	84
5 建設改良工事の概況	
(1) 第3回拡張事業の実績状況	85
(2) 配水管整備事業の実績状況	85
(3) 浄水場施設整備事業の実績状況	86
(4) 簡易水道整備事業の実績状況	86
(5) メーター整備事業の実績状況	87
(6) 水質検査機器整備事業の実績状況	87
6 給水原価の費用別内訳	88

I 事 業 の あ ら ま し

1 釧路市の地勢及び気候

(1) 地 勢

釧路市は、北緯42度58分10秒、東経144度22分24秒、北海道の東部に位置する面積1,363.26km²の都市である。

市域は海岸に沿って細長く、地形は中央に平坦な釧路湿原が広がり、東部は釧路段丘、北部は鶴居丘陵、西部は白糠丘陵で南部が太平洋に面している。釧路湿原の北部は泥炭地で、この湿原を西から阿寒川・新釧路川・釧路川が分断しており、海岸線は新釧路川以東が海蝕崖であり、西は平坦な砂浜が続いている。

東部の高台は住宅地、西部の低地は住宅及び商工業地が広がり、北部は住宅地として伸展し、これらの背後には『自然の博物館』と評される面積18,290haを有する日本最大の釧路湿原が広がっており、また、阿寒の山々が織りなす優れた原始的景観を有する『火山と森と湖』の阿寒摩周国立公園がある。

(2) 気 候

釧路沖は、太平洋の寒流と暖流が合流する位置にあたり、春から夏にかけて特有の海霧が発生し、まちを包む霧の日は年間約90日にも達している。7月・8月の平均気温は20度前後と涼しく過ごしやすい。秋には移動性高気圧のため爽やかな秋晴れの日が多い一方、台風や低気圧、秋雨前線などの影響で降水量が多くなる。冬は西よりの風が吹き、寒冷で晴れの日が多く、空気は乾燥し、降雪量は比較的少ないのが特徴である。

項目 年次	気 温							降 水 量			
	平 均 (°C)	最 高			最 低			總 量 (mm)	1時間最多量 (mm)	1日最多量 (mm)	
		平均(°C)	最高極(°C)	左の月日	平均(°C)	最低極(°C)	左の月日				
2020(令和2)年	7.5	11.4	30.4	8月13日	3.7	-18.0	2月7日	856.0	26.5	60.0	
2021(令和3)年	7.6	11.6	31.7	8月13日	3.5	-18.9	2月7日	1,319.5	30.0	182.5	
2022(令和4)年	7.9	11.9	33.5	7月31日	4.0	-17.6	1月31日	1,287.5	33.0	129.5	
2023(令和5)年	8.5	12.6	29.7	8月18日	4.5	-18.7	1月30日	1,065.5	34.5	84.5	
2024(令和6)年	1月	-3.6	0.7	4.7	1月5日	-9.0	-17.0	1月11日	20.5	3.5	13.0
	2月	-3.9	0.3	11.0	2月14日	-8.5	-16.2	2月4日	21.0	2.0	8.0
	3月	-0.6	3.6	9.9	3月31日	-4.9	-12.0	3月5日	50.5	7.0	41.0
	4月	7.2	11.3	19.7	4月27日	3.7	-2.2	4月3日	91.5	5.5	45.0
	5月	9.9	14.5	20.5	5月19日	6.5	0.7	5月9日	57.0	3.5	14.5
	6月	14.3	18.1	26.3	6月19日	11.4	2.2	6月2日	62.5	24.5	31.5
	7月	19.9	23.6	28.4	7月2日	17.0	13.5	7月2日	80.5	9.5	41.5
	8月	21.2	24.5	29.1	8月10日	18.6	14.3	8月21日	190.0	27.5	69.5
	9月	17.7	22.3	27.2	9月9日	13.4	6.4	9月22日	83.5	15.0	33.0
	10月	13.4	18.0	23.7	10月16日	8.3	-1.0	10月21日	79.5	7.5	25.0
	11月	5.6	10.5	17.7	11月11日	0.2	-5.8	11月20日	69.0	16.5	61.5
	12月	-2.9	1.8	10.7	12月3日	-8.4	-13.1	12月18日	11.5	3.0	4.0
年	8.2	12.4	29.1	8月10日	4.0	-17.0	1月11日	817.0	27.5	69.5	

(気象庁 気象統計情報より)

2 鋸路市の水源

鋸路市の上水道の水源は、阿寒摩周国立公園の東部に位置する屈斜路湖（標高 121m）を源とする鋸路川である。また、簡易水道の水源は、①山花簡易水道が地下水、②阿寒簡易水道が国有林の山間部を流域としているシunkシタカラ川、③飽別簡易水道が国有林の山間部を流域としている田ブチ川、④阿寒湖畔簡易水道が阿寒摩周国立公園の保護区域内で阿寒湖に注ぐチップ川、⑤音別簡易水道が地下水、⑥二俣飲料水道が地下水である。

(1) 屈斜路湖

屈斜路湖は、最大径約 13 km、最小径 7 km、面積 77.5 km²のカルデラ湖である。深さは最深部で 120m、大部分は 30~40m で、貯水量は約 33.3 億 m³である。水質の特徴は、1980（昭和 55）年代までは pH が 5.0~5.2 と酸性で、特に湖の流入河川の一つである湯川は、2.0~2.2 を示す強酸性河川であったが、湖水の pH が上昇しはじめ、現在では 7.0~7.5 のアルカリ性となっている。

また、湖畔は、温泉地及びレクリエーションの場として有名であり、夏季には多くの観光客が訪れる。

(2) 鋸路川と新鋸路川

鋸路川は、流路延長 154 km、流域面積 2,510 km²、流量毎秒 57.75 m³/sec（490 万 m³/日）の規模を誇る北海道で 4 番目の河川である。源は屈斜路湖で、その南端から流出し、途中で石狩別川、美留和川などの水を集め弟子屈町に至る。弟子屈市街では当別川と合流し、さらに、磯分内市街に至る直前で磯分内川、標茶で多和川を集めて鋸路湿原に入る。

新鋸路川は、1920（大正 9）年に鋸路市街地の大半が水没するほどの未曾有の洪水が鋸路川で発生したことを契機に、1921（大正 10）年に岩保木地点から 11.2km の新水路を掘削し、市街地を流れる鋸路川を上流域から切り離す工事に着手し、1931（昭和 6）年に完成了。

その後、この分水路が 1967（昭和 42）年に 1 級河川指定され「鋸路川」（鋸路川は「旧鋸路川」）となったが、2001（平成 13）年に「新鋸路川」（旧鋸路川は「鋸路川」）に変更された。

鋸路湿原は、最大幅東西 25 km、南北 40 km、東側に海跡湖を残し、日本最大の面積を有するが、1985（昭和 60）年の環境庁の調査で 29,084ha の面積が 18,290ha に減少していることがわかっている。

なお、鋸路川の上流部に塘路漁協、新鋸路川の下流部には鋸路市漁協の漁業権が設定されている。

(3) シunkシタカラ川

シunkシタカラ川は、流路延長 30.5 km、流域面積 62.6 km²規模の河川である。国有林内の奥深い秘湖、シunkシタカラ湖の伏流水を含みながら、国有林の山間部を流域として、舌辛川、阿寒川と合流している。

(4) 田ブチ川

田ブチ川は、流路延長 3.0 km、流域面積 3.1 km²規模の河川である。国有林の山間部を流域として、泉川、阿寒川と合流している。

(5) チップ川

チップ川は、流路延長 2.4 km、流域面積 2.2 km²規模の河川である。阿寒摩周国立公園の保護区域内にある 10 数河川の 1 河川で、阿寒湖に注いでいる。

3 水道の立地条件

(1) 川の水質

釧路川は、中流域の標茶町から釧路湿原地帯に入って蛇行しながらゆっくりと貫流し、水質は湿原の影響を大きく受けることになる。

湿原は、ヨシやスゲを主体とした低品位泥炭からなり、保水性が高く、広範囲であるため、洪水時の一一種の遊水池の役目を果たしている。夏季は、湖沼で藍藻類（特にアファニゾメノン）が大量に発生するため水処理を困難にし、湿原を貫流するうちにフミン質を含んだ着色水となる。冬季は、湿原・河川が結氷し、低水温、低濁度となり凝集性が低下するが、水質面では最もおいしい水の要件を満たす時期である。

チップ川は、火山地質由来のヒ素が基準値の4割程度存在し、降雨時に濁度及び色度の上昇は見られるが、通常時は非常にきれいな水である。

シュンクシタカラ川は、降雨時に濁度及び色度の上昇は見られるが、通常時はきれいな水である。

田ブチ川は、降雨時に濁度及び色度の上昇は見られるが、通常時はきれいな水である。

(2) 防寒対策

年 次	雪の初終日		積雪の初終日		霜の初終日		結氷の初終日	
	初 日	終 日	初 日	終 日	初 日	終 日	初 日	終 日
2020(令和2)年	11月25日	4月25日	12月30日	3月22日	10月18日	10月22日	10月22日	10月22日
2021(令和3)年	11月22日	4月15日	12月17日	4月 2日	10月19日	10月19日	10月19日	10月19日
2022(令和4)年	11月14日	4月17日	12月17日	3月12日	10月20日	10月20日	10月20日	10月20日
2023(令和5)年	11月25日	4月 9日	12月12日	3月 9日	11月13日	11月13日	11月13日	11月13日
2024(令和6)年	11月 6日	4月30日	12月 4日	3月27日	10月14日	10月21日	10月21日	10月21日

※霜及び結氷の終日については2019（令和元）年2月3日をもって気象台による目視観測が廃止になったため空欄。

（気象庁 札幌管区気象台より）

このような気候的条件から、水道施設には防寒対策が必要であり、建設費や維持費が割高となるなど、本州方面に比べて不利な条件となっている。

- 浄水施設は全て屋内に収容し、冬期は暖房での保温が必要となる。
- 配管は地下凍結線（1.5m程度）以下に埋設することを原則とし、地上部は保温を施すなどコスト高となる。
- 給水栓は不凍式の水抜栓を用い、メーターは隔測タイプの地上式を採用している。

(3) 地震地帯

釧路市は、千島火山帯の延長線上に位置することから地震発生の回数も多く、釧路地方は特定観測地域に指定されている。したがって、災害時であっても市民生活や都市機能を維持できる必要最小限度の水を確保するため、ライフラインの整備を図らなければならない。

(4) 配水方式

釧路市上水道の取水口は、河口より約10km上流で標高値は約4mであり、愛国浄水場もほとんど同標高である。一方、給水区域は東部の高台地区（標高30～70m）を除く大部分が平坦地であることから、給水エリアの約85%がポンプ加圧方式となっている。

山花簡易水道は、ポンプ圧送と配水池からの自然流下を併用した方式で配水している。

阿寒簡易水道は、阿寒浄水場から布伏内及び阿寒の2か所の配水池までポンプ圧送により送水し、配水池から自然流下により配水している。

飽別簡易水道は、飽別浄水場の配水池から自然流下により配水している。

阿寒湖畔簡易水道は、阿寒湖畔浄水場隣接の配水池から自然流下により配水している。

音別簡易水道は、各浄水場から高地にある配水池までポンプ圧送により送水し、配水池から自然流下により配水している。

4 水道事業の沿革

(1) 水道事業の始まり

1921（大正 10）年頃、市街地には 1,000 余の井戸があったが、飲料に適するのは橋南地区の 360 余であった。橋北地区はほとんど不適という状態であり、馬車による水売りという商売も誕生した。また、当時の建築様式と防火用水の不備も重なって、1913（大正 2）年、1919（大正 8）年、1923（大正 12）年と三度にわたる大火にも見舞われていた。さらに、釧路港も船舶の出入りが頻繁となり、住民は伝染病に対して強い危機感を抱いていた。

このようなことから、飲料水の確保と大火や疫病の防止を目的とした上水道計画を策定、1923（大正 12）年 2 月水道布設の認可を申請し、1924（大正 13）年 7 月事業認可を得て、同年 11 月に別保川を水源とする鶴ヶ岱浄水場の建設に着手し、1927（昭和 2）年 1 月 1 日から給水を開始した。これが当市近代水道の礎となる歴史的第一歩となった。

竣工は 1930（昭和 5）年 5 月 31 日、計画給水人口は 60,000 人、配水能力は 8,340 m³であった。事業費は約 261 万円で、これは当時の市予算規模に換算すると 5 か年分に相当する。給水を開始して 10 か月後の 1927

（昭和 2）年 10 月 8 日、鶴ヶ岱浄水場にて釧路市上水道通水式を挙行した。工事報告の中で水道使用者の数は、給水区域内戸数の半ばにあたる 3,600 戸を超え、日ごとに増加している状況が記されている。当時の釧路市の人口は、1927（昭和 2）年 9 月現在 42,504 人、世帯数は 8,535 世帯であった。



鶴ヶ岱浄水場建設(ろ過池築造 1925(大正 14)年)

(2) 改良事業の取り組み

戦後は、戦災の復旧や人口の増加及び原水の悪化などにより、1948（昭和 23）年から第 1 次増補改良事業に着手し、鶴ヶ岱浄水場で最も老朽化していたろ過池の改良、沈殿池の築造及びポンプ設備の整備を行った。

1949（昭和 24）年に隣接する鳥取町と合併し、人口は 85,180 人となった。当時の鳥取町は、一部の住民が民間の専用水道を利用していたが、大半は井戸水の不良等で飲料水の確保に苦労を重ねていた。このような状況から、当市の上水道創設時から住民の切なる給水要望があり、市として応じる意図もあったが、行政区画の相違という壁があったため、実現に至らなかった。したがって、給水問題は合併条件の一番に位置づけられ、最も急がれた事業であった。

第 1 次増補改良事業は、1950（昭和 25）年に竣工し、計画給水人口 100,000 人、一日配水量 20,000 m³と能力アップし、鳥取地区への給水には絶好のタイミングとなった。1951

（昭和 26）年には、鳥取地区への飲料水供給を目的として配水管拡張事業に着手し、同年 10 月 6 日に旧町民歓呼の中で通水式が挙行された。

(3) 拡張事業等の取り組み

ア 第 1 回拡張事業

鳥取町との合併や諸産業の伸展に伴う急激な人口の増加等により、別保川を水源とした取水に限界があったことから、新たな浄・配水体系の整備が課題となった。1957（昭和 32）年に将来的な見通しのもと、水量の豊富な新釧路川を水源とした愛国浄水場の建設に着手し、1959（昭和 34）年 12 月には一部給水を開始、1963（昭和 38）年 8 月に竣工した。

配水管の整備は、鉄北地区の水圧と配水量の增量を主目的に進められたが、事業変更により愛国南、新富士、鳥取各地区の整備が加えられた。総事業費は約 7 億円であった。

竣工時の給水状況は、配水能力 51,130 m³、給水人口 142,524 人、普及率 89.3%、年間配水量 12,876 千 m³であった。

イ 第2回増補改良事業

1960（昭和35）年には、白樺台住宅団地の造成や民有施設である配水管（石綿管）の折損事故等から桜ヶ岡、益浦、望洋、春採各地区の給水体制を整備する必要があり、桜ヶ岡配水池の強化及び配水主管の布設を行った。1962（昭和37）年には、大規模な水産加工場の建設や桜ヶ岡、益浦地区の水需要の増加に対処するため、貝塚取水ポンプ場の原水の揚水能力を増強し、2年後の1964（昭和39）年に竣工した。

ウ 大楽毛地区拡張事業

1964（昭和39）年には、本州製紙釧路工場の進出後、大楽毛地域の市街化が進んだことから、大楽毛簡易水道の拡張事業に着手した。井戸、配水池及び配水管の拡充整備を行い、1966（昭和41）年に竣工した。

エ 第2回拡張事業

1965（昭和40）年代に入り、増加を続ける人口と水産業を中心とした各種産業の活発化に伴い、水需要は大幅に伸びていた。1966（昭和41）年から愛国浄水場系統の取水施設の整備、高速沈殿池、送配水ポンプ及び配水池を建設し、給水区域の大幅な拡大（2,960haから4,490haに拡大）による配水管の布設（延長約65km）を行い、1971（昭和46）年9月に竣工した。竣工時の給水状況は、配水能力66,720m³、給水人口198,406人、普及率98.8%、年間配水量18,681千m³であった。これにより桂恋簡易水道は鶴ヶ岱浄水場系統に統合された。

大楽毛簡易水道は継続使用されたが、1974（昭和49）年8月に地下水量の減少や水質悪化及び施設の耐久性に問題があったことから、愛国浄水場に統合された。

オ 第3回拡張事業

市勢の発展に伴う産業の伸展や給水区域の拡大、生活水準の向上など増え続ける水需要と浄水体制整備のため、1971（昭和46）年4月に約85億円で着手した。当時、鶴ヶ岱浄水場の水源である別保川の水質悪化と水量不足から、水需要に見合った水源を確保する必要があった。

このような状況から、当市上水道の水源をすべて新釧路川に求め、愛国浄水場の浄水、送水及び配水部門を整備拡充し、浄水部門の集約化を図った。これに伴い、1973（昭和48）年9月、鶴ヶ岱浄水場は緑ヶ岡や桜ヶ岡地区の需要増に対応するための配水センターとして機能することとなった。その後、鶴ヶ岱浄水場は、1978（昭和53）年10月に市内高区への配水機能を持った貝塚送配水ポンプ場の供用開始に伴い、1979（昭和54）年12月に半世紀以上にわたる長い歴史に幕を閉じた。

1980（昭和55）年には、産業界が第1次オイルショック後の低成長時代に移行、また200海里問題等により水需要が鈍化し始めた。一方、都市環境整備など社会資本の充実により、給水区域を昭和、美原、大楽毛地区に拡大し、さらに、1982（昭和57）年には大規模運動公園、芦野、新野地区などに給水区域を拡大して水需要の確保に努めた。

しかし、1982（昭和57）年をピークに年々給水人口は減少を続け、2016（平成28年）度には計画給水人口244,730人から182,903人、一日最大給水量109,100m³から63,400m³へと大幅に見直しをすることとなった。

愛国浄水場更新工事については、配水池更新工事を行う第一期工事を2011（平成23）年に着工し、2017（平成29）年3月に竣工している。また、現在は、浄水施設を建設する第二期工事を2017（平成29）年から着工し、2026（令和8）年度末の竣工を予定している。

カ 老朽管路更新事業

将来にわたって持続可能な水道事業の確立に資するため、2015（平成27）年1月に策定した「釧路市水道管路更新基本方針」に基づき、2015（平成27）年度から2019（令和元）年度にかけて基本計画の基礎となる更新検討を進め、2021（令和3）年3月に「釧

路市水道管路更新基本計画」及び「実施計画」を策定した。

2022（令和4）年度より、この計画を基に本格的な老朽管の更新を実施している。

（4）地震と復旧への取り組み

釧路地方は、特定観測地域に指定されるほど頻繁に大地震が発生しており、1935（昭和10）年以降だけでもマグニチュード7以上の地震は30回を数えている。

ア 十勝沖地震

1952（昭和27）年3月4日午前10時23分、十勝沖を震源とするマグニチュード8.2、震度5の強震が発生し、送電線の事故によって市内は一時全市断水という事態に陥る。幸いにして基幹施設の揚水機器等は被害が僅少であったため、停電の回復とともに翌朝から給水を開始することができた。

しかし、当時はまだ凍結期であったため、日時の経過に伴い被害が継出し、特に春採と桜ヶ岡地区の給水事情は悪化し、散水車による運搬給水を行った。

復旧には、当時の年間水道事業予算の約3分の1にあたる3,641万円、期間は2か年を要した。

イ 釧路沖地震

1993（平成5）年1月15日午後8時6分、釧路沖20kmを震源とするマグニチュード7.8、震度6の烈震が発生し、主に配水池や給配水管等の施設が被害に遭った。地震発生直後から迅速な応急復旧を施し、職員一丸となって不眠不休の復旧作業に努めたことにより、給水が平常の状態に回復したのは一週間後のことであった。

被害規模は、配水管関係が約4,500万円、貝塚送配水ポンプ場のPC配水池が約2,000万円、愛国浄水場・山花簡易水道関係が約1,100万円で、復旧全体では約1億円を要した。

この地震で最も被害を恐れていた唯一の浄水施設である愛国浄水場は、1986（昭和61）年から取り組んできた可撓管や緊急遮断弁の取付けなどの耐震化事業が功を奏し、特に大きな被害を受けなかった。このことが早期復旧につながり、市民生活に重大な影響を及ぼさずに済んだ大きな要因であった。

ウ 北海道東方沖地震

1994（平成6）年10月4日午後10時23分、北海道東方沖を震源とするマグニチュード8.1、震度6の烈震が発生し、配水管等24か所の配水施設が被害に遭った。

被害規模は約1,400万円であった。職員は、前年の震災を教訓に早期に非常体制を整え、施設の点検や復旧作業にあたり、3日間程度で復旧した。これら震災の教訓として、ライフラインの確保に直結する施設の耐震化事業、防災設備や防災訓練の必要性と重要性が再認識された。

エ 平成15年十勝沖地震

2003（平成15）年9月26日午前4時50分頃、十勝沖を震源とするマグニチュード8、震度5強の地震が発生し、主に配水管や給水管の折損亀裂、継手の離脱等による22件の漏水（後にこの地震が原因と思われる漏水事故が7件）はあったが、過去の地震災害の教訓もあり地震発生から2日間程度で早期復旧が図られ、被害規模は約3,300万円であった。また、震源地に近い十勝支庁が最も被害が大きく、当市は日本水道協会北海道地方支部道東地区協議会区長都市として、池田町と浦幌町に給水タンク車の出動や給水袋の支給など応急給水支援に努めた。



この十勝沖地震では、当市から震源地が離れていたことにより被害は少なかったが、災害復旧マニュアルの充実や市町村間の連携をより一層密にする必要性が認識された。

5 簡易水道事業の沿革

釧路市は、釧路地区、阿寒地区、音別地区の各々で簡易水道事業を実施している。

(1) 釧路地区の簡易水道事業

釧路地区では、郊外にある桂恋及び大楽毛地区が浄水場から遠距離で集落間の距離も遠く、水道は未布設という状態であった。特に桂恋地区は、地下水に恵まれず山肌から出るわずかな水を飲料としている状態で常に水不足に悩まされていた。1950（昭和 25）年には異常渇水に見舞われたため、簡易水道設置の声が高まり、水源難から全く異例の表流水取水による簡易上水道計画を国に申請した。

認可申請に当たっては、施設を簡便にするなど工夫をこらした結果、全国で最初の表流水取水の桂恋地区簡易上水道として認可された。桂恋及び大楽毛地区住民の悲願であった簡易上水道事業は、桂恋地区が 1954（昭和 29）年 10 月着手し、同年 12 月に竣工、大楽毛地区は 1955（昭和 30）年 10 月着手し、1956（昭和 31）年 1 月に竣工、給水を開始した。

一方、山花地区は、釧路未開拓施策のモデル地区として酪農経営の中核地帯であったが、市内の中心地より 17 km と遠隔の地にあり、水道は未布設という状態であった。一部の住民は、市の助成を得て自噴井戸を持つことができたが、大半は 1 km 離れた沢から湧水する表流水に依存していた。

このような状況から、衛生面の向上や防火用水の確保、さらに、酪農経営の発展を図るために、1960（昭和 35）年に山花簡易水道の建設に着手し、同年 12 月に給水を開始した。

ア 山花簡易水道(現存)

・計画給水人口	800 人	・計画一日最大給水量	120 m ³
・水源の種類	地下水	・計画一人一日最大給水量	150 ℥
・給水区域	山花地区	・事業費	5,803,000 円

1960(昭和 35)年 7 月 16 日 工事着工

同年 8 月 22 日 釧路山花簡易水道事業認可

同年 11 月 30 日 工事竣工

イ 桂恋地区簡易水道(廃止)

・計画給水人口	950 人	・計画一日最大給水量	110 m ³
・水源の種類	無名川の表流水	・計画一人一日最大給水量	116 ℥
・給水区域	桂恋地区	・事業費	4,156,365 円
1954(昭和 29)年 10 月 3 日 工事着工			
1954(昭和 29)年 12 月 20 日 工事竣工			
1955(昭和 30)年 3 月 23 日 簡易水道布設工事認可(表流水取水の簡易上水道は、全国で最初の異例措置)			
1971(昭和 46)年 9 月 上水道事業第 2 回拡張工事に伴い簡易水道事業を廃止し、統合			

ウ 大楽毛地区簡易水道(廃止)

・計画給水人口	7,000 人	・計画一日最大給水量	2,100 m ³
・水源の種類	地下水	・計画一人一日最大給水量	300 ℥
・給水区域	大楽毛中心地区	・事業費	42,000,000 円
1955(昭和 30)年 10 月 総事業費 12,010 千円で工事着工し、1956(昭和 31)年 1 月計画給水人口 1,500 人、計画一日最大給水量 225 m ³ にて供給開始			
1959(昭和 34)年 第 1 期拡張工事 ・総事業費 8,370 千円			・計画給水人口 4,500 人
1962(昭和 37)年 第 2 期拡張工事 ・総事業費 42,000 千円			・計画給水人口 7,000 人
1974(昭和 49)年 8 月 地下水量の減少等により愛国浄水場(上水道事業)に統合			

(2) 阿寒地区の簡易水道事業

阿寒湖畔地区は阿寒摩周国立公園の中心地として発達し、年々増加する観光客は市街定住人口の3~5倍となり、これに伴う諸施設も年々充実されてきた。阿寒湖畔の地層は第三紀層になるため僅かな掘抜き井戸と泉水などを使用していたが、公衆衛生、火災予防の見地からも水道整備が強く望まれ、1957（昭和32）年にチップ川表流水を水源とする緩速ろ過方式で阿寒湖畔簡易水道事業を計画し、1958（昭和33）年より給水を開始した。その後、急増する観光客や宿泊施設の増拡充等による水需要の増加に対応するため、1969（昭和44）年に第1期拡張工事、1981（昭和56）年に第2期拡張工事を実施した。

近年、降雨時に原水水質の悪化が確認され浄水方法を検討した結果、膜ろ過方式を採用することとし、2012（平成24）年3月に計画給水人口1,400人、1日最大給水量2,800m³の認可変更を受けた。膜ろ過方式による浄水施設は、2012（平成24）年度から2か年で建設し、2014（平成26）年3月に通水を開始している。

阿寒市街の水道は、1956（昭和31）年に阿寒村簡易水道事業、1967（昭和42）年に布伏内簡易水道事業、1968（昭和43）年に雄別簡易水道事業が創設され、地区ごとに水道供給を行っていた。1972（昭和47）年には、これら3簡易水道事業を統廃合し、阿寒川水系舌辛川支流ベルツナイ川表流水を水源とする雄別簡易水道施設を拡張した阿寒上水道事業として変更認可を受け、阿寒市街一帯の水道供給を行うことになった。ところが、水源であるベルツナイ川においては、上流の森林伐採が進み、夏と冬の渇水期には河川流量が計画取水量を下回り、降雨時には流水の色濁度が急上昇するなど浄水処理に苦慮していた。また、水源や浄水施設は市街地から12km離れている雄別地区にあるため、特に除雪を伴う冬季間の渇水や凍結による取水障害など緊急時の対応に不安があった。

このため、給水計画の見直しや水道施設の再検討を実施した結果、1986（昭和61）年に給水人口が5千人以下の簡易水道事業への事業変更及び阿寒川水系舌辛川支流シュンクシタカラ川表流水への水源変更を行い、布伏内地区に浄水場新設を内容とする阿寒簡易水道事業への変更認可を受け、1990（平成2）年から給水を開始した。その後2020（令和2）年に降雨時の高濁度及び渇水期のカビ臭対策として水源の追加（伏流水）に伴い認可変更を行っている。

飽別地区では、酪農業を中心とした農村地域として発展し、湧水や井戸などを生活（飲料）・営農用水として利用してきたが、水量の減少や水質悪化、飼養牛の増加による水不足などが発生し、生乳生産に必要な清潔で安定した水を求める声が高まった。

このような状況から田ブチ川を水源とした計画給水人口180人、一日最大給水量426m³の飽別浄水場を1987（昭和62）年に急速濾過方式で建設し給水を開始した。

また、2010（平成22）年4月1日には北海道から簡易水道事業の許可を受け飽別簡易水道事業として現在に至っている。

ア 阿寒簡易水道（現存）

・計画給水人口	2,667人	・計画一日最大給水量	1,416 m ³
・水源の種類	シュンクシタカラ川表流水、伏流水	・計画一人一日最大給水量	531 ℥
・給水区域	阿寒町市街地区	・事業費	1,392,160,000円
1955(昭和30)年4月	総事業費30,900千円、計画給水人口3,000人で阿寒村簡易水道事業設立		
1962(昭和37)年9月	第1期拡張工事	・総事業費7,500千円	・ろ過池改良
1972(昭和47)年	阿寒村市街・布伏内・雄別の3簡易水道事業を廃止し、上水道事業に統合 総事業費170,000千円で1974(昭和49)年に竣工し、ベルツナイ川表流水を		
	源に、計画給水人口7,000人、計画一日最大給水量2,450m ³ で供給を開始		
1986(昭和61)年	雄別炭鉱の閉山等により給水人口が5,000人以下となることに伴い、上水道 事業から簡易水道事業への事業変更と水源をシュンクシタカラ川に認可変更		
2020(令和2)年3月	水源の追加(伏流水)に伴い、計画給水人口2,667人、1日最大給水量1,416 m ³ に認可変更		

イ 鮑別簡易水道(現存)

・計画給水人口	180 人	・計画一日最大給水量	426 m ³
・水源の種類	田ブチ川表流水	・計画一人一日最大給水量	2,367 ℥
・給水区域	阿寒町徹別地区	・事業費	515,000,000 円
1987(昭和 62)年	総事業費 515,000 千円、計画給水人口 180 人で鮑別営農用水道事業設立		
2010(平成 22)年	簡易水道事業を新設		

ウ 阿寒湖畔簡易水道(現存)

・計画給水人口	1,400 人	・計画一日最大給水量	2,800 m ³
・水源の種類	チップ川表流水	・計画一人一日最大給水量	1,857 ℥
・給水区域	阿寒湖畔地区	・事業費	316,000,000 円
1957(昭和 32)年 7 月	総事業費 20,700 千円、計画給水人口 4,800 人で簡易水道事業を新設		
1969(昭和 44)年 4 月	第 1 期拡張工事		
1981(昭和 56)年	第 2 期拡張工事		
2012(平成 24)年 3 月	阿寒湖畔浄水場工事に伴い、計画給水人口 1,400 人、1 日最大給水量 2,800 m ³ に認可変更		

エ 阿寒村市街簡易水道(廃止)

・計画給水人口	3,000 人	・計画一日最大給水量	450 m ³
・水源の種類	チロッペ川表流水	・計画一人一日最大給水量	150 ℥
・給水区域	阿寒市街	・事業費	30,900,000 円
1955(昭和 30)年 4 月	工事着工		
1956(昭和 31)年 1 月	工事竣工		
1972(昭和 47)年	阿寒村市街・布伏内・雄別の 3 簡易水道事業を廃止し、上水道事業に統合		

オ 布伏内簡易水道(廃止)

・計画給水人口	2,200 人	・計画一日最大給水量	330 m ³
・水源の種類	雄別炭鉱用水道より分水	・計画一人一日最大給水量	150 ℥
・給水区域	布伏内地区	・事業費	9,960,000 円
1967(昭和 42)年	工事着工		
同年	工事竣工		
1967(昭和 42)年 3 月 31 日	阿寒町布伏内簡易水道事業認可		
1972(昭和 47)年 3 月	布伏内簡易水道事業廃止許可を受け、阿寒上水道事業に統合		

カ 雄別簡易水道(廃止)

・計画給水人口	3,600 人	・計画一日最大給水量	540 m ³
・水源の種類	ベルツナイ川表流水	・計画一人一日最大給水量	150 ℥
・給水区域	雄別地区	・事業費	9,960,000 円
1967(昭和 42)年 10 月 12 日	工事着工		
1967(昭和 42)年 3 月 31 日	阿寒町雄別簡易水道事業認可		
1968(昭和 43)年 1 月 31 日	工事竣工		
1972(昭和 47)年 3 月	雄別簡易水道事業廃止許可を受け、阿寒上水道事業に統合		

(3) 音別地区の簡易水道事業

音別地区は、1955（昭和 30）年頃、市街地の北部山岳地帯を除いた大部分が低位泥炭地層に覆われているため適當な飲料水を得ることができず、やむなく市街地を流れる音別川の表流水か飲料不適の井戸を利用している状況であった。このような状況下にあることにより、環境衛生上から 1958（昭和 33）年音別町簡易水道事業の認可を得て、音別川左岸の浅井戸を水源とした計画給水人口 3,000 人、一日最大給水量 450 m³の施設整備を実施した。

また、直別地区は、直別川の表流水を利用していたが、1962（昭和 37）年に直別地区簡易水道事業の認可を得て、水源として直別川旧河川敷地内に浅井戸を設置し、計画給水人口 200 人、一日最大給水量 30 m³の整備を実施した。

一方、二俣地区には集落があり、小中学校や保育所及び郵便局等がありながら水道が無く、家庭用井戸に頼っていたが、1979（昭和 54）年に浅井戸を水源とした計画給水人口 67 人、一日最大給水量 23.75 m³とした飲料水供給施設が整備された。

現在の音別町簡易水道事業認可は、2003（平成 15）年直別地区簡易水道事業との統合により、計画給水人口 2,840 人、一日最大給水量 1,700 m³に変更されている。

ア 音別簡易水道(現存)

・計画給水人口	2,840 人	・計画一日最大給水量	1,700 m ³
・水源の種類	地下水	・計画一人一日最大給水量	599 ℥
・給水区域	音別町市街地区	・事業費	333,777,000 円
1958(昭和 33)年 9 月 総事業費 17,380 千円、計画給水人口 3,000 人で簡易水道事業を新設			
1962(昭和 37)年 11 月 総事業費 1,700 千円、計画給水人口 200 人で直別地区簡易水道事業を新設			
2003(平成 15)年 直別地区簡易水道と統合し、計画給水人口 2,840 人に認可変更			

イ 二俣飲料水供給事業(現存)

・計画給水人口	67 人	・計画一日最大給水量	23.75 m ³
・水源の種類	地下水	・計画一人一日最大給水量	202 ℥
・給水区域	音別町二俣地区	・事業費	31,793,000 円
1979(昭和 54)年 二俣地区に集落があり、浅井戸を水源として、飲料水供給施設を整備			

6 釧路町への給水開始から給水区域化に至るまで

沿革

1955(昭和 30)年代に入り、基幹産業をはじめとする各種産業が成長し、隣接する釧路村の別保原野に釧路市内の事業者による企業が進出して、水道水の供給を求められた。このようなことから 1963(昭和 38)年 1 月、釧路村に上水道を布設することに関する協議書を締結し、行政区域外に初めて給水を開始した。

1966(昭和 41)年、釧路市は経済政策の一環として、釧路村セチリ太に水面貯木場と木工団地を造成し、市の港湾事業で給水管網の整備を行った。これに伴い、市は釧路村の同意を得て、釧路村セチリ太を新たに区域外給水の対象とした。

1967(昭和 42)年には木工団地に隣接した東光団地が造成された。1968(昭和 43)年、釧路村は、市からの分水による水源を条件に東光団地簡易水道事業の認可を受けたことから、同年 11 月に市と釧路村で分水契約を締結し、一日最大給水量を 100 m³とした分水を開始した。

その後、木工団地や東光団地に順調に企業が進出し、一般住宅も加速度的に建設され、人口も増加した。1970(昭和 45)年、東光団地簡易水道事業の廃止と第 3 回拡張事業に併せ、鉄工団地を含めて市の給水区域に編入した。

また、1973(昭和 48)年、山崎団地等いわゆる東陽西地区への分水を要請され、一日最大給水量を 260 m³として分水を開始し、1974(昭和 49)年には東陽東地区にも分水を拡大した。

1975(昭和 50)年、釧路村は東陽簡易水道事業の効率的な経営を図るため、別保原野を市の給水区域から外し、天寧地区等を新たに加えた。これに伴い、分水の增量要請があり、一日最大給水量を 348 m³に拡大した。

現在の木場、光和、新開等、釧路町(1980(昭和 55)年町制施行)の行政区域を含めた市の給水区域は、このときに確定した。1978(昭和 53)年には東陽簡易水道事業に遠矢地区を加え、一日最大分水量を 1,242 m³とした。

1980(昭和 55)年 4 月、釧路村はまちの発展に対応して町制を施行した。その後も大型商業施設の立地や住宅団地の開発等による人口の増加に伴い、分水量の增量を要請してきた。

釧路町は、以前から水利条件が悪く、飲料水の確保は困難な状況におかれていたため、市としては広域的観点から町の增量要請に応えることとし、1987(昭和 62)年に一日最大分水量を 1996(平成 8)年度まで 4,200 m³に拡大した。

1996(平成 8)年 5 月、町より人口の増加に伴う給水需要増と簡易水道事業の水量低下等から、更なる安定給水の確保を目的として、一日最大分水量を 1999(平成 11)年度まで 6,400 m³とする分水の增量要請があり、同年 10 月 25 日、「水道水に関する協定書」を締結し、将来にわたり広域的観点から町の水の安定給水に積極的に協力することとなった。

このように、市が町の分水区域への安定給水に寄与する一方で、今後の町の水道事業のあり方について協議を行ってきたが、2006(平成 18)年 4 月 1 日付で「水道水に関する協定書」の一部改正を行い、町への分水を解消するとともに恒久的な水道水の供給体制の構築を見定めた内容を加え、協定期間を 2008(平成 20)年 3 月 31 日までとし、その後の更新により 2013(平成 25)年 3 月 31 日まで延長した。

この協定により、釧路町分水区域の釧路市給水区域への編入に向けた本格的な協議が始まり、双方における様々な課題を解決する中、2011(平成 23)年 8 月 29 日に「水道事業の統合に関する基本協定」を締結し、2013(平成 25)年 4 月 1 日から釧路市水道事業と釧路町水道事業を統合した。

7 拡張事業の推移

区分	創設	第1次 改良事業	配水管 拡張事業	桂恋地区 簡易水道事業	大楽毛地区 簡易水道事業	第1回 拡張事業	山花地区 簡易水道事業	第2回 増補改良事業	大楽毛地区 拡張事業	第2回 拡張事業	
議決年月日	1923(大正12). 2.12	-	-	1954(昭和29). 3.25	1954(昭和29). 9.18	1957(昭和32). 3.15	1959(昭和34). 9.25	1962(昭和37).12.20	1963(昭和38).12.20	1965(昭和40).10.2	
認可年月日	1924(大正13). 7.17	1950(昭和25).10.13	1951(昭和26). 5.10	1955(昭和30). 2.23	1955(昭和30). 3.13	1957(昭和32). 3.19	1960(昭和35). 8.22	-	1963(昭和38).12.28	1965(昭和40).12.8	
事業期間	着工年月日	1924(大正13).11.-	1948(昭和23). 4.1	1951(昭和26). 8.-	1954(昭和29).10.3	1955(昭和30).10.12	(1958(昭和33).9.-)	1957(昭和32). 4.- 1960(昭和35). 7.16	1962(昭和37). 4.-	1964(昭和39). 4.-	
	竣工年月日	1930(昭和5). 5.31	1951(昭和26). 3.31	1955(昭和30). 3.31	1954(昭和29).12.20	1956(昭和31). 1.31	(1963(昭和38). 8.3)	1962(昭和37). 3.- 1960(昭和35).11.30	1965(昭和40).10.-	1966(昭和41). 3.-	
	目標年次	-	-	-	-	-	1970(昭和45)年度	-	-	1975(昭和50)年度	
基本計画	給水人口(人)	60,000	100,000	15,000	950	1,500	165,500	800	-	7,000	
	一日最大給水量(m³)	8,340	20,000	-	110	225	49,500	120	-	2,100	
	一人一日最大給水量(l)	139	200	-	116	150	300	150	-	300	
	総事業費	計画(千円)	2,700	16,000	16,000	4,000	12,000	(700,000)	60,000	-	-
		実績(千円)	2,604	20,168	27,398	4,156	12,011	681,025	5,803	150,167	42,025
主たる水源	別保川	別保川	-	無名川(表流水)	地下水	新鰐路川	地下水	-	地下水	鰐路川	
建設した主な施設と主要事項	通水開始 1927(昭和2). 1. 1 (水源地)	取水場防潮 門扉 13ヶ所 電動ポンプ	1949(昭和24).10.10 鳥取町と合併	(水源設備) 取水井	(水源設備) さく井 3本 浅井戸 1眼	(申請) 1956(昭和31).12.25	ポンプ室築造 さく井	臨港鉄道新南埠頭 の構築	本州製紙飼工場 の進出による		
	取水場築造 導水管 Φ75×620m	120馬力3台 50馬力3台	(配水設備) 配水管	(送水管) Φ100×64m Φ125×81.5m	(送水設備) ターピンポンプ 2台	厚生・建設大臣 あて 事業期間の()内	φ150× 深さ124.5m 配水管	桜ヶ岡配水池の改良 白樺台団地の造成	配水管の拡張 Φ75～Φ250 ×3,893m		
	取水ポンプ2台 (送水管) Φ450×2,418m Φ450×276.4m	(目的) 鶴ヶ岱浄水場の施設改良と浄化能力の増加のため。	(目的) 鶴ヶ岱浄水場の施設改良と浄化能力の増加のため。	(净水所) Φ100～Φ400 × 8,518m	(配水設備) 着水井 混和槽 沈殿槽 ろ過機 塩素殺菌機 送水ポンプ 配水池添架	総事業費の()内 は、実質期間 総事業費の()内 は、変更後	Φ75～Φ125 ×1,292m 屋内動力設備 塩素殺菌設備2台	港町地区給水強化 大規模な水産加工場の新設による	配水池築造 RC600m³×1池 井戸(Φ300)		
	(浄水場) 沈殿池 3池 8,317m³/日	ろ過池 4池 8,888m³/日	(配水管)	(净水所) Φ75～Φ150 ×3,680m	(配水設備) 配水池築造 大樂毛橋添架 Φ125×190m	水中ポンプ	他	井戸(Φ300) 40,000m³/日			
	塩素殺菌設備 薬品注入設備 送水ポンプ3台 配水ポンプ3台 配水池築造 2,260m³×1池	配水管	(配水管) Φ100～Φ500 ×51,237m	(附帶設備) 地上式消防栓8基 職員住宅 1棟	(取水設備) 導水管 Φ800×335m 水源ポンプ場築造 取水ポンプ3台他	貝塚揚水ポンプ強化 愛國浄水場との給水地区分担による		(取水施設) 取水門築造 取水管布設 Φ1,200×285m			
①事業費は、税抜である。 ②H4認可の計画総事業費は、認可申請時の拡張分 2,185,000千円を含む。					(送水設備) 送水ポンプ Φ700×6,900m	ポンプ室 上屋改修 ポンプ3台 配水管常又弁 (城山)Φ350×1基 流量計設置 Φ350×2基	配水管布設 Φ75～Φ250 ×68,614m				
					(净水設備) アセレーテー 2槽 ろ過池 6池 他 (配水設備) 配水池築造 配水ポンプ4台 配水管 Φ100～Φ800 L=28,170m	鶴ヶ岱浄水場 ポンプ室改築 RC2F×120m² ポンプ2台 電気設備一式他	用地取得 20,126m²				

8 事業年表

大正		昭和											
12年	元 5 10 15 20 25	30				35			40		45		
1923年	1926	1945	1950	1955				1960	1965		1970		
創設 大正13	使用開始 昭和2	第1次改良事業(昭和23～26)			桂恋地区簡易水道事業 (昭和29～29)			大楽毛地区簡易水道事業(昭和30～31)			第2回増補改良事業(昭和37～40)		
		十勝沖地震災害復旧事業(昭和27～28)						第1回拡張事業(昭和33～38)			第2回拡張事業(昭和41～46)		
		配水管拡張事業(昭和26～30)			山花地区簡易水道事業(昭和35～35)			大楽毛地区拡張事業(昭和39～41)			▼鰐路町東光団地行政区域外給水開始(昭和38.1.16)		

区分		第3回拡張事業				
		1971(昭和46)年認可	1980(昭和55)年認可変更	1982(昭和57)年認可変更	1992(平成4)年認可変更	2016(平成28)年認可変更
議決年月日		1970(昭和45).10.21	1979(昭和54).3.24	1981(昭和56).9.14	1992(平成4).6.2	-
認可年月日		1971(昭和46).1.7	1980(昭和55).3.5	1982(昭和57).7.6	1992(平成4).10.9	2016(平成28).7.21
事業期間		着工年月日 1971(昭和46).4.-	1971(昭和46).4.-	1971(昭和46).4.-	1992(平成4).10.-	2017(平成29).4.-
竣工年月日 (予定期) (1980(昭和55).10.-)		(予定期) (1986(昭和61).3.-)	(予定期) (1989(平成元).3.-)	(予定期) (2006(平成18).3.-)	(予定期) (2021(令和3).3.-)	(予定期)
基本計画	目標年次	1985(昭和60)年度	1987(昭和62)年度	1990(平成2)年度	2022年度(2013(平成25)年度届出変更)	2025(令和7)年度
	給水人口(人)	290,700	246,478	246,478	244,730	182,903
	一日最大給水量(m³)	107,600	109,100	109,100	109,100	63,400
	一人一日最大給水量(l)	370	443	443	446	347
	総事業費	8,500,000	10,130,783	14,612,222	28,228,875	46,843,915
	実績(千円)	(1979(昭和54)年度末) 7,326,205	(1981(昭和56)年度末) 8,437,199	(1991(平成3)年度末) 13,522,177	(2015(平成27)年度末) 28,648,055	(2024(令和6)年度末) 49,171,245
主たる水源		釧路川				新釧路川
建設した主要な施設と主要事項		(取水施設) 沈砂池築造 取水管緊急遮断装置取付 取水管布設(Φ800~Φ1,200×99m) 取水口整備(函渠、制水扉) 取水口改修工事 上流取水口整備工事 (導水施設) 導水管ポンプ場築造 導水管耐震化(可撓管取付1箇所) 導水管布設(Φ500~Φ1,200×6,843m) 自家発電設備(750kVA×1台) 活性炭貯蔵庫建設 導水管バルブ閉鎖機取付(Φ700×1箇所) 導水管移設(Φ700~Φ1,000×894m) 導水管撤去(Φ700~Φ800×撤去延長129m) 導水管電気防食工事 (送水施設) 送水管耐震化(可撓管取付2箇所) 送水ポンプ設置 (175kW×3台、75kW~175kW×3台) 送水管布設(Φ300~Φ1,000×10,911m) 貝塚送水管耐震化(伸縮可撓管Φ800×7ヶ所) 鉄西水管橋補強 仁々志別川水管橋電気防食工事 貝塚送水管防食工事				
①事業費は、税抜である ②H4認可の計画総事業費は、認可申請時の拡張分 2,185,000千円を含む。		(配水施設) 貝塚送配水ポンプ場築造 桜ヶ岡ポンプ場築造 高山ポンプ場増強(2.2kW×2台) 桜ヶ岡8丁目ポンプ場築造(1.5kW×3台) 桜ヶ岡3丁目ポンプ場増強(2.2kW×3台) 配水池築造 (5,000m³×4池、1,500m³×1池、1,000m³×1池) 配水管布設(Φ50~Φ800×176,163m) 配水施設耐震化 (貝塚ポンプ井流入管、桜ヶ岡配水池連絡管) 緊急遮断弁設置 (桜ヶ岡配水池Φ300×1池、愛国5号配水池2基改良) 自家発電設備(875kVA×1台) 鉄西配水ポンプ増設(145kW×1台) 流量計室築造(鉄北・鉄西) 1系2浄水槽連絡管 愛国配水池築造(4,500m³×1池) 貝塚配水池ドーム防水 武佐系配水ポンプ設置(1台) 鉄北大橋配水管添架(Φ600×257m) 昭和地区緊急貯水槽設置工事 大楽毛西地区緊急貯水槽設置工事 愛国浄水場配水池建設工事 愛国浄水場配水池連絡管布設工事 桜ヶ岡応急給水施設整備工事 愛国浄水場送配水ポンプ場建設工事 愛国浄水場送配水ポンプ場プラント建設工事				

昭和				平成				令和
45	50	55	60	元	10	20	30	元
1970	1975	1980	1985	1989	1998	2008	2018	2019
第3回拡張事業(昭和46~)								
▼釧路町分水開始(昭和48) ▼釧路町セシリ太地区給水区域に変更(昭和45)								▼釧路町分水給水区域化(平成25)

9 施設の概要

(1) 上水道

施 設		第3回拡張事業目標 (2025年度)	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取 水 施 設	取 水 口	RC造重力式 巾4.3m～1門 巾6.0m～1門	RC造重力式 巾3.0m～1門 巾4.5m～1門	完 了
	取 水 管	BOX 1,200×1,500m/m 延長=85m HP φ 800m/m 延長=200m HP φ 1,200m/m 延長=435m	同 左	完 了
	沈 砂 池	RC造 対象砂粒径 0.1m/m以上 処理水量 117,000m ³ /日	同 左	完 了
設		2010（平成22）年9月13日許可 水利権許可水量 78,968m ³ /日 取水能力 78,968m ³ /日	同 左	
導 水 施 設	ボンプ	25.7m ³ /min×27m×160kW～3台	同 左	完 了
	導 水 管	φ 700m/m～φ 1,000m/m 延長=13,622m (2条並列)	φ 700m/m～φ 1,000m/m 延長=13,581m (2条並列)	未 完
		導水能力 74,016m ³ /日	同 左	—
淨 水 施 設	沈 殿 池	—	スラリー循環形高速凝集沈殿池 処理能力 19,500m ³ /日～2基 43,000m ³ /日～1基 55,900m ³ /日～1基	—
	ろ過池	—	RC造重力式急速ろ過池 57m ² ～12池 ろ速～145m/日	—
	膜ろ過設備	セラミック膜ろ過装置 内圧式モノリス型精密ろ過膜 膜面積 2,640m ² /基 流入水量 70,500m ³ /日	—	未 完
	マンガン接触ろ過池	25.2m ² ～8池（予備1池） ろ速～400m/日	—	未 完
		浄水能力 70,500m ³ /日	浄水能力 90,915m ³ /日	—
送 愛 配 國 水 施 設	送 配 水 ボンプ	13.1m ³ /min×45m×132kW ×4台×2系列	同 左	完 了
	ポンプ井	巾10.3m×長27.2m×深4.5m～2池 有効容量 2,400m ³	同 左	完 了
	淨 水 配 水 池	RC造 5,000 m ³ ～1池 4,500 m ³ ～1池 6,750 m ³ ～2池	同 左	完 了
	場 貝塚送水管	φ 600m/m, φ 800m/m 延長=5,272m	φ 600m/m, φ 800m/m 延長=5,243m	完 了

施 設			第3回拡張事業目標 (2025年度)	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
送配水施設	貝塚送配水ポンプ場	市内高圧系ポンプ	6.31m³/min×125m×200kW～3台	4.5m³/min×100m×132kW～3台	—
		緑ヶ岡系ポンプ 武佐系ポンプ	6.62m³/min×100m×175kW～3台	4.5m³/min×100m×132kW～3台	—
		貝塚東鉄路系ポンプ	4.17m³/min×40m×45kW～1台 1.60m³/min×42m×22kW～2台	同 左	—
	ポンプ場	配水池	RC造 5,000m³～2池	同 左	完 了
		桜ヶ岡送水ポンプ	7.0m³/min×90m×175kW～3台	7.0m³/min×80m×132kW～2台 7.0m³/min×90m×175kW～1台	—
		送水管	φ500m/m 延長＝4,536m	同 左	完 了
		鉄西配水池	RC造 500m³～2池	同 左	—
設備	桜ヶ岡配水池	RC造 1,000m³～2池 1,500m³～2池		同 左	完 了
		配水管	φ40m/m～φ800m/m 延長＝1,014,435m	φ40m/m～φ800m/m 延長＝1,030,893m	
電気設備	愛国浄水場	受電電圧	三相～6,600V	同 左	完 了
		契約電力	—	800kW(プラント用電力) 233kW(暖房用電力)	—
		自家発電	—	愛国浄水場(ディーゼル) 3.3kV 750kVA～1台 3.3kV 875kVA～1台 送配水ポンプ場(ガスタービン) 420V 750kVA～2台	—
	導水ポンプ場	受電電圧	三相～6,600V	同 左	完 了
		契約電力	—	353kW	—
		自家発電	—	500kVA～1台(ディーゼル)	—
備蓄設備	貝塚ポンプ場	受電電圧	三相～6,600V	同 左	完 了
		契約電力	—	560kW(プラント用電力) 15kW(暖房用電力)	—
		自家発電	—	1,000kVA～1台	—
計装備	愛国浄水場	—	集中管理システム	—	
	岩保木導水ポンプ場	—	遠方監視制御装置	—	
	貝塚送配水ポンプ場	—	遠方監視制御装置	—	

※配水管布設延長は、第3回拡張事業のほか配水管整備事業分を含む。

(2) 山花簡易水道

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比(対実績比較)
取 ・ 導 水 施 設	井 戸	深井戸 $\phi 150\text{m}/\text{m} \times 150\text{m}$	同 左	—
	井 戸 ポ ン プ	220 $\text{l}/\text{min} \times 45.5\text{m} \times 2.2\text{kW} \times 1\text{台}$ 受水槽水位による運転制御方式	同 左	—
	砂 除 去 設 備	サイクロン式除砂装置 サンドフィルタ式除砂装置 対象除砂粒径 $55\mu\text{m}$ 対象除砂粒径 $20\sim40\mu\text{m}$	同 左	—
淨 水 施 設	水 素 イ オ ン 濃 度 調 整 設 備	炭酸ガス注入設備 50Kgポンペ $\times 2$ 200 $\text{l}/\text{min} \times 1\text{台}$ 定量注入制御方式	同 左	—
	消 毒 設 備	次亜塩注入ポンプ 60 $\text{l}/\text{min} \times 1.0\text{MPa} \times 25\text{W} \times 1\text{台}$ 流量比例注入制御方式	同 左	—
送 ・ 配 水 施 設	受 水 槽	20 m^3 (有効容量 17 m^3)	同 左	—
	送・配水ポンプ	300 $\text{l}/\text{min} \times 37.0\text{m} \times 3.7\text{kW} \times 3\text{台}$ 吐出圧力一定制御方式	300 $\text{l}/\text{min} \times 37.0\text{m} \times 2.2\text{kW} \times 3\text{台}$ 吐出圧力一定制御方式	—
	配 水 池	1池2槽 11.8 $\text{m}^3 \times 1\text{槽}$ 、5.1 $\text{m}^3 \times 1\text{槽}$	同 左	—
	配 水 管	$\phi 75\text{m}/\text{m} \sim \phi 100\text{m}/\text{m}$ 延長=1,357m	同 左	—
電 気 設 備	受電電圧 三相~200V、 単相~100V	同 左	—	
計 装 設 備	非常時通報システム、水質監視装置(残塩、色度、pH、濁度)	同 左	—	
認 可 概 要	認可年月日 計画給水人口 計画一日最大給水量 計画一人一日最大給水量	1960（昭和35）年8月22日付、 35環第7119号指令北海道知事認可 800人 120 $\text{m}^3/\text{日}$ 150 $\text{l}/\text{人・日}$		

(3) 阿寒簡易水道

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取水施設	取水堰	台形自動転倒ゲート H1.5m×L14.95m×2連	同 左	完 了
	取水口	RC造 W1.0m×H0.5m ~ 1門	同 左	完 了
	取水管	φ 600m/m 延長=95m	同 左	完 了
	伏流水集水井	コルゲートパイプ（有孔） φ 1500×H4.0m	同 左	完 了
		ライナープレート（有孔） φ 2000×H6.0m×3基	同 左	完 了
		φ 200m/m 延長=159m	同 左	完 了
		φ 150m/m 延長=83m	同 左	完 了
		第2原水ポンプ φ 100×5.5kW×200V×1台	同 左	完 了
	設	1986（昭和61）年9月26日許可 水利権許可水量 2,486m ³ /日 取水能力 2,476m ³ /日	同 左	-
	導水施設	RC造 B3.6m×L6.8m×H1.5m 2,490m ³ /日 滞留時間20分	同 左	完 了
浄水施設	沈砂池	RC造	同 左	完 了
	導水ポンプ井	0.86m ³ /min×15m×3.7kW~3台	同 左	完 了
	導水管	φ 250m/m 延長=43m	同 左	完 了
		導水能力 2,476m ³ /日	同 左	-
	混和池	有効容量3.6m ³ ・混和時間2min W1.2m×L1.2m×H2.5m、フラッシュミキサー1.5kW×1台	同 左	完 了
	フロック形成池	有効容量72m ³ ・混和時間40min W4.5m×L2.0m×H2.0m×2池 フロキュレーター第1列：バイエルサクロ変速機0.4kW×2機 フロキュレーター第2列：バイエルサクロ変速機0.2kW×2機	同 左	完 了
	沈殿池	有効容量157m ³ ・滞留時間90min W4.5m×L7.0m×H2.5m×2池 傾斜板沈降装置	同 左	完 了
	中塩素混和池	有効容量3.6m ³ ・滞留時間2min W1.2m×L1.2m×H2.5m×1池 フラッシュミキサー1.5kW×1台	同 左	完 了
	中塩素接触池	有効容量16m ³ ・滞留時間10min W1.2m×L4.5m×H3.0m×1池 上下う流混和方式	同 左	完 了
	急速ろ過池	重力開放式急速ろ過池 W3.0m×L3.5m×3池 ろ過120m ³ /日・施設能力2,520m ³ /日	同 左	完 了
薬品注入設	浄水池	有効容量178m ³ ・滞留時間60min W8.5m×L13.2m×H1.5m×1池 逆洗ポンプ：水中ポンプ4.57 m ³ /min × 12m × 18.5kW×2台 表洗ポンプ：水中ポンプ2.1 m ³ /min × 28m × 15kW × 1台	同 左	完 了
		ソーダ灰 ソーダ灰溶解槽：鋼板製角型槽0.5m ³ ×2槽 定液位槽：塩ビ製角型槽500L×1槽 ソーダ灰搬入ホイスト：500kg×7.5m×1.5kW×0.4kW×200v	同 左	完 了
		ポリ塩化アルミニウム PAC貯蔵槽：ポリエチレン樹脂製丸型槽2m ³ ×2 PAC注入ポンプ：油圧ダイアフラム型定量注入ポンプ 0.006~0.121ℓ/min 0.2kW×200V×2台	同 左	完 了
		次亜塩素酸ナトリウム 次亜貯蔵槽：ポリエチレン樹脂製丸型槽1.5m ³ ×2槽 次亜注入ポンプ：液中ポンプ 0.25~25mℓ/min 0.025kw×AC200V×2台	同 左	完 了
		浄水能力 2,260m ³ /日	同 左	-

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
送 水 施 設	ポンプ	送水ポンプ（布伏内系） 横軸片吸込多段渦巻ポンプ $0.147\text{m}^3/\text{min} \times 60\text{m} \times 5.5\text{kW} \times 2\text{台}$	同 左	完 了
		送水ポンプ（阿寒系） 横軸片吸込多段渦巻ポンプ $1.395\text{m}^3/\text{min} \times 55\text{m} \times 22\text{kW} \times 3\text{台}$	同 左	完 了
	送水管	送水ポンプ（布伏内系） DCIP $\phi 100$ ：延長=400m SP $\phi 100$ ：延長= 160m	同 左	完 了
		送水ポンプ（阿寒系） DCIP $\phi 250$ ：延長=6, 200m	同 左	完 了
		送水能力 $2,258\text{m}^3/\text{日}$	同 左	完 了
配 水 施 設	配水池	布伏内系 RC造 $W4.7 \times L6.7 \times H3.0 \times 2\text{池}$ 有効容量 188m^3	同 左	完 了
		阿寒系 RC造 $W7.5 \times L11.4 \times H3.0 \times 2\text{池}$ 有効容量 507m^3 RC造 $W7.9 \times L11.7 \times H3.0 \times 1\text{池}$ 有効容量 277m^3	同 左	完 了
	配水管	$\phi 50\text{m}/\text{m} \sim \phi 250\text{m}/\text{m}$ 延長=42, 303m	同 左	完 了
電 気 設 備	受電電圧	阿寒浄水場 6.6kV	同 左	完 了
	契約電力	阿寒浄水場 64kW 高圧電力III型 阿寒配水池 10A 従量電灯B 布伏内配水池 10A 従量電灯B	同 左	完 了
		自家発電	阿寒浄水場 150kVA	同 左
計 装 設 備		集中管理システム 故障警報伝送システム	同 左	完 了
認可概要		認可年月日 2020（令和2）年3月26日付、環境 第1249号指令北海道知事認可 (変更) 計画給水人口 $2,667\text{人}$ 計画一日最大給水量 $1,416\text{m}^3/\text{日}$ 計画一人一日最大給水量 $531\text{L}/\text{人}\cdot\text{日}$	同 左	—

(4) 鮑別簡易水道

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取 水	取 水 壩	手動ゲート H1.0m×L1.0m	同 左	—
	取 水 口	RC造 W0.4m×H0.4m ~ 1門	同 左	—
	取 水 管	φ 200m/m 延長=14.5m	同 左	—
施 設	1989（昭和63）年6月20日許可 水利権許可水量 539.136m ³ /日 取水能力 526.8m ³ /日		同 左	—
導 水 施 設	沈 砂 池	RC造 B0.8m×L0.88m×H2.1m 526.8m ³ /日 滞留時間1.5分	同 左	—
	導 水 管	φ 100m/m 延長=159m	同 左	—
	導水能力 526.8 m ³ /日		同 左	—
淨 水 施 設	混 和 池	有効容量1.1m ³ ・混和時間3.3min W0.8m×L0.8m×H1.7m、フラッシュミキサー0.75kW×1台	同 左	—
	フロック 形成池	有効容量9.72m ³ ・混和時間29.9min W1.8m×L1.8m×H1.5m×2池 フロキュレータ：変速機0.75kW×2機	同 左	—
	沈 殿 池	有効容量36.72m ³ ・滞留時間1.9h W1.8m×L6.0m×H1.7m×2池 傾斜板沈降装置	同 左	—
	急速ろ過池	重力開放式急速ろ過池 W1.8m×L2.0m×2池 ろ過120m ³ /日・施設能力468.6m ³ /日	同 左	—
	淨 水 池	有効容量21.6m ³ ・滞留時間87.3min W4.2m×L3.3m×H2.05m 逆洗ポンプ：片吸込渦巻ポンプ 出力7.5kw 吸込φ100 吐出φ80×2台	同 左	—
	ソーダ灰 ソーダ灰溶注入電動ホイスト：電機トロリ結合型 250kg 注入ポンプ：0.24~24ml/min		同 左	—
薬 品 注 入 設	ポリ塩化アルミニウム PAC貯蔵槽：角型貯槽0.2m ³ ×2槽 PAC注入ポンプ：液中ポンプ 40.0cc/min 25W×2台		同 左	—
	次亜塩素酸ナトリウム 次亜貯蔵槽：角型貯槽0.2m ³ ×2槽 次亜注入ポンプ：液中ポンプ 8.0cc/min 25W×2台		同 左	—
	淨水能力 468.6m ³ /日		同 左	—
配 水 施 設	配 水 池	RC造 W4.5×L8.5×H3.0×2池 有効容量230m ³	同 左	—
	配 水 管	φ 50m/m ~ φ 200m/m 延長=17,943m	同 左	—
電 氣 設 備	契 約 電 力	19kW 低圧電力 7kVA 従量電灯C 18kW ホットタイム22	同 左	—
	自 家 発 電	25kVA	同 左	—
計 裝 設 備	遠方監視システム 故障警報伝送システム		同 左	—
認 可 概 要	認可年月日 2010（平成22）年3月31日付、環保 第1283号指令北海道知事認可 鮑別簡易水道事業の経営許可		同 左	—

(5) 阿寒湖畔簡易水道

施設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取 水 施 設	集水渠	RC造 W0.9m×L13.72m×H0.5m×2条	同 左	完 了
	取水井	RC造 W2.1m×L1.5m×H2.15m×1井	同 左	-
導 水 施 設	導水管	φ200m/m 延長=265m	同 左	完 了
		導水能力 3,640m³/日	同 左	-
淨 水 施 設	着水井	RC造 W2.7m×L4.8m×H3.0m×1井	同 左	完 了
	普通沈澱池	RC造 W7.0m×L22.0m×H5.3m×2池 滞留時間：8.12H	同 左	完 了
	緩速ろ過池	RC造 No.7~9 平成25年度休止 W9.2m×L12.4m×3池 ろ過：4.6m/日 処理能力：1,560m³/日	同 左	完 了
	阿寒湖畔 淨水場	RC造 地下1階地上2階、延べ床面積772.85m³ 淨水槽容量 V=119.4m³	同 左	完 了
	繊維ろ過	高速ろ過方式（前処理）2基 処理能力 2,970m³/日	同 左	完 了
	膜ろ過	膜（UF）ろ過方式 3系列 処理能力 2,860m³/日	同 左	完 了
施 設	薬品注入	ポリ塩化アルミニウム PAC貯蔵槽：PVC角型槽 有効容量：200ℓ×2 PAC注入ポンプ：電磁ポンプ 0~120ml/min×0.8MPa 0.045kw×2	同 左	完 了
		次亜塩素酸ナトリウム 次亜塩槽：EP円筒立型槽 有効容量：1.5m³×2 中次亜塩注入ポンプ：液中ポンプ 3.5~37ml/min×1.0MPa 0.025kw×2 後次亜塩注入ポンプ：液中ポンプ 1.2~12.5ml/min×1.0MPa 0.025kw×2 逆洗用次亜塩注入ポンプ：液中ポンプ 6.0~62ml/min×0.7MPa 0.025kw×2 次亜小出槽：PVC角型槽 容量：3000ℓ（ポンプ3台電極・ボールタップ付） ×2	同 左	完 了
		淨水能力 2,600m³/日	同 左	-
配 水 施 設	配水池	RC造 No.3 W11.4m×L23.1m×H3.55m×1池 有効容量：790m³	同 左	完 了
		RC造 No.4 W7.0m×L18.7m×H3.8m×1池 有効容量：388m³		
電 氣 設 備	配水管	RC造 No.5, 6 W5.2m×L22.5m×H3.55m×2池 有効容量：700m³	同 左	完 了
	受電電圧	6.6kV 210V		
電 氣 設 備	契約電力	阿寒湖畔淨水場 36kW 高圧電力II型 47kW 融雪用電力（低压）	同 左	-
	自家発電	150kVA		
認可概要		認可年月日 2012（平成24）年3月29日付、環境 第2414号指令北海道知事認可 (阿寒湖畔淨水場工事に伴う認可変更) 計画給水人口 1,400人 計画一日最大給水量 2,800m³/日 計画一人一日最大給水量 1,857ℓ/人・日	同 左	-

(6) 音別簡易水道

施 設	水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取 水 施 設	音別系 取水井 1号井 鋼管 ϕ 600m/m × 18m × 1井 2号井 鋼管 ϕ 300m/m × 20m × 1井 直別系 RC筒 ϕ 1,800m/m × 5.3m × 1井	同 左	—
	音別系 取水ポンプ 1号井 1.28m³/min × 15m × 5.5kW × 1台 2号井 1.28m³/min × 15m × 5.5kW × 1台 直別系 0.125m³/min × 10m × 0.4kW × 1台	同 左	—
	音別系 取水可能量 1号井 3,780m³/日 2号井 3,794m³/日 計画取水量 1,848m³/日 直別系 取水可能量 142m³/日 計画取水量 22m³/日	同 左	—
	音別系 導水管 1号井から DCIP ϕ 150m/m L=240.1m 2号井から DCIP ϕ 150m/m L=17.9m 直別系 PE ϕ 50m/m L=10.0m	同 左	—
	着水井 音別系 RC造 有効容量 7.17m³・滞留時間 5min W1.6m × L1.6m × H2.8m × 1池	同 左	—
	膜ろ過原水槽 音別系 RC造 有効容量 27.2m³・滞留時間 21.2min W2.9m × L4.7m × H2.0m × 1槽 直別系 PE製 有効容量 0.2m³・滞留時間 30min	同 左	—
淨 水 施 設	膜ろ過装置 音別系 膜(MF)ろ過方式 3系列 处理能力 1,680m³/日 直別系 膜(MF)ろ過方式 1系列 处理能力 20m³/日	同 左	—
	膜ろ過ポンプ 音別系 SUS製渦巻ポンプ 0.48m³/min × 22m × 3.7kW × 3台 直別系 SUS製渦巻ポンプ 0.133m³/min × 20m × 1.5kW × 1台	同 左	—
	逆洗排水 洗出ポンプ 音別系 SUS製渦巻ポンプ 2.0m³/min × 14m × 7.5kW × 2台 直別系 膜ろ過ポンプ兼用	同 左	—
	空気圧縮機 音別系 圧縮開閉器式 600 $\frac{m^3}{min}$ × 0.85MPa × 5.5kW × 200V × 3台 直別系 圧縮開閉器式 70 $\frac{m^3}{min}$ × 0.85MPa × 0.75kW × 200V × 1台	同 左	—
	空 気 槽 音別系 鋼板製円筒型密閉槽 容量 : 4.0m³ × 1槽 ϕ 1,300m/m × H2.62m 最高使用圧力 990kPa 直別系 鋼板製円筒型密閉槽 容量 : 0.4m³ × 1槽 ϕ 650m/m × H1.5m 最高使用圧力 990kPa	同 左	—
	逆洗排水受槽 音別系 SUS製円筒型密閉槽 容量 : 3.1m³ × 1槽 ϕ 1,400m/m × H2.4m × WD2.0m 直別系 SUS製円筒型密閉槽 容量 : 0.2m³ × 1槽 ϕ 640m/m × H1.65m × WD1.4m	同 左	—
水 施 設	次亜塩貯槽 音別系 PVC製 容量 : 200 $\frac{m^3}{min}$ × 2槽 W0.7m × L0.6m × H0.6m × 2槽 直別系 PE製丸型 容量 : 50 $\frac{m^3}{min}$ × 2槽 ϕ 374m/m × H0.63m × 2槽	同 左	—
	次亜塩注入ポンプ 音別系 液中ポンプ 2.5～25ml/min × 1.0MPa × 0.025kw × 2台 直別系 ダイヤフラム式ポンプ 22.8ml/min × 1.0MPa × 0.035kw × 2台	同 左	—
	淨水池 音別系 RC造 容量 : 84.4m³ × 1池 (2槽) W3.21m × L6.58m × H2.0m × 2槽 直別系 FRP製パネル組立式 容量 : 1.2m³ × 1池 W1.0m × L1.5m × H0.8m × 1池	同 左	—
	淨水能力 音別系 1,848m³/日 直別系 22m³/日	同 左	—

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
送 水 施 設	送水ポンプ 音別系 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 1.17m³/min×42m×15kW×40m×2台 直別系 SUS製立形多段ポンプ 0.065m³/min×22.4m×0.55kW×2台		同 左	—
	送水管 音別系 DCIP φ150～φ200m/m 延長= 497m VP φ75～φ150m/m 延長=6,525m 直別系 PP φ50m/m 延長= 982m		同 左	—
	送水能力 音別系 1,685m³/日 直別系 57m³/日		同 左	—
配 水 施 設	配水池 音別系 PC造 No.1 有効容量：356m³ D12.3×H3.0×1池 RC造 No.2 有効容量：468m³ ((10.5×5.0)+(2.5×3.0))×H2.6×1池3槽 RC造 No.3 有効容量：168m³ 休止 W4.0×L7.0×H3.0×2×1池2槽 RC造 尺別 有効容量：28.5m³ 休止 W3.6×L3.6×H2.2×1池 RC造 中音別 有効容量：525.4m³ W7.6×L11.55×H3.0×2×1池2槽 直別系 RC造 有効容量：25.5m³ W3.0×L1.7×H2.5×2×1池2槽		同 左	—
	配水管 音別系 φ50 m/m～φ250 m/m 延長=33,381m 直別系 φ50 m/m～φ75 m/m 延長=1,443m		同 左	—
	受電電圧 音別系 音別浄水場 6.6kV 直別系 直別浄水場 210V		同 左	—
電 気 設 備	契約電力 音別浄水場 高圧電力I型 43KW 直別浄水場 低圧電力 6KW 直別配水池 従量電灯B 30A		同 左	—
	自家発電 音別浄水場 65kVA 直別浄水場 20kVA		同 左	—
計 算 機 器 装 設 備	集中管理システム 故障警報伝送システム		同 左	—
認可概要 認可変更年月日 平成15年8月1日 付環保第26-9号指令 北海道知事認可 (平成17年10月11日、市町合併により名称変更) 計画給水人口 2,840人 計画一日最大給水量 1,700m³/日 計画一人一日最大給水量 599ℓ/人・日		同 左	—	

(7)二俣飲料水供給施設

施 設		水道事業認可内容	2024（令和6）年度末実績	目標との対比（対実績比較）
取 水 施 設	取 水 井	鋼管 $\phi 300\text{m/m} \times 15\text{m} \times 1\text{井}$	同 左	—
	取 水 ポンプ	0.07 $\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m} \times 1.1\text{kW} \times 1\text{台}$	同 左	—
淨 水 施 設	次 亜 塩	滅菌ユニット 注入ポンプ ダイヤフラム式ポンプ $22.8\text{ml/min} \times 1.0\text{MPa} \times 0.033\text{kW} \times 1\text{台}$ 貯槽 PE製 容量： $50\frac{\text{t}}{\text{t}}$ $\times 1\text{槽}$	同 左	—
配 水 施 設	配 水 ポンプ	給水ユニット 圧力タンク 鋼板製円筒型密閉槽 容量： 1.2m^3 $\phi 950 \times H2.35\text{m}$ 最高使用圧力 990kPa モートルポンプ $0.32\text{m}^3/\text{min} \times 37.5\text{m} \times 3.7\text{kW} \times 1\text{台}$ モートルポンプ $0.72\text{m}^3/\text{min} \times 35\text{m} \times 7.5\text{kW} \times 1\text{台}$	同 左	—
電 気 設 備	受 電 電 壓	200V 100V	同 左	—
	契 約 電 力	低圧 18kW	同 左	—
	自 家 発 電	30kVA	同 左	—
事 業 計 画 概 要		事業計画書提出年月日 昭和54年2月25日 計画給水人口 67人 計画一日最大給水量 $23.75\text{m}^3/\text{日}$ 計画一人一日最大給水量 $202\frac{\text{t}}{\text{t}}$ /人・日	同 左	—

10 水道料金の変遷

(1) 上水道（平成24年4月からは簡易水道も統合）

施行年月日 栓種		1927（昭和2）年1月1日	1937（昭和12）年4月1日	1946（昭和21）年8月1日
専用栓	5人まで 1人増す毎 支栓 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	2円 20銭 30銭 30銭 25銭	5人まで 1人増す毎 支栓 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	2円 10銭 30銭 30銭 25銭
共用栓	5人まで 1人増す毎 戸数割5人迄 1人増す毎 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	90銭 10銭 1円30銭 14銭 15銭 15銭	5人まで 1人増す毎 戸数割5人迄 1人増す毎 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	90銭 10銭 1円30銭 14銭 15銭 15銭
計量栓	鉄道 鉄道工場 湯屋 特定船 私設消火栓の演習 その他一般特別給水	— 1m³に付 — 1m³に付 1m³に付 1m³に付	— 1m³に付 — 1m³に付 1m³に付 1m³に付	50銭 — 40銭 — 40銭 3円 1円 2円

施行年月日 栓種		1947（昭和22）年4月1日	1947（昭和22）年10月1日	1948（昭和23）年2月1日
専用栓	5人まで 1人増す毎 支栓 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	20円 2円 4円 4円 3円	35円 3円 6円 6円 5円	50円 5円 10円 10円 8円
共用栓	5人まで 1人増す毎 浴槽1ヶ 牛・馬1頭	6円 1円 2円 1円	10円 2円 3円 3円	20円 3円 5円 6円
計量栓	鉄道 鉄道工場 湯屋 特定船 私設消火栓の演習 その他一般特別給水	1m³に付 — 湯屋1m³に付 — 1m³に付 — 1m³に付 1円50銭 1m³に付	80銭 — 80銭 — 2円 — 2円35銭 (鉄道・湯屋を含む。) 3円	— — — — 4円 — 4円 (鉄道・湯屋を含む。) 5円

II 業務のあらまし

1 水道の普及状況

(1) 人口

(単位:人)

年 度		2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
項目	年度					
総 人 口	釧路地区	158,338	155,940	153,315	150,355	147,515
	阿寒地区	3,160	2,905	2,857	2,770	2,683
	飽別地区	—	160	151	130	128
	阿寒湖畔地区	1,154	1,116	1,123	1,121	1,095
	音別地区	1,646	1,598	1,568	1,504	1,454
	釧路町	16,363	16,191	15,962	15,754	15,479
	計 (A)	180,661	177,910	174,976	171,634	168,354
給水区域内人口	釧路市	163,258	160,897	158,190	155,067	152,080
	釧路町	16,325	16,152	15,921	15,713	15,438
	計 (B)	179,583	177,049	174,111	170,780	167,518
給水人口	釧路市	163,209	160,819	158,144	155,022	152,037
	釧路町	16,284	16,116	15,886	15,678	15,403
	計 (C)	179,493	176,935	174,030	170,700	167,440
普及率(C)/(A) (%)		99.4	99.5	99.5	99.5	99.5
普及率(C)/(B) (%)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

(2) 世帯数

(単位:世帯)

年 度		2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
項目	年度					
総 世 帯 数	釧路地区	90,233	89,657	89,062	88,323	87,556
	阿寒地区	1,722	1,630	1,603	1,576	1,552
	飽別地区	—	69	79	72	73
	阿寒湖畔地区	719	687	722	738	719
	音別地区	967	948	942	905	908
	釧路町	8,280	8,322	8,343	8,349	8,274
	計 (A)	101,921	101,313	100,751	99,963	99,082
給水区域内世帯数	釧路市	93,035	92,500	91,913	91,130	90,320
	釧路町	8,260	8,300	8,320	8,326	8,251
	計 (B)	101,295	100,800	100,233	99,456	98,571
給水世帯数	釧路市	93,013	92,467	91,883	91,106	90,296
	釧路町	8,238	8,279	8,299	8,305	8,230
	計 (C)	101,251	100,746	100,182	99,411	98,526
普及率(C)/(A) (%)		99.3	99.4	99.4	99.4	99.4
普及率(C)/(B) (%)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

(2) 用途別の給水収益・有収水量・供給単価

ア 年度別推移

税抜、単位 給水収益:円
有収水量:m³
供給単価:円

項目	年度 2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	
家 事 用	給水収益	1,961,495,862	1,948,189,938	1,937,183,410	2,240,105,961	2,282,330,328	2,336,994,062	2,297,693,256	1,872,615,745	2,065,312,864	2,032,047,424
	有収水量	12,393,080	12,297,439	12,209,839	11,995,983	11,989,642	12,324,806	12,085,780	11,739,510	11,488,654	11,336,798
	供給単価	158.27	158.42	158.66	186.74	190.36	189.62	190.12	159.51	179.77	179.24
業 務 用	給水収益	1,557,182,368	1,553,680,488	1,545,141,201	1,763,297,189	1,767,066,061	1,351,260,508	1,701,672,362	1,667,095,106	1,739,337,166	1,754,206,073
	有収水量	6,107,301	6,089,908	6,048,916	5,872,793	5,775,393	5,351,523	5,441,682	5,555,395	5,619,054	5,686,872
	供給単価	254.97	255.12	255.44	300.25	305.96	252.50	312.71	300.09	309.54	308.47
浴 場 用	給水収益	9,153,454	8,978,246	8,700,435	8,591,272	9,486,545	6,616,919	8,633,952	8,774,714	9,200,474	9,897,865
	有収水量	257,528	252,644	244,823	241,927	267,399	245,389	242,704	243,092	252,446	271,142
	供給単価	35.54	35.54	35.54	35.51	35.48	26.97	35.57	36.10	36.45	36.50
臨 時 用	給水収益	2,866,832	3,463,524	8,378,865	8,285,118	7,636,320	6,416,978	1,941,153	2,519,105	3,377,126	5,558,542
	有収水量	6,844	8,390	19,968	16,707	15,212	12,785	3,867	4,918	6,538	10,761
	供給単価	418.88	412.82	419.61	495.91	501.99	501.91	501.98	512.22	516.54	516.55
合 計	給水収益	3,530,698,516	3,514,312,196	3,499,403,911	4,020,279,540	4,066,519,254	3,701,288,467	4,009,940,723	3,551,004,670	3,817,227,630	3,801,709,904
	有収水量	18,764,753	18,648,381	18,523,546	18,127,410	18,047,646	17,934,503	17,774,033	17,542,915	17,366,692	17,305,573
	供給単価	188.16	188.45	188.92	221.78	225.32	206.38	225.61	202.42	219.80	219.68

税抜、単位
 給水収益:円
 有収水量:m³
 供給単価:円

イ 地地区別内訳

項目	区分	2023（令和5）年度							2024（令和6）年度								
		上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔簡水	音別簡水	二俣飲供	計	上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔簡水	音別簡水	二俣飲供	計
家事用	給水収益	2,010,636,626	427,186	29,890,029	592,547	8,174,677	15,478,486	113,313	2,065,312,864	1,978,479,325	432,425	29,581,524	630,577	7,846,037	14,961,849	115,687	2,032,047,424
	有収水量	11,190,382	2,416	164,801	2,678	43,421	84,393	563	11,488,654	11,045,441	2,446	162,247	2,997	41,124	81,967	576	11,336,798
	供給単価	179.68	176.82	181.37	221.26	188.27	183.41	201.27	179.77	179.12	176.79	182.32	210.40	190.79	182.54	200.85	179.24
業務用	給水収益	1,553,050,762	387,366	32,176,959	17,655,667	113,215,832	22,374,424	476,156	1,739,337,166	1,563,833,487	402,788	32,833,289	17,797,683	116,177,102	22,608,992	552,732	1,754,206,073
	有収水量	4,976,044	832	96,563	59,885	414,711	69,812	1,207	5,619,054	5,025,068	892	99,164	60,532	429,400	70,326	1,490	5,686,872
	供給単価	312.11	465.58	333.22	294.83	273.00	320.50	394.50	309.54	311.21	451.56	331.10	294.02	270.56	321.49	370.96	308.47
浴場用	給水収益	9,200,474	-	-	-	-	-	-	9,200,474	9,897,865	-	-	-	-	-	-	9,897,865
	有収水量	252,446	-	-	-	-	-	-	252,446	271,142	-	-	-	-	-	-	271,142
	供給単価	36.45	-	-	-	-	-	-	36.45	36.50	-	-	-	-	-	-	36.50
臨時用	給水収益	3,010,384	-	8,781	-	288,746	69,215	-	3,377,126	5,487,780	-	-	-	12,395	58,367	-	5,558,542
	有収水量	5,828	-	17	-	559	134	-	6,538	10,624	-	-	-	24	113	-	10,761
	供給単価	516.54	-	516.53	-	516.54	516.53	-	516.54	516.55	-	-	-	516.46	516.52	-	516.55
合計	給水収益	3,575,898,246	814,552	62,075,769	18,248,214	121,679,255	37,922,125	589,469	3,817,227,630	3,557,698,457	835,213	62,414,813	18,428,260	124,035,534	37,629,208	668,419	3,801,709,904
	有収水量	16,424,700	3,248	261,381	62,563	458,691	154,339	1,770	17,366,692	16,352,275	3,338	261,411	63,529	470,548	152,406	2,066	17,305,573
	供給単価	217.71	250.79	237.49	291.68	265.27	245.71	333.03	219.80	217.57	250.21	238.76	290.08	263.60	246.90	323.53	219.68

(3) 業務用業態別給水収益・水量

ア 年度別推移(水量)

(単位:m³)

業態区分	年度 2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
官 公 署	332,985	330,017	316,519	306,799	307,071	279,721	331,772	331,909	347,953	355,314
会 社 ・ 事 務 所	465,923	464,591	449,188	440,604	425,453	391,272	363,250	354,595	346,611	346,275
学 校	241,004	232,018	235,626	228,036	214,437	197,732	201,694	191,232	187,027	184,779
病 院	624,590	623,714	623,733	608,527	584,476	556,737	571,175	560,719	561,991	545,439
運 輸 関 係	195,772	192,255	204,597	186,984	200,604	180,956	172,523	186,801	171,542	164,123
理 容 ・ 美 容 業	103,578	104,012	104,258	104,807	103,935	102,943	101,772	98,243	95,877	93,109
ク リ 一 ニ ン グ	104,718	106,496	116,950	108,750	100,153	97,553	103,592	114,585	116,992	105,778
販 売 業	400,715	394,237	392,501	380,509	375,616	350,368	338,589	329,456	323,829	317,113
卸 売 市 場	12,564	11,992	11,427	10,101	8,288	8,521	7,545	6,818	6,241	6,707
百 貨 店	161,803	155,757	155,425	153,302	139,443	117,379	121,554	114,628	118,874	116,075
飲 食 業	405,102	394,749	385,981	369,766	370,070	314,297	298,834	316,891	323,508	323,488
旅 館 ・ ホ テ ル	796,917	809,579	817,499	724,154	715,638	554,789	597,613	674,168	721,533	745,727
娛 樂 場	88,691	83,661	86,118	81,203	64,340	45,458	47,297	47,094	47,111	48,136
貸 ビ ル	86,531	85,842	81,679	81,352	80,677	61,193	59,914	65,603	68,145	67,762
水 産 加 工 業	613,380	598,327	559,928	558,911	595,593	557,520	574,037	567,753	547,794	495,879
工 場	415,219	418,710	408,996	395,505	393,559	469,087	490,394	519,540	564,814	695,853
船 舶 用	74,460	74,836	71,705	66,117	64,605	53,612	51,129	65,119	66,670	67,246
そ の 他	983,349	1,009,115	1,026,786	1,067,366	1,031,435	1,012,385	1,008,998	1,010,241	1,002,542	1,008,069
合 計	6,107,301	6,089,908	6,048,916	5,872,793	5,775,393	5,351,523	5,441,682	5,555,395	5,619,054	5,686,872

イ 地区別内訳(水量)

(単位: m³)

業態区分 年度区分	2 0 2 3 (令和5) 年度								2 0 2 4 (令和6) 年度							
	上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔簡水	音別簡水	二俣飲供	計	上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔簡水	音別簡水	二俣飲供	計
官 公 署	221,898	187	28,887	59,050	9,108	27,616	1,207	347,953	224,735	214	30,475	59,623	9,867	28,912	1,488	355,314
会 社・事務所	331,808	0	5,265	0	3,396	6,142	0	346,611	331,074	0	5,160	0	3,433	6,608	0	346,275
学 校	180,567	328	3,245	0	918	1,969	0	187,027	179,868	319	2,731	0	789	1,072	0	184,779
病 院	554,909	0	5,455	0	92	1,535	0	561,991	537,934	0	6,039	0	93	1,373	0	545,439
運 輸 関 係	166,028	0	559	0	4,720	235	0	171,542	159,625	0	519	0	3,762	217	0	164,123
理 容・美 容 業	93,435	0	1,007	0	225	1,210	0	95,877	90,810	0	1,032	0	210	1,057	0	93,109
クリー ニ ン グ	116,502	0	490	0	0	0	0	116,992	105,267	0	511	0	0	0	0	105,778
販 売 業	311,399	0	3,238	306	6,526	2,360	0	323,829	303,821	0	3,775	325	6,548	2,644	0	317,113
卸 売 市 場	6,241	0	0	0	0	0	0	6,241	6,707	0	0	0	0	0	0	6,707
百 貨 店	118,874	0	0	0	0	0	0	118,874	116,075	0	0	0	0	0	0	116,075
飲 食 業	315,685	0	2,291	0	4,528	1,004	0	323,508	316,333	0	1,853	0	4,336	966	0	323,488
旅 館・ホ テ ル	339,249	0	26,578	0	355,648	58	0	721,533	348,085	0	27,766	0	369,805	71	0	745,727
娛 樂 場	47,111	0	0	0	0	0	0	47,111	48,136	0	0	0	0	0	0	48,136
貸 ピ ル	68,145	0	0	0	0	0	0	68,145	67,762	0	0	0	0	0	0	67,762
水 産 加 工 業	547,794	0	0	0	0	0	0	547,794	495,879	0	0	0	0	0	0	495,879
工 場	562,571	0	761	485	273	724	0	564,814	693,590	0	657	541	329	736	0	695,853
船 舶 用	66,670	0	0	0	0	0	0	66,670	67,246	0	0	0	0	0	0	67,246
そ の 他	927,158	317	18,787	44	29,277	26,959	0	1,002,542	932,121	359	18,646	43	30,228	26,672	0	1,008,069
合 計	4,976,044	832	96,563	59,885	414,711	69,812	1,207	5,619,054	5,025,068	892	99,164	60,532	429,400	70,328	1,488	5,686,872

ウ 年度別推移(金額)

(税抜、単位:円)

業態区分	年度 (平成27)年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		(平成27)年度	(平成28)年度	(平成29)年度	(平成30)年度	(令和元)年度	(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度	(令和5)年度	(令和6)年度
官 公 署	95,582,519	94,661,434	91,165,667	103,965,522	105,363,522	97,180,063	114,915,596	117,449,044	121,843,899	124,689,613	
会 社 ・ 事 務 所	132,232,990	131,144,093	127,634,721	148,786,801	147,086,056	106,706,825	137,696,504	116,961,080	126,795,482	126,977,301	
学 校	78,783,276	76,415,773	77,126,010	88,358,086	85,768,569	77,487,981	81,708,112	77,902,254	77,752,902	76,908,538	
病 院	150,742,316	150,414,337	150,424,559	168,317,624	163,928,012	131,611,436	160,667,124	157,423,229	160,526,261	156,183,205	
運 輸 関 係	52,404,284	51,838,698	54,423,367	59,175,345	64,408,050	49,701,183	57,339,059	58,168,751	56,085,169	54,307,925	
理 容 ・ 美 容 業	23,548,670	23,686,915	23,656,271	28,140,736	28,363,584	21,440,126	27,897,535	23,543,484	25,242,926	24,713,079	
ク リ 一 ニ ン グ	24,597,378	25,176,244	27,547,942	30,088,976	28,025,991	21,171,097	28,808,663	31,638,987	32,882,674	29,847,444	
販 売 業	101,686,630	100,225,543	99,732,535	114,065,127	114,358,208	83,052,892	105,759,108	95,358,078	99,371,803	97,808,552	
卸 売 市 場	3,698,540	3,571,764	3,444,530	3,726,307	3,281,574	2,521,284	3,088,144	2,457,705	2,570,781	2,701,309	
百 貨 店	38,447,516	36,932,559	36,699,991	40,668,547	36,937,679	25,870,444	32,583,680	31,093,250	32,528,668	31,843,872	
飲 食 業	94,288,979	92,224,593	90,179,213	101,817,226	103,285,508	69,676,431	86,255,329	83,350,036	89,923,953	90,324,764	
旅 館 ・ ホ テ ル	96,158,926	96,151,680	96,335,978	108,644,297	109,794,422	65,883,272	149,167,005	173,379,291	184,944,680	191,812,411	
娛 樂 場	23,548,220	22,413,198	22,946,847	25,622,232	21,196,600	13,523,057	16,546,122	15,471,845	16,293,820	16,591,188	
貸 ビ ル	23,139,299	22,910,857	21,857,733	25,441,080	26,093,240	16,154,515	20,420,662	20,461,208	22,195,179	22,167,610	
水 産 加 工 業	148,191,015	144,914,830	136,550,865	154,731,270	164,176,606	114,226,341	160,726,953	158,319,511	156,069,532	143,631,710	
工 場	108,800,028	109,757,192	107,373,577	121,462,368	123,041,153	110,786,583	147,228,056	148,620,366	164,145,281	194,261,231	
船 舶 用	28,962,712	29,020,891	28,345,177	31,888,562	31,718,099	26,667,636	27,643,478	31,158,734	31,737,260	31,152,702	
そ の 他	332,369,070	342,219,887	349,696,218	408,397,083	410,239,188	317,599,342	343,221,232	324,338,253	338,426,896	338,283,619	
合 計	1,557,182,368	1,553,680,488	1,545,141,201	1,763,297,189	1,767,066,061	1,351,260,508	1,701,672,362	1,667,095,106	1,739,337,166	1,754,206,073	

工 地区別内訳(金額)

(税抜、単位:円)

業態区分	年度 区分	2 0 2 3 (令和5) 年 度							2 0 2 4 (令和6) 年 度								
		上 水 道	山 花 簡 水	阿 寒 簡 水	飽 別 簡 水	阿 寒 湖 畔 簡 水	音 別 簡 水	二 俣 飲 供	計	上 水 道	山 花 簡 水	阿 寒 簡 水	飽 別 簡 水	阿 寒 湖 畔 簡 水	音 別 簡 水	二 俣 飲 供	計
官 公 署		80,336,738	128,883	10,473,434	17,314,796	4,235,469	8,878,423	476,156	121,843,899	81,807,482	136,320	10,802,827	17,446,800	4,655,097	9,288,355	552,732	124,689,613
会 社・事 務 所		122,572,614	0	1,599,815	0	670,891	1,952,162	0	126,795,482	122,656,743	0	1,560,819	0	710,884	2,048,855	0	126,977,301
学 校		73,770,699	167,722	2,252,993	0	719,284	842,204	0	77,752,902	73,340,809	165,243	2,124,095	0	683,752	594,639	0	76,908,538
病 院		158,352,852	0	1,632,557	0	37,420	503,432	0	160,526,261	153,887,778	0	1,793,410	0	38,519	463,498	0	156,183,205
運 輸 関 係		55,427,601	0	258,505	0	273,235	125,828	0	56,085,169	53,699,321	0	251,685	0	231,919	125,000	0	54,307,925
理 容・美 容 業		24,654,701	0	230,996	0	66,477	290,752	0	25,242,926	24,160,458	0	241,393	0	62,345	248,883	0	24,713,079
クリーニング		32,753,658	0	129,016	0	0	0	0	32,882,674	29,712,643	0	134,801	0	0	0	0	29,847,444
販 売 業		97,393,337	0	496,763	78,335	731,264	672,104	0	99,371,803	95,593,772	0	668,515	83,568	709,087	753,610	0	97,808,552
卸 売 市 場		2,570,781	0	0	0	0	0	0	2,570,781	2,701,309	0	0	0	0	0	0	2,701,309
百 貨 店		32,528,668	0	0	0	0	0	0	32,528,668	31,843,872	0	0	0	0	0	0	31,843,872
飲 食 業		89,606,573	0	57,046	0	0	260,334	0	89,923,953	89,921,177	0	174,804	0	0	228,783	0	90,324,764
旅 館・ホ テ ル		96,491,783	0	7,063,156	0	81,366,810	22,931	0	184,944,680	98,765,427	0	7,383,201	0	85,642,344	21,439	0	191,812,411
娛 樂 場		16,293,820	0	0	0	0	0	0	16,293,820	16,591,188	0	0	0	0	0	0	16,591,188
貸 ビ ル		22,195,179	0	0	0	0	0	0	22,195,179	22,167,610	0	0	0	0	0	0	22,167,610
水 産 加 工 業		156,069,532	0	0	0	0	0	0	156,069,532	143,631,710	0	0	0	0	0	0	143,631,710
工 場		163,361,393	0	285,535	192,948	20,500	284,905	0	164,145,281	193,460,699	0	276,457	209,475	20,500	294,100	0	194,261,231
船 舶 用		31,737,260	0	0	0	0	0	0	31,737,260	31,152,702	0	0	0	0	0	0	31,152,702
そ の 他		296,933,573	90,761	7,697,143	69,588	25,094,482	8,541,349	0	338,426,896	298,738,787	101,225	7,421,282	57,840	23,422,655	8,541,830	0	338,283,619
合 計		1,553,050,762	387,366	32,176,959	17,655,667	113,215,832	22,374,424	476,156	1,739,337,166	1,563,833,487	402,788	32,833,289	17,797,683	116,177,102	22,608,992	552,732	1,754,206,073

(4) 配水量

ア 年度別推移

(単位: m³)

月別＼年度	2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
4 月	1,746,413	1,752,172	1,718,137	1,695,692	1,701,776	1,675,014	1,687,077	1,675,795	1,620,406	1,627,438
5 月	1,819,482	1,836,175	1,791,672	1,769,441	1,768,113	1,733,413	1,745,152	1,725,371	1,696,658	1,687,066
6 月	1,784,228	1,806,567	1,736,689	1,736,653	1,726,613	1,734,763	1,722,207	1,700,598	1,677,932	1,697,285
7 月	1,887,681	1,861,714	1,855,695	1,811,366	1,807,712	1,806,002	1,819,981	1,774,659	1,784,982	1,810,498
8 月	1,889,865	1,908,098	1,847,172	1,827,898	1,818,885	1,833,914	1,810,792	1,764,695	1,784,811	1,789,055
9 月	1,845,293	1,867,765	1,810,980	1,762,562	1,772,243	1,756,211	1,744,007	1,707,754	1,711,653	1,736,543
10 月	1,866,793	1,889,514	1,820,069	1,808,056	1,808,764	1,793,141	1,790,014	1,751,331	1,750,730	1,760,942
11 月	1,761,914	1,784,120	1,726,624	1,721,341	1,720,365	1,705,643	1,704,688	1,653,672	1,657,538	1,673,272
12 月	1,845,696	1,857,530	1,805,014	1,817,164	1,791,475	1,780,532	1,781,672	1,762,519	1,753,439	1,748,409
1 月	1,780,169	1,813,856	1,749,151	1,759,187	1,735,112	1,749,382	1,757,519	1,734,260	1,720,920	1,720,417
2 月	1,699,640	1,639,378	1,606,352	1,626,041	1,643,056	1,590,506	1,563,612	1,583,254	1,619,863	1,546,397
3 月	1,822,594	1,792,936	1,758,077	1,774,042	1,718,280	1,764,777	1,750,610	1,718,584	1,719,322	1,675,671
合 計	21,749,768	21,809,825	21,225,632	21,109,443	21,012,394	20,923,298	20,877,331	20,552,492	20,498,254	20,472,993

イ 地区別内訳

(単位:m³)

年度 区分 月別	2 0 2 3 (令和5) 年度								2 0 2 4 (令和6) 年度							
	上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔 簡水	音別簡水	二俣飲供	計	上水道	山花簡水	阿寒簡水	飽別簡水	阿寒湖畔 簡水	音別簡水	二俣飲供	計
4月	1,521,901	269	27,784	5,556	46,794	17,708	394	1,620,406	1,528,581	292	29,471	6,108	44,708	17,859	419	1,627,438
5月	1,585,822	291	30,058	6,137	55,233	18,691	426	1,696,658	1,576,043	299	30,662	6,490	54,508	18,619	445	1,687,066
6月	1,567,531	313	28,970	6,040	56,259	18,358	461	1,677,932	1,588,208	320	29,290	6,023	54,734	18,235	475	1,697,285
7月	1,666,157	338	30,897	6,585	61,406	19,131	468	1,784,982	1,690,358	332	31,876	6,493	61,205	19,757	477	1,810,498
8月	1,663,062	330	33,039	7,173	61,340	19,363	504	1,784,811	1,662,771	300	33,114	6,539	65,751	20,112	468	1,789,055
9月	1,599,584	307	31,195	6,153	54,741	19,226	447	1,711,653	1,618,303	308	30,646	6,180	60,727	19,633	746	1,736,543
10月	1,637,052	309	31,403	5,848	54,924	20,745	449	1,750,730	1,646,600	301	29,397	6,383	58,519	18,855	887	1,760,942
11月	1,550,534	262	30,784	5,698	49,180	20,648	432	1,657,538	1,569,213	267	27,453	6,648	51,160	17,651	880	1,673,272
12月	1,646,639	258	29,163	5,655	50,498	20,767	459	1,753,439	1,639,132	272	28,774	6,764	53,148	19,409	910	1,748,409
1月	1,615,133	257	29,458	6,066	49,546	20,000	460	1,720,920	1,605,784	259	29,019	5,377	59,684	19,373	921	1,720,417
2月	1,513,839	255	28,657	5,889	52,195	18,591	437	1,619,863	1,439,462	239	25,141	4,996	59,082	16,623	854	1,546,397
3月	1,610,323	283	30,530	6,363	51,453	19,884	486	1,719,322	1,567,269	265	27,432	5,462	56,040	18,152	1,051	1,675,671
合計	19,177,577	3,472	361,938	73,163	643,569	233,112	5,423	20,498,254	19,131,724	3,454	352,275	73,463	679,266	224,278	8,533	20,472,993

(4) 滞納整理状況

ア 滞納整理戸別訪問件数及び窓口・戸別訪問収納金額

(税込、単位:件・円)

項目	年度 2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
件 数	28,904	27,935	25,633	25,483	20,273
金 額	270,934,089	262,616,902	219,241,820	235,762,661	213,052,560
内 訳					
水道料金	130,273,910	128,082,565	105,451,635	116,422,692	103,198,824
下水道使用料	140,660,179	134,534,337	113,790,185	119,339,969	109,853,736

イ 給水停止件数

(単位:件)

項目	年度 2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
停 止 件 数	0	0	0	498	477

(5) 口座普及状況

(単位:件)

項目	年度 2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
給 水 契 約 件 数	88,376	87,989	87,932	86,889	86,465
口 座 契 約 件 数	64,053	64,032	63,715	63,329	62,850
口 座 普 及 率 (%)	72.48	72.77	72.48	72.88	72.69

(6) 異常水量調査業務

(単位:件)

項目	年度 2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
異常水量調査件数	882	802	815	890	834
内 訳					
異 常 な し	69	2	34	6	5
使 用 者 原 因	571	528	552	602	594
そ の 他	242	272	229	282	235

(7) 法律事務所への債権回収委託の状況

(税込、単位:件・円)

項目	年度 2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
未 収 金 委 託 件 数	153	155	149	127	194
未 収 金 委 託 対 象 額	22,144,587	25,531,105	25,662,271	21,909,267	20,181,961
回 収 額	2,922,014	2,609,314	2,943,305	3,045,303	2,354,470

※委託件数は需要家数(未収調定件数ではない)

※掲載値は水量料金、下水道使用料の合算

4 給配水装置維持管理の状況

(1) 給配水管保存工事

(単位:件)

年度		2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
工種	移 設	18	23	17	15	9
	修 繕	28	35	27	32	17
	取 替	2	5	4	3	3
	計	48	63	48	50	29
仕切弁	移 設	4	14	2	6	22
	修 繕	40	85	56	69	64
	取 替	106	98	66	59	84
	計	150	197	124	134	170
配水管	移 設	0	2	1	3	5
	修 繕	22	27	17	22	15
	取 替	0	0	0	0	0
	計	22	29	18	25	20

(2) 給水工事件数の推移

(単位:件)

年度		2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
項目	新 設 工 事	950	807	807	661	463
	改 造 工 事	321	291	204	198	217
	合 計	1,271	1,098	1,011	859	680

(3) メーター整備工事の状況

(単位:個)

年度		2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
項目	個 数	12,620	10,456	10,987	11,184	12,847

5 水質検査・試験の種類と回数

(単位:回)

項目	年度 2020 (令和2)年度	年度 2021 (令和3)年度	年度 2022 (令和4)年度	年度 2023 (令和5)年度	年度 2024 (令和6)年度
水源水質試験	17	17	17	17	17
愛国浄水場水質検査	384	384	384	385	384
山花簡易水道水質検査	387	387	387	388	387
阿寒簡易水道水質検査	383	383	386	387	386
飽別簡易水道水質検査	—	34	34	34	36
阿寒湖畔簡易水道水質検査	383	383	383	384	383
音別簡易水道水質検査	383	383	383	384	383
二俣飲供施設水質検査	13	13	13	13	13
受託検査	32	32	32	32	32
水質相談に伴う水質試験	20	22	23	13	18
その他の	52	58	55	54	44
合計	2,054	2,096	2,097	2,091	2,083

6 薬品及び電力使用量の状況

(1) 薬品使用量

(税抜、単位:kg・円)

項目	年度 2020 (令和2)年度	年度 2021 (令和3)年度	年度 2022 (令和4)年度	年度 2023 (令和5)年度	年度 2024 (令和6)年度
使 用 量	ホリ塩化アルミニウム	1,239,167	1,254,833	1,262,762	1,213,097
	活性炭	177,718	87,470	143,728	97,824
	次亜塩素酸ナトリウム	279,514	253,752	251,414	245,480
	苛性ソーダ	463,231	441,920	429,566	357,592
	硫酸	73,148	75,499	48,458	62,967
	計	2,232,778	2,113,474	2,135,928	1,976,960
薬品費	164,635,762	149,723,880	171,484,486	155,147,266	181,074,817

(2) 電力使用量

(税抜、単位:kWh・円)

項目	年度 2020 (令和2)年度	年度 2021 (令和3)年度	年度 2022 (令和4)年度	年度 2023 (令和5)年度	年度 2024 (令和6)年度
使 用 量	愛国浄水場	4,117,123	4,081,949	4,018,277	4,013,996
	貝塚送配水ポンプ場	2,268,547	2,262,453	2,272,931	2,258,008
	導水ポンプ場	1,814,606	1,795,328	1,709,338	1,698,869
	釧路小口・暖房	384,963	343,560	369,798	346,882
	阿寒浄水場	311,062	286,539	296,184	287,312
	阿寒小口・配水池	2,261	1,906	2,038	2,877
	飽別浄水場	—	56,990	57,336	58,092
	阿寒湖畔浄水場	125,086	124,562	124,155	135,647
	音別・直別浄水場 二俣飲供施設	227,228	216,338	207,008	220,267
計	9,250,876	9,169,625	9,057,065	9,021,950	9,132,956
動力費	165,296,148	176,331,889	234,100,543	221,103,994	223,935,500

(7)直別浄水場

2024(令和6)年度

項目	単位	水道法の水質基準	定量下限値	直別浄水場					
				原水			浄水		
				最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値
1 一般細菌	個/mL	100以下	-	2	0	0	0	0	0
2 大腸菌	MPN/100mL	検出されないこと	-	0	0	0	不検出	不検出	不検出
3 カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003以下	0.0003			不検出			不検出
4 水銀及びその化合物	mg/L	0.0005以下	0.00005			不検出			不検出
5 セレン及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.001			不検出			不検出
6 鉛及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.001	不検出	不検出	不検出	0.002	0.001	0.002
7 ヒ素及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.0005			不検出			不検出
8 六価クロム化合物	mg/L	0.02以下	0.002			不検出			不検出
9 垂硝酸態窒素	mg/L	0.04以下	0.004			不検出			不検出
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.01以下	0.001	不検出	不検出	不検出	不検出		不検出
11 硝酸態窒素及び垂硝酸態窒素	mg/L	10以下	0.02			0.34			0.37
12 フッ素及びその化合物	mg/L	0.8以下	0.05			不検出			不検出
13 ホウ素及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.1			不検出			不検出
14 四塩化炭素	mg/L	0.002以下	0.0001			不検出			不検出
15 1, 4-ジオキサン	mg/L	0.05以下	0.0005			不検出			不検出
16 シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下	0.0002			不検出			不検出
17 ジクロロメタン	mg/L	0.02以下	0.0001			不検出			不検出
18 テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
19 トリクロロエチレン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
20 ベンゼン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
21 塩素酸	mg/L	0.6以下	0.05				不検出	不検出	不検出
22 クロロ酢酸	mg/L	0.02以下	0.001				不検出	不検出	不検出
23 クロロホルム	mg/L	0.06以下	0.0001				0.0006	0.0002	0.0004
24 ジクロロ酢酸	mg/L	0.03以下	0.001				不検出	不検出	不検出
25 ジブロモクロロメタン	mg/L	0.1以下	0.0001				0.0015	0.0011	0.0013
26 臭素酸	mg/L	0.01以下	0.001				不検出	不検出	不検出
27 総トリハロメタン	mg/L	0.1以下	0.0004				0.0036	0.0023	0.0028
28 トリクロロ酢酸	mg/L	0.03以下	0.001				不検出	不検出	不検出
29 ブロモジクロロメタン	mg/L	0.03以下	0.0001				0.0010	0.0006	0.0007
30 ブロモホルム	mg/L	0.09以下	0.0001				0.0005	0.0004	0.0005
31 ホルムアルデヒド	mg/L	0.08以下	0.001				不検出	不検出	不検出
32 亜鉛及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.01			不検出			不検出
33 アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.2以下	0.01			不検出			不検出
34 鉄及びその化合物	mg/L	0.3以下	0.01			不検出			不検出
35 銅及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.01			不検出			0.03
36 ナトリウム及びその化合物	mg/L	200以下	0.5			6.9			7.0
37 マンガン及びその化合物	mg/L	0.05以下	0.001			不検出			不検出
38 塩化物イオン	mg/L	200以下	1.0	7.8	6.0	6.5	7.8	6.0	6.6
39 カルシウム・マグネシウム等(硬度)	mg/L	300以下	0.5			27			28
40 蒸発残留物	mg/L	500以下	50	103	90	97	107	94	100
41 陰イオン界面活性剤	mg/L	0.2以下	0.02			不検出			不検出
42 ジエオスミン	mg/L	0.00001以下	0.000001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
43 2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.00001以下	0.000001	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
44 非イオン界面活性剤	mg/L	0.02以下	0.005	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
45 フェノール類	mg/L	0.005以下	0.0005			不検出			不検出
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	3以下	0.3	0.5	不検出	0.3	0.4	不検出	不検出
47 pH値	-	5.8~8.6	-	6.8	6.3	6.4	6.7	6.6	6.6
48 味	-	異常でないこと	-				異常なし	異常なし	異常なし
49 臭気	-	異常でないこと	-	なし	なし		異常なし	異常なし	異常なし
50 色度	度	5以下	0.5	0.6	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
51 濁度	度	2以下	0.05	0.13	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
遊離残留塩素	mg/L	-	0.01	-	-	-	0.27	0.14	0.21

※定量下限値未満は「不検出」と表示

(8)二俣飲料水供給施設

2024(令和6)年度

項目	単位	水道法の水質基準	定量下限値	二俣飲用水					
				原水			浄水		
				最高値	最低値	平均値	最高値	最低値	平均値
1 一般細菌	個/mL	100以下	-	6	0	2	1	0	0
2 大腸菌	MPN/100mL	検出されないこと	-	4.1	0	0.4	不検出	不検出	不検出
3 カドミウム及びその化合物	mg/L	0.003以下	0.0003			不検出			不検出
4 水銀及びその化合物	mg/L	0.0005以下	0.00005			不検出			不検出
5 セレン及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.001			不検出			不検出
6 鉛及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.001			不検出			0.001
7 ヒ素及びその化合物	mg/L	0.01以下	0.0005			不検出			不検出
8 六価クロム化合物	mg/L	0.02以下	0.002			不検出			不検出
9 垂硝酸態窒素	mg/L	0.04以下	0.004			不検出			不検出
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.01以下	0.001			不検出			不検出
11 硝酸態窒素及び垂硝酸態窒素	mg/L	10以下	0.02	3.31	1.90	2.43	3.30	1.82	2.39
12 フッ素及びその化合物	mg/L	0.8以下	0.05			不検出			不検出
13 ホウ素及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.1			不検出			不検出
14 四塩化炭素	mg/L	0.002以下	0.0001			不検出			不検出
15 1, 4-ジオキサン	mg/L	0.05以下	0.0005			不検出			不検出
16 シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下	0.0002			不検出			不検出
17 ジクロロメタン	mg/L	0.02以下	0.0001			不検出			不検出
18 テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
19 トリクロロエチレン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
20 ベンゼン	mg/L	0.01以下	0.0001			不検出			不検出
21 塩素酸	mg/L	0.6以下	0.05						不検出
22 クロロ酢酸	mg/L	0.02以下	0.001						不検出
23 クロロホルム	mg/L	0.06以下	0.0001						0.0011
24 ジクロロ酢酸	mg/L	0.03以下	0.001						不検出
25 ジブロモクロロメタン	mg/L	0.1以下	0.0001						0.0015
26 臭素酸	mg/L	0.01以下	0.001						不検出
27 総トリハロメタン	mg/L	0.1以下	0.0004						0.0044
28 トリクロロ酢酸	mg/L	0.03以下	0.001						不検出
29 ブロモジクロロメタン	mg/L	0.03以下	0.0001						0.0016
30 ブロモホルム	mg/L	0.09以下	0.0001						0.0002
31 ホルムアルデヒド	mg/L	0.08以下	0.001						不検出
32 亜鉛及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.01			0.01			0.01
33 アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.2以下	0.01			不検出			不検出
34 鉄及びその化合物	mg/L	0.3以下	0.01			不検出			0.01
35 銅及びその化合物	mg/L	1.0以下	0.01			0.01			0.02
36 ナトリウム及びその化合物	mg/L	200以下	0.5			11			12
37 マンガン及びその化合物	mg/L	0.05以下	0.001			不検出			不検出
38 塩化物イオン	mg/L	200以下	1.0	7.3	4.8	5.5	7.4	5.0	5.6
39 カルシウム・マグネシウム等(硬度)	mg/L	300以下	0.5			59			62
40 蒸発残留物	mg/L	500以下	50			130			134
41 陰イオン界面活性剤	mg/L	0.2以下	0.02			不検出			不検出
42 ジエオスミン	mg/L	0.00001以下	0.000001			不検出			不検出
43 2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.00001以下	0.000001			不検出			不検出
44 非イオン界面活性剤	mg/L	0.02以下	0.005			不検出			不検出
45 フェノール類	mg/L	0.005以下	0.0005			不検出			不検出
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	3以下	0.3	0.7	0.5	0.6	0.7	0.5	0.6
47 pH値	-	5.8~8.6	-	6.5	6.2	6.4	6.7	6.3	6.5
48 味	-	異常でないこと	-				異常なし	異常なし	異常なし
49 臭気	-	異常でないこと	-	なし	なし		異常なし	異常なし	異常なし
50 色度	度	5以下	0.5	0.8	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
51 濁度	度	2以下	0.05	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
遊離残留塩素	mg/L	-	0.01	-	-	-	0.34	0.19	0.27

※定量下限値未満は「不検出」と表示

III 2024（令和6）年度決算概要

水道事業会計

1 業務実績について

当事業会計予算の第2条で定めた業務予定量及びその他の主な業務の実績は、次表のとおりである。

事業計画実績表

項目	計画(A)	実績(B)	増△減(B-A)	実績率(B/A) %	対前年度増減率%
1 総配水量(m ³)	20,043,000	20,472,993	429,993	102.1	△ 0.1
2 一日平均配水量(m ³)	54,912	56,090	1,178	102.1	0.1
3 給水戸数(戸)	89,933	88,802	△ 1,131	98.7	△ 0.4
4 主要な建設改良事業					
(1) 管路布設(m)	4,796	3,815	△ 981	79.5	△ 45.3
(2) 清水場整備(か所)	6	6	0	100.0	0.0

その他の主な業務実績表

項目	6年度(A)	5年度(B)	差引増減(A-B)	対前年度増減率%
総人口(C)(人)	168,354	171,634	△ 3,280	△ 1.9
給水区域内人口(D)(人)	167,518	170,780	△ 3,262	△ 1.9
給水人口(E)(人)	167,440	170,700	△ 3,260	△ 1.9
普及率(E/D)(%)	99.9	99.9	0.0	—
普及率(E/C)(%)	99.5	99.5	0.0	—
導送配水管延長(m)	1,194,072	1,193,202	870	0.1
取水量(F)(m ³)	21,929,009	21,925,981	3,028	0.0
配水量(G)(m ³)	20,472,993	20,498,254	△ 25,261	△ 0.1
有収水量(H)(m ³)	17,305,573	17,366,692	△ 61,119	△ 0.4
有効水量(I)(m ³)	18,294,347	18,335,320	△ 40,973	△ 0.2
有収率(H/G)(%)	84.5	84.7	△ 0.2	—
有効率(I/G)(%)	89.4	89.4	0.0	—
配水率(G/F)(%)	93.4	93.5	△ 0.1	—
一日最大配水量(m ³)	60,991	61,766	△ 775	△ 1.3
一人一日最大配水量(ℓ)	364	362	2	0.6
一日平均配水量(m ³)	56,090	56,006	84	0.1
一人一日平均配水量(ℓ)	335	328	7	2.1

当年度における総配水量は20,472,993m³で、計画を429,993m³上回り、前年度に比較すると25,261m³0.1%の減少となっている。

また、給水戸数は88,802戸で、計画を1,131戸下回り、前年度に比較すると388戸0.4%の減少となっている。

なお、有収水量は17,305,573m³で、前年度に比較すると61,119m³0.4%の減少となっている。

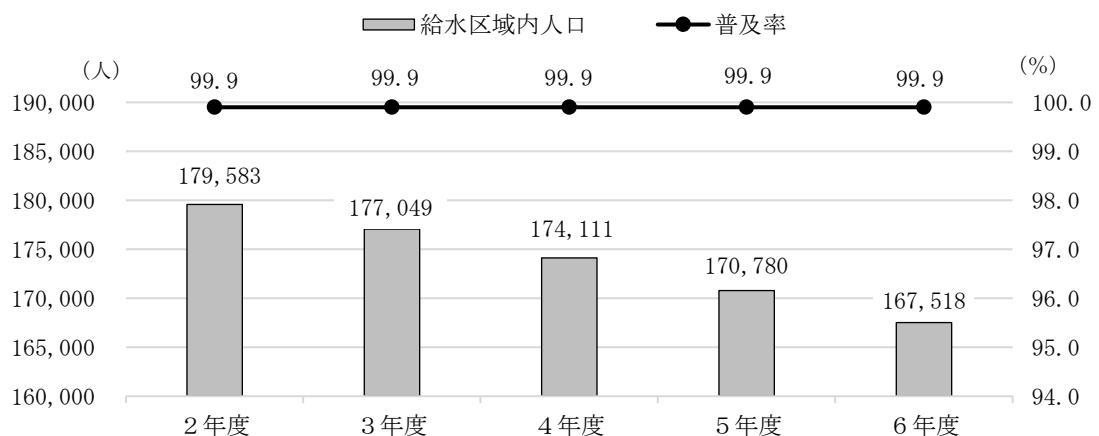
有収率は84.5%で、前年度に比較すると0.2ポイント下回っている。

普及率は給水区域内人口に対して99.9%で、前年度と同率となっている。

最近5年間の給水区域内人口、普及率等の推移は、次のとおりである。

給水区域内人口・普及率の推移

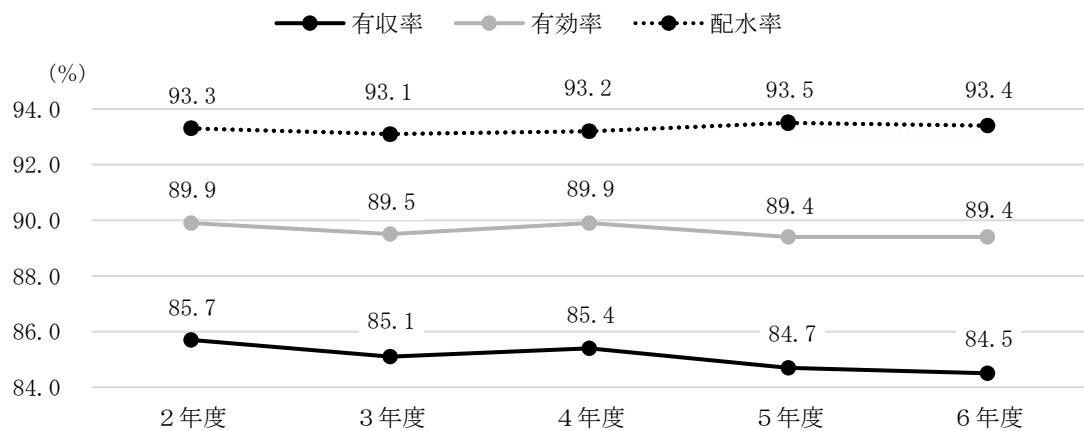
項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
給水区域内人口(人)	179,583	177,049	174,111	170,780	167,518
普及率(%)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9



有収率・有効率・配水率の推移

(単位：%)

項目	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
有収率	85.7	85.1	85.4	84.7	84.5
有効率	89.9	89.5	89.9	89.4	89.4
配水率	93.3	93.1	93.2	93.5	93.4



2 経営状況について

(1) 収益的収入及び支出について

ア 予算の執行状況

この予算の執行状況を見ると、収入予算額5,546,383千円に対し決算額5,668,505千円で、その執行率は102.2%であり、また、支出予算額4,760,239千円に対し決算額4,572,294千円で、その執行率は96.1%となっている。

予算の執行状況は、次表のとおりである。

予 算 の 執 行 状 況

(単位：円)

項 目	予 算 額 (A)	構成比 %	決 算 額 (B)	構成比 %	差 引 (B-A)	執行率 (B/A) %
1 営 業 収 益						
給 水 収 益	4, 547, 136, 000	82.0	4, 598, 079, 506	81.1	50, 943, 506	101.1
負 担 金	4, 134, 884, 000	74.6	4, 181, 880, 897	73.8	46, 996, 897	101.1
受 託 工 事 収 益	85, 645, 000	1.5	89, 975, 323	1.6	4, 330, 323	105.1
他 会 計 負 担 金	21, 868, 000	0.4	25, 802, 315	0.4	3, 934, 315	118.0
そ の 他 収 益	75, 833, 000	1.4	72, 395, 212	1.3	△ 3, 437, 788	95.5
2 営 業 外 収 益	228, 906, 000	4.1	228, 025, 759	4.0	△ 880, 241	99.6
受 取 利 息 及 び 配 当 金	999, 247, 000	18.0	1, 070, 425, 661	18.9	71, 178, 661	107.1
他 会 計 負 担 金	163, 000	0.0	1, 566, 334	0.0	1, 403, 334	960.9
他 会 計 補 助 金	309, 960, 000	5.6	306, 522, 374	5.4	△ 3, 437, 626	98.9
長 期 前 受 金 戻 入	8, 299, 000	0.1	0	0.0	△ 8, 299, 000	0.0
資 本 費 繰 入 収 益	265, 343, 000	4.8	265, 327, 915	4.7	△ 15, 085	100.0
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	167, 845, 000	3.0	167, 846, 046	3.0	1, 046	100.0
雜 収 益	237, 371, 000	4.3	311, 257, 251	5.5	73, 886, 251	131.1
10, 266, 000	0.2		17, 905, 741	0.3	7, 639, 741	174.4
水道事業収益合計	5, 546, 383, 000	100.0	5, 668, 505, 167	100.0	122, 122, 167	102.2
1 営 業 費 用						
原 水 及 び 浄 水 費	4, 473, 506, 000	94.0	4, 302, 548, 362	94.1	△ 170, 957, 638	96.2
給 水 及 び 配 水 費	1, 037, 508, 000	21.8	982, 260, 964	21.5	△ 55, 247, 036	94.7
メ ー タ 一 費	309, 396, 000	6.5	287, 632, 361	6.3	△ 21, 763, 639	93.0
受 託 工 事 費	18, 806, 000	0.4	15, 595, 131	0.3	△ 3, 210, 869	82.9
業 務 費	34, 731, 000	0.7	32, 506, 459	0.7	△ 2, 224, 541	93.6
総 係 費	254, 306, 000	5.3	247, 322, 525	5.4	△ 6, 983, 475	97.3
減 價 償 却 費	585, 749, 000	12.3	512, 103, 093	11.2	△ 73, 645, 907	87.4
資 産 減 耗 費	2, 130, 517, 000	44.8	2, 114, 833, 629	46.3	△ 15, 683, 371	99.3
2 営 業 外 費 用	102, 493, 000	2.2	110, 294, 200	2.4	7, 801, 200	107.6
支 払 利 息	286, 733, 000	6.0	269, 745, 710	5.9	△ 16, 987, 290	94.1
雜 支 出	281, 863, 000	5.9	265, 109, 015	5.8	△ 16, 753, 985	94.1
4, 870, 000	0.1		4, 636, 695	0.1	△ 233, 305	95.2
水道事業費用合計	4, 760, 239, 000	100.0	4, 572, 294, 072	100.0	△ 187, 944, 928	96.1
取 支 差 引	786, 144, 000	—	1, 096, 211, 095	—	310, 067, 095	—

この主な内容を見ると、次のとおりである。

(ア) 収 入

予算額に対し決算額は122, 122千円の増加となっている。

営業収益では、給水収益で家事用給水料が予定を上回ったことなどにより46, 997千円の増加となっている。

営業外収益では、消費税及び地方消費税還付金で73, 886千円の増加となっている。

(イ) 支 出

予算額に対し決算額は187, 945千円の不用額を生じている。

営業費用では、原水及び浄水費で薬品費が予定を下回ったことなどにより55, 247千円、給水及び配水費で工事請負費が予定を下回ったことなどにより21, 764千円、総係費で人件費が予定を下回ったことなどにより73, 646千円、減価償却費で償却対象資産が予定を下回ったことにより15, 683千円それぞれ不用額となっている。

営業外費用では、支払利息で企業債利息が予定を下回ったことなどにより16, 754千円の不用

額となっている。

(ウ) 債務負担行為

当年度における債務負担行為の発生及び支出額等は、次表のとおりである。

債務負担行為

(単位：円)

令和6年度以降の 支 出 予 定 額	当 年 度 増 減 額			令和7年度以降の 支 出 予 定 額
	負担額変更による 増 △ 減 額	発 生 額	支 出 額	
10,310,874,456	19,482,000	2,025,448,700	3,161,282,986	9,194,522,170

本表に示すとおり、令和7年度以降の支出予定額は9,194,522千円となっている。

イ 損益の状況

損益の状況を見ると、事業収益4,954,238千円に対し事業費用は4,467,762千円で、この結果、差引486,476千円の当年度純利益を生じている。

損益の状況は、次表のとおりである。

損 益 の 状 況

(単位：円)

項 目	6年度(A)	構成比 %	5年度(B)	構成比 %	差引増減(A-B)	増減率 %
1 営 業 収 益						
給 水 収 益	4,195,260,174	84.7	4,215,014,179	84.4	△ 19,754,005	△ 0.5
負 担 金	3,801,709,904	76.7	3,817,227,630	76.5	△ 15,517,726	△ 0.4
受 託 工 事 収 益	88,872,323	1.8	101,460,035	2.0	△ 12,587,712	△ 12.4
他 会 計 負 担 金	24,762,115	0.5	20,760,515	0.4	4,001,600	19.3
其 他 収 益	72,395,212	1.5	68,320,805	1.4	4,074,407	6.0
そ の 他 収 益	207,520,620	4.2	207,245,194	4.1	275,426	0.1
2 営 業 外 収 益	758,977,713	15.3	777,191,011	15.6	△ 18,213,298	△ 2.3
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,566,334	0.0	205,957	0.0	1,360,377	660.5
他 会 計 負 担 金	306,522,374	6.2	310,196,681	6.2	△ 3,674,307	△ 1.2
他 会 計 補 助 金	0	0.0	4,291,452	0.1	△ 4,291,452	皆減
長 期 前 受 金 戻 入	265,327,915	5.3	263,446,684	5.3	1,881,231	0.7
資 本 費 繰 入 収 益	167,846,046	3.4	174,693,000	3.5	△ 6,846,954	△ 3.9
雜 収 益	17,715,044	0.4	24,357,237	0.5	△ 6,642,193	△ 27.3
水道事業収益合計	4,954,237,887	100.0	4,992,205,190	100.0	△ 37,967,303	△ 0.8
1 営 業 費 用						
原 水 及 び 浄 水 費	4,156,162,989	93.0	4,077,681,621	93.6	78,481,368	1.9
給 水 及 び 配 水 費	893,223,285	20.0	869,928,232	20.0	23,295,053	2.7
メ 一 タ 一 費	261,502,155	5.9	256,445,316	5.9	5,056,839	2.0
受 託 工 事 費	14,178,359	0.3	14,899,105	0.3	△ 720,746	△ 4.8
業 務 費	31,783,902	0.7	30,064,366	0.7	1,719,536	5.7
總 係 費	224,839,710	5.0	222,436,131	5.1	2,403,579	1.1
減 価 償 却 費	505,507,749	11.3	496,645,255	11.4	8,862,494	1.8
資 産 減 耗 費	2,114,833,629	47.3	2,088,352,900	47.9	26,480,729	1.3
2 営 業 外 費 用	110,294,200	2.5	98,910,316	2.3	11,383,884	11.5
支 払 利 息	311,598,620	7.0	279,563,332	6.4	32,035,288	11.5
雜 支 出	265,109,015	5.9	231,345,918	5.3	33,763,097	14.6
水道事業費用合計	46,489,605	1.1	48,217,414	1.1	△ 1,727,809	△ 3.6
当年度純利益(△損失)	486,476,278	—	634,960,237	—	△ 148,483,959	△ 23.4

また、前年度に比較すると、事業収益は37,967千円0.8%の減少となっており、事業費用は110,517千円2.5%の増加となっている。

この主な内容を見ると、次のとおりである。

(ア) 収 益

a 営業収益

給水収益は、家事用給水料の減などにより15,518千円の減少となっている。

負担金は、釧路町負担金の減により12,588千円の減少となっている。

(イ) 費 用

a 営業費用

原水及び浄水費は、薬品費の増などにより23,295千円の増加となっている。

減価償却費は、償却資産の増により26,481千円の増加となっている。

資産減耗費は、固定資産除却費の増により11,384千円の増加となっている。

b 営業外費用

支払利息は、企業債利息の増により33,763千円の増加となっている。

この損益の状況について、各項目ごとの収支を整理してみると、次表のとおりである。

項 目 別 収 支 の 状 況

(単位：円)

項 目	金 額	差 引	収 支 率 %
営 業 収 支			
営 業 収 益	4,170,498,059		
営 業 費 用	4,124,379,087	46,118,972	101.1
受 託 工 事 収 支			
受 託 工 事 収 益	24,762,115		
受 託 工 事 費	31,783,902	△ 7,021,787	77.9
営 業 外 収 支			
営 業 外 収 益	758,977,713		
営 業 外 費 用	311,598,620	447,379,093	243.6
当 年 度 純 利 益 (△ 損 失)	—	486,476,278	—

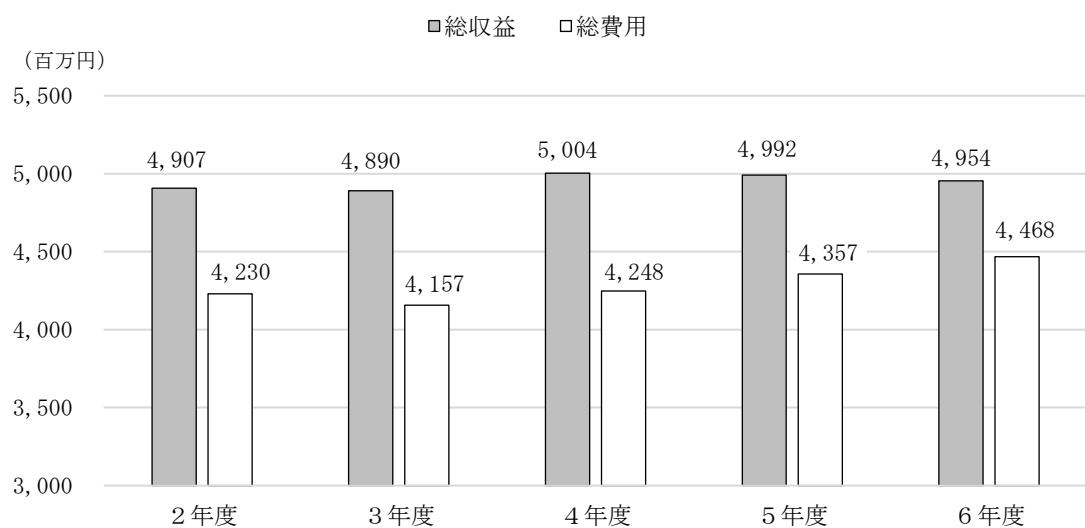
注 営業収支は、受託工事収益及び受託工事費を除く。

最近5年間の損益の推移は、次のとおりである。

損 益 の 推 移

(単位：百万円)

項 目	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
総 収 益	4,907	4,890	5,004	4,992	4,954
総 費 用	4,230	4,157	4,248	4,357	4,468



ウ 給水原価及び供給単価の状況

当年度の給水原価及び供給単価について見ると、次表のとおりである。

給水原価及び供給単価表

項目	6年度	5年度	4年度
営業費用(円)	3,859,051,172	3,784,170,571	3,656,823,201
営業外費用(円)	311,598,620	279,563,332	295,762,482
費用合計(円)	4,170,649,792	4,063,733,903	3,952,585,683
営業費用原価(円/m³)	222.99	217.90	208.45
営業外費用原価(円/m³)	18.01	16.10	16.86
給水原価(円/m³)	241.00	234.00	225.31
給水収益(円)	3,801,709,904	3,817,227,630	3,551,004,670
供給単価(A)(円/m³)	219.68	219.80	202.42
販売利益(B)(円/m³)	△ 21.32	△ 14.20	△ 22.89
販売利益率(B/A)(%)	△ 9.71	△ 6.46	△ 11.31
有収水量(m³)	17,305,573	17,366,692	17,542,915

注1 原価、単価、利益は、いずれも有収水量に対するものである。

2 営業費用は、受託工事費及び長期前受金戻入分を除く。

当年度の有収水量 1 m³当たりの給水原価は241円であり、これに対する供給単価は219円68銭となり、差引販売利益は△21円32銭となっている。

これを前年度に比較すると、給水原価で7円の増加、供給単価で12銭の減少、販売利益で7円12銭の減少となっている。

(2) 資本的収入及び支出について

この予算の執行状況を見ると、収入予算額9,526,692千円に対し決算額7,204,808千円で、その執行率は75.6%であり、また、支出予算額13,027,870千円に対し決算額10,407,489千円で、その執行率は79.9%となっている。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3,202,681千円は、当年度分資本的収支調整額585,543千円、当年度分損益勘定留保資金1,963,609千円、減債積立金433,529千円及び建設改良積立金220,000千円で補填しているものである。

資本的収支の状況は、次表のとおりである。

資 本 的 収 支 の 状 況

(単位：円)

項 目		予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 (B-A)	執行率 (B/A) %
資 本 的 収 入		9,526,692,000	7,204,808,375	△ 2,321,883,625	75.6
企 業 債		5,714,100,000	4,206,300,000	△ 1,507,800,000	73.6
出 資 金		1,630,000,000	1,330,000,000	△ 300,000,000	81.6
他 会 計 負 担 金		32,439,000	30,580,000	△ 1,859,000	94.3
工 事 負 担 金		728,000	28,663,375	27,935,375	3,937.3
国 庫 補 助 金		2,149,425,000	1,609,265,000	△ 540,160,000	74.9
資 本 的 支 出		13,027,870,300	10,407,489,107	△ 2,620,381,193	79.9
建 設 改 良 費		11,433,596,300	8,813,215,716	△ 2,620,380,584	77.1
企 業 債 償 金		1,594,274,000	1,594,273,391	△ 609	100.0
不 足 額		3,501,178,300	3,202,680,732	△ 298,497,568	91.5
補 填 内 訳	当年度分資本的収支調整額	493,294,000	585,542,504	92,248,504	118.7
	当年度分損益勘定留保資金	2,236,846,300	1,963,609,284	△ 273,237,016	87.8
	減 債 積 立 金	551,038,000	433,528,944	△ 117,509,056	78.7
	建 設 改 良 積 立 金	220,000,000	220,000,000	0	100.0

注 1 資本的収入の企業債及び国庫補助金の項目において、予算額の数値は前年度繰越額に係る財源充当額

1,056,100,000円及び316,200,000円を含む。また、企業債、出資金及び国庫補助金の項目において、差引の数値は翌年度繰越額に係る財源額1,292,100,000円、300,000,000円及び575,214,000円を含む。

2 資本的支出の建設改良費の項目において、予算額の数値は前年度繰越額1,639,534,300円を含む。また、差引の数値は翌年度繰越額2,413,668,000円を含む。

この資本的収支の主な内容を見ると、次のとおりである。

ア 収 入

収入では、建設改良費に対する財源としての企業債で4,206,300千円、出資金で1,330,000千円、国庫補助金で1,609,265千円などとなっている。

イ 支 出

支出では、第3回拡張事業費及び配水管整備事業費などの建設改良費で8,813,216千円、企業債償還金で1,594,273千円となっている。

3 企業財政について

(1) 資産の構成

当年度の資産の構成及び額は、次表のとおりである。

資 产 の 構 成

(単位：円)

項 目	6 年度(A)	構成比 %	5 年度(B)	構成比 %	差引増減(A-B)	増減率 %
固 定 資 産	60,739,730,060	94.7	54,884,729,646	89.8	5,855,000,414	10.7
流 動 資 産	3,380,537,485	5.3	6,266,569,621	10.2	△ 2,886,032,136	△ 46.1
資 产 合 計	64,120,267,545	100.0	61,151,299,267	100.0	2,968,968,278	4.9

また、前年度に比較すると、資産合計は2,968,968千円4.9%の増加となっている。

この主な内容を見ると、次のとおりである。

ア 資 産

固定資産は、建設仮勘定の増などにより5,855,000千円の増加となっている。

流動資産は、現金預金の減などにより2,886,032千円の減少となっている。

次に、流動資産のうち未収金の状況は次表のとおりである。未収金は645,763千円で前年度未収金1,494,044千円に比較して848,281千円の減少となっており、収入率は95.4%で前年度収入率87.1%に比較して8.3ポイント上回ったところである。

水道料金の滞納者には、収納及び未収金対策業務の専門性を備えた民間業者への包括委託による効果が表れているが、なお滞納額が多額となっていることから、今後とも収納率向上に向けて、引き続き努力を求めるものである。

未 収 金 の 状 況

(単位 : 円)

項 目	調 定 額	収 入 額	不 納 欠 損 額 (貸倒引当金取崩)	未 収 額	収入率 %
現 年 度	水道事業収益	5,403,177,252	4,816,647,320	0	586,529,932 89.1
	営業収益	4,598,079,506	4,322,822,713	0	275,256,793 94.0
	給水収益	4,181,880,897	3,957,973,084	0	223,907,813 94.6
	負担金	89,975,323	89,975,323	0	100.0
	受託工事収益	25,802,315	25,036,670	0	765,645 97.0
	他会計負担金	72,395,212	42,567,945	0	29,827,267 58.8
	その他収益	228,025,759	207,269,691	0	20,756,068 90.9
	営業外収益	805,097,746	493,824,607	0	311,273,139 61.3
	受取利息及び配当金	1,566,334	1,566,334	0	100.0
	他会計負担金	306,522,374	306,522,374	0	100.0
	資本費繰入収益	167,846,046	167,846,046	0	100.0
	消費税及び地方消費税還付金	311,257,251	0	311,257,251 0.0	
	雑収益	17,905,741	17,889,853	0	15,888 99.9
	資本的収入	7,204,808,375	7,196,404,375	0	8,404,000 99.9
	小計	12,607,985,627	12,013,051,695	0	594,933,932 95.3
過 年 度	水道事業収益	(△ 189,917) 545,503,626	485,398,568	9,276,427	50,828,631 89.0
	営業収益	(△ 189,917) 357,766,691	297,661,633	9,276,427	50,828,631 83.2
	給水収益	(△ 189,917) 289,838,377	229,814,759	9,276,427	50,747,191 79.3
	受託工事収益	934,040	852,600	0	81,440 91.3
	他会計負担金	28,038,623	28,038,623	0	0 100.0
	その他収益	38,955,651	38,955,651	0	0 100.0
	営業外収益	187,736,935	187,736,935	0	0 100.0
	他会計負担金	3,765,000	3,765,000	0	0 100.0
	消費税及び地方消費税還付金	169,390,065	169,390,065	0	0 100.0
	雑収益	14,581,870	14,581,870	0	0 100.0
	資本的収入	948,350,516	948,350,516	0	0 100.0
	小計	(△ 189,917) 1,493,854,142	1,433,749,084	9,276,427	50,828,631 96.0
	合計	(△ 189,917) 14,101,839,769	13,446,800,779	9,276,427	645,762,563 95.4

注 調定額欄の()は、過年度損益修正を表示したものである。

(2) 負債・資本の構成

負債・資本の構成及び額は、次表のとおりである。

負 債 ・ 資 本 の 構 成

(単位：円)

項 目	6年度(A)	構成比 %	5年度(B)	構成比 %	差引増減(A-B)	増減率 %
固 定 負 債	27,121,445,597	42.3	24,464,751,070	40.0	2,656,694,527	10.9
流 動 負 債	2,458,380,392	3.8	5,222,027,780	8.5	△ 2,763,647,388	△ 52.9
繰 延 収 益	10,646,815,899	16.6	9,387,371,038	15.4	1,259,444,861	13.4
負 債 合 計	40,226,641,888	62.7	39,074,149,888	63.9	1,152,492,000	2.9
資 本 金	20,627,921,252	32.2	18,624,346,550	30.5	2,003,574,702	10.8
資 本 剰 余 金	30,226,488	0.1	30,226,488	0.0	0	0.0
利 益 剰 余 金	3,235,477,917	5.0	3,422,576,341	5.6	△ 187,098,424	△ 5.5
資 本 合 計	23,893,625,657	37.3	22,077,149,379	36.1	1,816,476,278	8.2
負 債 ・ 資 本 合 計	64,120,267,545	100.0	61,151,299,267	100.0	2,968,968,278	4.9

また、前年度に比較すると、負債合計は1,152,492千円2.9%、資本合計は1,816,476千円8.2%それぞれ増加となっている。

この主な内容を見ると、次のとおりである。

ア 負 債

固定負債は、企業債の増などにより2,656,695千円の増加となっている。

流動負債は、未払金及び未払費用の減などにより2,763,647千円の減少となっている。

繰延収益は、長期前受金の増などにより1,259,445千円の増加となっている。

イ 資 本

資本金は、一般会計から出資を受けたことなどにより2,003,575千円の増加となっている。

利益剰余金は、未処分利益剰余金を資本金に組み入れしたことなどにより187,098千円の減少となっている。

(3) 資金の状況について

業務活動によるキャッシュ・フローは、通常の業務活動の実施に係る資金の増減を表し、投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動による資金の増減を表し、財務活動によるキャッシュ・フローは、業務活動及び投資活動を行うための資金調達による資金の増減を表している。

キャッシュ・フロー計算書の状況は、次表のとおりである。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

区分	6年度(A)	5年度(B)	差引増減(A-B)
(間接法により作成)			
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	486,476,278	634,960,237	△ 148,483,959
減価償却費	2,114,833,629	2,088,352,900	26,480,729
固定資産除却費	110,294,200	98,910,316	11,383,884
退職給付引当金の増減額（△は減少）	6,281,800	30,608,090	△ 24,326,290
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,691,779	3,244,177	△ 1,552,398
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	465,184	364,163	101,021
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 8,866,298	△ 12,184,901	3,318,603
長期前受金戻入額	△ 265,327,915	△ 263,446,684	△ 1,881,231
資本費繰入収益	△ 167,846,046	△ 174,693,000	6,846,954
受取利息及び配当金	△ 1,566,334	△ 205,957	△ 1,360,377
支払利息	265,109,015	231,345,918	33,763,097
未収金の増減額（△は増加）	△ 19,057,486	△ 260,808,202	241,750,716
未払金の増減額（△は減少）	△ 99,160,429	△ 56,585,691	△ 42,574,738
たな卸資産の増減額（△は増加）	25,275,700	14,460,500	10,815,200
その他流動資産の増減額（△は増加）	0	5,833,800	△ 5,833,800
預り金の増減額（△は減少）	△ 812,774	△ 157,561,689	156,748,915
小計	2,447,790,303	2,182,593,977	265,196,326
利息及び配当金の受取額	1,566,334	205,957	1,360,377
利息の支払額	△ 265,109,015	△ 231,345,918	△ 33,763,097
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,184,247,622	1,951,454,016	232,793,606
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 10,707,144,760	△ 4,724,484,363	△ 5,982,660,397
国庫補助金等による収入	2,363,867,399	758,442,152	1,605,425,247
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	195,661,892	218,647,601	△ 22,985,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,147,615,469	△ 3,747,394,610	△ 4,400,220,859
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	4,206,300,000	4,160,000,000	46,300,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,594,273,391	△ 1,598,776,764	4,503,373
一般会計からの出資金による収入	1,330,000,000	100,000,000	1,230,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,942,026,609	2,661,223,236	1,280,803,373
4 資金増減額（△は減少）	△ 2,021,341,238	865,282,642	△ 2,886,623,880
5 資金期首残高	4,635,709,233	3,770,426,591	865,282,642
6 資金期末残高	2,614,367,995	4,635,709,233	△ 2,021,341,238

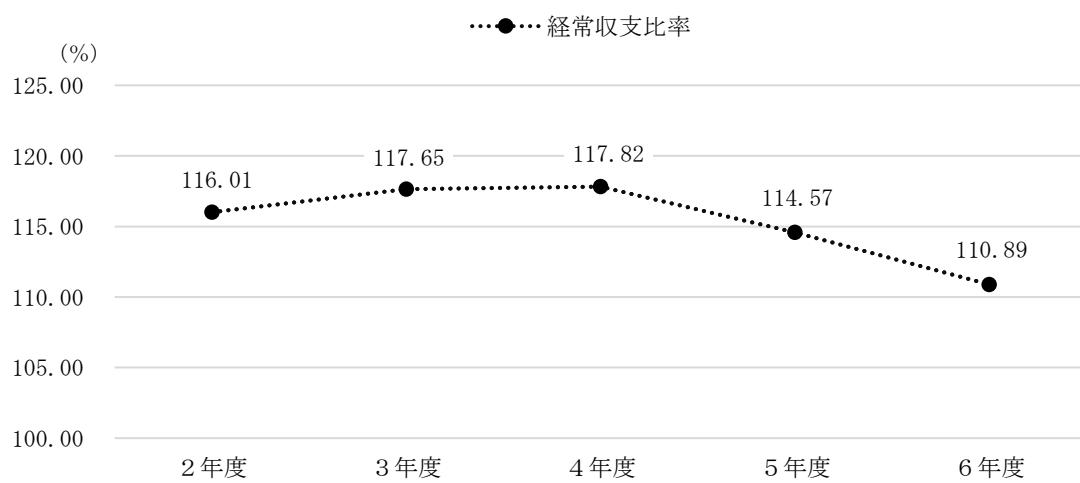
4 経営指標について

経営の健全性を示す最近5年間の経常収支比率の推移は、次のとおりである。

経 常 収 支 比 率 の 推 移

(単位：%)

項 目	2 年 度	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度
経常収支比率	116.01	117.65	117.82	114.57	110.89



IV 財務

1 収益的収入及び支出

(税抜、単位:円)

年 度 項 目	2007 (平成19) 年度	2008 (平成20) 年度	2009 (平成21) 年度	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	2014 (平成26) 年度	2015 (平成27) 年度	2016 (平成28) 年度
I 総 収 益	4,303,479,947	4,204,216,409	4,152,213,838	4,156,380,106	4,129,039,167	4,068,712,567	4,130,819,253	4,355,129,308	4,419,879,787	4,433,368,286
1 営 業 収 益	4,195,311,087	4,096,643,564	4,018,033,656	4,008,433,373	3,977,869,783	3,953,452,475	4,021,305,310	3,961,812,551	3,949,561,507	3,943,116,931
(1) 給 水 収 益	3,894,794,111	3,807,482,779	3,742,692,595	3,731,394,340	3,716,323,217	3,686,081,464	3,590,124,585	3,551,675,842	3,530,698,516	3,514,312,196
(2) 負 担 金	19,140,000	14,890,000	13,470,000	18,520,000	14,840,000	17,350,000	143,952,657	138,810,604	154,048,593	145,078,014
(3) 受 託 工 事 収 益	45,048,700	38,387,300	28,589,400	27,552,800	23,709,600	31,761,800	44,568,100	39,467,000	35,258,990	53,982,851
(4) 他 会 計 負 担 金	49,487,331	49,546,500	53,044,750	60,504,500	49,422,000	46,161,500	60,862,000	49,424,720	47,162,116	47,756,566
(5) そ の 他 収 益	186,840,945	186,336,985	180,236,911	170,461,733	173,574,966	172,097,711	181,797,968	182,434,385	182,393,292	181,987,304
2 営 業 外 収 益	108,168,860	107,572,845	134,180,182	147,946,733	146,575,515	115,260,092	109,513,943	393,316,757	427,256,594	490,251,355
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	3,266,884	6,263,271	5,102,600	2,025,885	1,064,268	1,001,298	970,220	1,110,932	809,011	445,574
(2) 他 会 計 負 担 金	31,369,000	88,129,355	91,371,798	71,257,530	61,456,565	63,161,033	57,452,752	61,545,205	67,062,536	65,283,978
(3) 他 会 計 補 助 金	45,199,812	2,195,900	24,839,389	61,020,000	60,200,938	39,748,164	39,239,837	43,211,391	72,576,279	121,433,938
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	-	-	-	-	-	-	-	227,603,286	223,990,417	229,127,718
(5) 資 本 費 繰 入 収 益	-	-	-	-	-	-	-	49,518,579	51,417,109	51,113,568
(6) 雜 収 益	28,333,164	10,984,319	12,866,395	13,643,318	23,853,744	11,349,597	11,851,134	10,327,364	11,401,242	22,846,579
3 特 別 利 益	-	-	-	-	4,593,869	-	-	-	43,061,686	-
(1) そ の 他 特 別 利 益	-	-	-	-	4,593,869	-	-	-	43,061,686	-
II 総 費 用	3,964,328,225	3,777,170,396	3,963,632,105	3,942,695,389	3,966,231,347	3,740,026,950	3,915,278,836	4,885,019,532	3,897,024,217	3,938,875,084
1 営 業 費 用	3,294,877,660	3,194,290,282	3,444,440,517	3,518,878,279	3,551,221,687	3,342,371,060	3,501,593,806	3,450,555,188	3,532,502,190	3,595,685,254
(1) 原 水 及 び 净 水 費	573,255,138	566,121,629	595,298,869	589,004,871	640,251,885	537,366,040	536,525,458	583,321,063	631,677,345	629,802,326
(2) 給 水 及 び 配 水 費	145,589,933	129,708,672	150,267,058	165,265,726	194,854,478	176,636,978	198,103,626	212,067,047	259,932,992	213,589,544
(3) メ 一 タ 一 費	10,872,277	10,633,659	10,714,895	9,026,304	9,102,456	9,290,638	11,580,831	10,294,123	12,244,038	15,985,213
(4) 受 託 工 事 費	50,608,001	58,001,044	59,739,708	55,194,740	48,621,942	26,469,239	29,070,986	31,295,560	27,677,840	42,236,775
(5) 業 務 費	145,950,482	141,740,782	141,286,144	217,510,186	218,749,161	219,151,087	222,226,915	218,995,906	223,522,983	221,664,238
(6) 総 係 費	851,145,916	742,850,715	820,952,791	812,251,749	733,798,522	688,834,591	654,261,153	584,720,453	558,943,708	589,404,765
(7) 減 億 償 却 費	1,450,732,640	1,458,800,575	1,541,554,768	1,563,223,488	1,586,369,151	1,596,454,621	1,683,690,412	1,712,463,829	1,749,838,916	1,779,473,853
(8) 資 産 減 耗 費	66,723,273	86,433,206	124,626,284	107,401,215	119,474,092	88,167,866	166,134,425	97,397,207	68,664,368	103,528,540
2 営 業 外 費 用	669,450,565	582,880,114	519,191,588	423,817,110	415,009,660	397,655,890	413,685,030	375,327,344	364,522,027	343,189,830
(1) 支 払 利 息	599,743,086	511,452,019	445,768,966	361,942,155	352,232,562	346,996,313	370,664,441	363,426,950	348,041,231	328,764,080
(2) 雜 支 出	69,707,479	71,428,095	73,422,622	61,874,955	62,777,098	50,659,577	43,020,589	11,900,394	16,480,796	14,425,750
3 特 別 損 失	-	-	-	-	-	-	-	1,059,137,000	-	-
(1) そ の 他 特 別 損 失	-	-	-	-	-	-	-	1,059,137,000	-	-
III 差 引 (I - II)	339,151,722	427,046,013	188,581,733	213,684,717	162,807,820	328,685,617	215,540,417	△ 529,890,224	522,855,570	494,493,202

1 収益の収入及び支出

(税抜、単位:円)

項目	年 度	2017 (平成29) 年度	2018 (平成30) 年度	2019 (令和元) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
I 総 収 益		4,477,422,893	4,859,920,833	4,938,579,944	4,907,238,695	4,890,325,243	5,004,221,800	4,992,205,190	4,954,237,887
1 営 業 収 益		3,910,470,749	4,420,649,838	4,479,233,354	4,085,457,912	4,402,995,319	3,923,921,525	4,215,014,179	4,195,260,174
(1) 給 水 収 益		3,499,403,911	4,020,279,540	4,066,519,254	3,701,288,467	4,009,940,723	3,551,004,670	3,817,227,630	3,801,709,904
(2) 負 担 金		134,380,167	134,233,984	119,679,833	100,740,532	97,535,051	88,603,102	101,460,035	88,872,323
(3) 受 託 工 事 収 益		37,302,380	34,750,064	29,711,385	28,394,005	25,723,930	24,308,790	20,760,515	24,762,115
(4) 他 会 計 負 担 金		57,520,530	44,195,351	70,684,989	53,071,785	58,844,952	53,885,427	68,320,805	72,395,212
(5) そ の 他 収 益		181,863,761	187,190,899	192,637,893	201,963,123	210,950,663	206,119,536	207,245,194	207,520,620
2 営 業 外 収 益		566,952,144	439,270,995	459,346,590	821,780,783	487,329,924	1,080,300,275	777,191,011	758,977,713
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金		380,712	332,722	307,328	297,206	185,406	183,297	205,957	1,566,334
(2) 他 会 計 負 担 金		118,604,099	121,374,062	131,391,288	492,911,260	142,136,376	609,292,320	310,196,681	306,522,374
(3) 他 会 計 補 助 金		122,110,655	-	-	-	-	4,002,569	4,291,452	-
(4) 長 期 前 受 金 戻 入		263,705,602	251,019,031	258,023,728	263,677,179	274,214,564	266,756,981	263,446,684	265,327,915
(5) 資 本 費 繰 入 収 益		52,659,416	55,130,137	49,887,923	53,155,718	58,519,154	188,747,447	174,693,000	167,846,046
(6) 雜 収 益		9,491,660	11,415,043	19,736,323	11,739,420	12,274,424	11,317,661	24,357,237	17,715,044
3 特 別 利 益		-	-	-	-	-	-	-	-
(1) そ の 他 特 別 利 益		-	-	-	-	-	-	-	-
II 総 費 用		4,216,170,320	4,300,342,341	4,248,428,387	4,230,130,566	4,156,783,116	4,247,509,879	4,357,244,953	4,467,761,609
1 営 業 費 用		3,893,084,371	3,996,547,864	3,961,038,176	3,930,890,497	3,907,387,161	3,951,747,397	4,077,681,621	4,156,162,989
(1) 原 水 及 び 净 水 費		673,949,139	749,222,750	790,304,330	717,621,607	767,429,213	846,842,919	869,928,232	893,223,285
(2) 給 水 及 び 配 水 費		221,565,616	269,862,067	207,516,095	261,620,368	237,427,097	230,121,288	256,445,316	261,502,155
(3) メ 一 タ 一 費		23,626,300	23,437,470	16,363,586	8,420,884	13,277,837	12,525,971	14,899,105	14,178,359
(4) 受 託 工 事 費		23,584,032	25,672,474	28,462,148	25,593,518	30,361,765	28,167,215	30,064,366	31,783,902
(5) 業 務 費		237,014,933	221,681,875	216,933,853	222,322,025	226,404,005	223,405,143	222,436,131	224,839,710
(6) 総 係 費		524,780,122	571,689,094	542,352,635	575,535,072	494,553,258	440,824,412	496,645,255	505,507,749
(7) 減 価 償 却 費		1,946,523,542	1,988,952,760	2,034,898,650	2,023,393,668	2,043,507,740	2,066,166,966	2,088,352,900	2,114,833,629
(8) 資 産 減 耗 費		242,040,687	146,029,374	124,206,879	96,383,355	94,426,246	103,693,483	98,910,316	110,294,200
2 営 業 外 費 用		323,085,949	303,794,477	287,390,211	299,240,069	249,395,955	295,762,482	279,563,332	311,598,620
(1) 支 払 利 息		307,942,807	285,753,880	269,693,549	249,350,147	231,321,850	222,633,755	231,345,918	265,109,015
(2) 雜 支 出		15,143,142	18,040,597	17,696,662	49,889,922	18,074,105	73,128,727	48,217,414	46,489,605
3 特 別 損 失		-	-	-	-	-	-	-	-
(1) そ の 他 特 別 損 失		-	-	-	-	-	-	-	-
III 差 引 (I - II)		261,252,573	559,578,492	690,151,557	677,108,129	733,542,127	756,711,921	634,960,237	486,476,278

2 資本的収入及び支出

(税込、単位:円)

項目	年 度	2007 (平成19) 年度	2008 (平成20) 年度	2009 (平成21) 年度	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	2014 (平成26) 年度	2015 (平成27) 年度	2016 (平成28) 年度
I 資本的 収入		2,241,318,947	3,058,748,995	2,656,969,313	1,300,872,970	1,673,672,628	2,078,321,803	2,544,837,411	2,049,054,455	2,917,363,960	1,893,447,200
1 企 業 債	1,736,400,000	2,609,900,000	2,558,600,000	1,027,700,000	1,403,600,000	1,591,200,000	2,041,200,000	1,584,200,000	2,631,700,000	1,655,600,000	
2 他 会 計 負 担 金	69,301,688	69,910,745	63,984,813	58,408,470	86,091,497	80,176,803	84,535,411	218,522,855	34,707,960	35,899,200	
3 工 事 負 担 金	10,022,759	3,638,250	3,664,500	3,664,500	3,675,000	28,077,000	38,766,000	51,699,600	45,036,000	61,668,000	
4 国 庫 補 助 金	31,700,000	35,700,000	30,720,000	61,100,000	30,250,000	228,868,000	230,336,000	194,632,000	205,920,000	140,280,000	
5 長 期 貸 付 金 返 還 金	-	-	-	150,000,000	150,000,000	150,000,000	150,000,000	-	-	-	-
6 出 資 金	393,800,000	321,100,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 固 定 資 産 売 却 代 金	94,500	-	-	-	56,131	-	-	-	-	-	-
8 そ の 他 収 入	-	18,500,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 資本的 支出		3,860,571,438	4,711,818,022	5,119,124,464	2,975,954,978	3,449,583,758	3,837,979,490	4,392,837,115	4,195,749,838	5,289,193,836	4,147,108,680
1 建 設 改 良 費	1,960,665,773	2,043,754,731	1,756,277,165	1,863,900,066	2,342,943,737	2,713,242,803	3,172,496,552	2,932,368,123	4,005,419,042	2,859,688,706	
(1) 土 地 取 得 費	-	24,760,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 営 業 設 備 費	535,500	19,016,180	12,925,500	14,803,950	7,679,700	2,207,100	6,481,360	4,782,910	6,478,668	13,032,920	
(3) 第 3 回 拡 張 事 業 費	896,367,727	723,732,794	203,873,896	296,057,523	733,360,689	834,584,387	1,041,879,029	1,139,524,431	2,382,809,625	795,394,845	
(4) 配 水 管 整 備 事 業 費	287,679,955	410,850,510	400,371,470	409,991,413	493,097,400	515,734,375	543,168,736	679,523,802	663,354,248	744,392,402	
(5) 浄 水 場 施 設 整 備 事 業 費	307,965,000	339,412,500	472,395,000	582,067,500	471,586,500	231,976,500	196,350,000	469,756,800	200,340,000	530,571,600	
(6) 簡 易 水 道 整 備 事 業 費	150,768,254	160,039,193	270,127,200	198,678,370	220,167,090	716,155,830	938,059,550	166,163,400	312,647,040	278,292,740	
(7) メ 一 タ 一 整 備 事 業 費	210,390,868	252,274,724	282,289,041	238,096,405	312,835,959	290,471,325	321,231,085	325,648,194	284,266,232	343,064,481	
(8) 水 質 検 査 機 器 整 備 事 業 費	5,282,655	13,974,030	18,060,000	24,108,000	5,760,825	491,400	2,872,800	21,886,200	13,154,400	20,131,200	
(9) 職 員 給 与 費	101,675,814	99,694,800	96,235,058	100,096,905	98,455,574	121,621,886	122,453,992	125,082,386	142,368,829	134,808,518	
2 企 業 債 償 戻 金	1,897,348,693	2,666,599,197	2,761,199,402	1,110,626,779	1,103,794,009	1,123,344,446	1,220,340,563	1,263,381,715	1,283,774,794	1,287,419,974	
3 長 期 貸 付 金	-	-	600,000,000	-	-	-	-	-	-	-	-
4 国 庫 補 助 金 消 費 税 返 還 金	2,556,972	1,464,094	1,647,897	1,428,133	2,846,012	1,392,241	-	-	-	-	-
5 出 資 金	-	3,027,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 不 足 額 (II - I)	1,619,252,491	1,653,069,027	2,462,155,151	1,675,082,008	1,775,911,130	1,759,657,687	1,847,999,704	2,146,695,383	2,371,829,876	2,253,661,480	

2 資本の収入及び支出

(税込、単位:円)

項目	年 度	2017 (平成29) 年度	2018 (平成30) 年度	2019 (令和元) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
I 資本的収入		1,371,638,800	5,427,466,800	2,091,556,800	1,752,327,300	2,906,142,000	3,150,180,753	5,644,637,079	7,204,808,375
1 企 業 債		1,169,000,000	3,724,600,000	1,248,700,000	1,062,200,000	2,019,400,000	2,424,300,000	4,160,000,000	4,206,300,000
2 他 会 計 負 担 金		32,626,800	35,845,200	41,076,800	39,270,000	52,965,000	33,913,000	48,323,000	30,580,000
3 工 事 負 担 金		51,192,000	25,563,600	14,080,000	40,670,300	19,030,000	53,077,753	52,573,079	28,663,375
4 国 庫 補 助 金		118,820,000	1,298,458,000	444,700,000	286,187,000	452,747,000	638,890,000	1,283,741,000	1,609,265,000
5 長 期 貸 付 金 返 還 金		-	-	-	-	-	-	-	-
6 出 資 金		-	343,000,000	343,000,000	324,000,000	362,000,000	-	100,000,000	1,330,000,000
7 固 定 資 産 売 却 代 金		-	-	-	-	-	-	-	-
8 そ の 他 収 入		-	-	-	-	-	-	-	-
II 資本的支出		3,693,231,001	8,242,612,474	4,757,276,169	4,361,578,721	5,715,417,277	6,017,822,830	8,621,006,754	10,407,489,107
1 建 設 改 良 費		2,300,893,147	6,649,707,186	3,147,049,788	2,776,891,531	4,152,764,761	4,376,809,126	7,022,229,990	8,813,215,716
(1) 土 地 取 得 費		-	-	-	-	-	-	-	-
(2) 営 業 設 備 費		9,520,330	3,852,074	7,787,536	9,216,460	2,395,230	3,655,420	3,036,000	569,250
(3) 第 3 回 拡 張 事 業 費		349,731,758	4,683,807,143	1,726,006,325	971,397,232	1,684,332,946	1,667,437,684	4,053,958,955	5,645,968,631
(4) 配 水 管 整 備 事 業 費		825,455,720	880,184,880	699,754,025	957,266,754	1,495,088,838	1,763,844,377	1,980,331,928	2,112,464,216
(5) 淨 水 場 施 設 整 備 事 業 費		310,917,960	420,876,000	86,900,000	216,084,000	283,390,430	339,680,000	285,450,000	191,950,000
(6) 簡 易 水 道 整 備 事 業 費		281,448,000	122,364,000	77,127,600	41,085,000	118,739,500	9,658,000	66,308,000	77,880,000
(7) メ 一 タ 一 整 備 事 業 費		375,510,510	385,575,822	409,951,317	426,160,339	395,888,176	432,545,198	467,936,017	585,380,518
(8) 水 質 検 査 機 器 整 備 事 業 費		5,967,000	10,882,080	4,193,244	5,764,000	9,903,300	3,143,030	7,162,320	26,002,240
(9) 職 員 給 与 費		142,341,869	142,165,187	135,329,741	149,917,746	163,026,341	156,845,417	158,046,770	173,000,861
2 企 業 債 償 金		1,392,337,854	1,592,905,288	1,610,226,381	1,584,687,190	1,562,652,516	1,641,013,704	1,598,776,764	1,594,273,391
3 長 期 貸 付 金		-	-	-	-	-	-	-	-
4 国 庫 補 助 金 消 費 税 返 還 金		-	-	-	-	-	-	-	-
5 出 資 金		-	-	-	-	-	-	-	-
III 不 足 額 (II - I)		2,321,592,201	2,815,145,674	2,665,719,369	2,609,251,421	2,809,275,277	2,867,642,077	2,976,369,675	3,202,680,732

3 資金収支の状況

(税込、単位:円)

年 度 項目	2007 (平成19) 年度	2008 (平成20) 年度	2009 (平成21) 年度	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	2014 (平成26) 年度	2015 (平成27) 年度	2016 (平成28) 年度
1 前 年 度 末 資 金 剰 余 額	1,320,958,280	1,665,144,416	2,070,938,289	1,540,058,964	1,845,119,067	2,035,958,279	2,445,307,799	2,720,275,157	2,675,625,567	2,489,571,645
2 当 年 度 純 利 益	339,151,722	427,046,013	188,581,733	213,684,717	162,807,820	328,685,617	215,540,417	△ 529,890,224	522,855,570	494,493,202
3 減 価 償 却 費 、資 産 減 耗 費	1,517,455,913	1,545,233,781	1,666,181,052	1,670,624,703	1,705,843,243	1,684,622,487	1,849,824,837	1,800,102,009	1,816,364,076	1,884,161,895
4 長 期 前 受 け 金 戻 入 等 (△)	-	-	-	-	-	-	-	△ 227,603,286	△ 223,990,417	△ 229,127,718
5 引 当 金 取 崩	-	-	△ 15,640,000	△ 7,400,000	△ 5,300,000	-	△ 61,161,400	△ 197,137,516	△ 220,885,887	△ 119,751,942
6 引 当 金 繰 入	20,126,353	-	-	21,368,000	-	50,384,000	-	1,119,713,043	45,749,928	109,861,779
7 4 条 非 課 税 割 合 消 費 税	-	-	-	-	-	-	188,253	1,858,685	2,765,813	1,882,850
8 資 本 的 収 支 不 足 額	△ 1,619,252,491	△ 1,656,096,027	△ 2,446,515,151	△ 1,675,082,008	△ 1,775,911,130	△ 1,759,657,687	△ 1,847,999,704	△ 2,146,695,383	△ 2,371,829,876	△ 2,253,661,480
9 資 本 的 収 支 調 整 額	86,704,639	89,610,106	76,513,041	81,864,691	103,399,279	105,315,103	118,574,955	135,003,082	242,916,871	165,817,902
10 当 年 度 末 資 金 剰 余 額	1,665,144,416	2,070,938,289	1,540,058,964	1,845,119,067	2,035,958,279	2,445,307,799	2,720,275,157	2,675,625,567	2,489,571,645	2,543,248,133
(1) 退 職 手 当 引 当 金	-	-	-	21,368,000	21,368,000	71,752,000	21,752,000	679,350,330	587,921,070	601,003,940
(2) 資 産 維 持 費 相 当 額 積 立 金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 質 的 な 資 金 剰 余 額	1,665,144,416	2,070,938,289	1,540,058,964	1,823,751,067	2,014,590,279	2,373,555,799	2,698,523,157	1,996,275,237	1,901,650,575	1,942,244,193
单 年 度 資 金 剰 余 額	344,186,136	405,793,873	△ 530,879,325	305,060,103	190,839,212	409,349,520	274,967,358	△ 44,649,590	△ 186,053,922	53,676,488

年 度 項目	2017 (平成29) 年度	2018 (平成30) 年度	2019 (令和元) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
1 前 年 度 末 資 金 剰 余 額	2,543,248,133	2,277,269,817	2,265,152,400	2,321,352,560	※ 2,461,791,904	2,526,891,183	2,570,088,512	2,638,815,232
2 当 年 度 純 利 益	261,252,573	559,578,492	690,151,557	677,108,129	733,542,127	756,711,921	634,960,237	486,476,278
3 減 価 償 却 費 、資 産 減 耗 費	2,188,564,229	2,134,913,535	2,159,105,529	2,119,777,023	2,137,933,986	2,169,860,449	2,187,263,216	2,225,127,829
4 長 期 前 受 け 金 戻 入 等 (△)	△ 263,705,602	△ 251,019,031	△ 258,023,728	△ 263,677,179	△ 274,214,564	△ 266,756,981	△ 263,446,684	△ 265,327,915
5 引 当 金 取 崩	△ 259,815,603	△ 65,081,670	△ 77,176,358	△ 30,023,371	△ 41,730,437	△ 35,141,347	12,281,830	△ 6,264,034
6 引 当 金 繰 入	1,530,677	58,785,980	26,439,971	71,738,847	36,769,297	△ 6,001,610	17,385,664	12,148,546
7 4 条 非 課 税 割 合 消 費 税	1,511,217	4,283,446	1,736,665	1,719,241	2,336,413	2,573,094	3,282,988	4,206,658
8 資 本 的 収 支 不 足 額	△ 2,321,592,201	△ 2,815,145,674	△ 2,665,719,369	△ 2,609,251,421	△ 2,809,275,277	△ 2,867,642,077	△ 2,976,369,675	△ 3,202,680,732
9 資 本 的 収 支 調 整 額	126,276,394	361,567,505	179,685,893	173,047,078	279,737,734	289,593,880	453,369,144	585,542,504
10 当 年 度 末 資 金 剰 余 額	2,277,269,817	2,265,152,400	2,321,352,560	2,461,790,907	2,526,891,183	2,570,088,512	2,638,815,232	2,478,044,366
(1) 退 職 手 当 引 当 金	514,992,980	508,697,290	457,992,820	500,845,500	495,987,000	456,047,110	486,655,200	492,937,000
(2) 資 産 維 持 費 相 当 額 積 立 金	-	110,000,000	220,000,000	330,000,000	440,000,000	440,000,000	440,000,000	440,000,000
実 質 的 な 資 金 剰 余 額	1,762,276,837	1,646,455,110	1,643,359,740	1,630,945,407	1,590,904,183	1,674,041,402	1,712,160,032	1,545,107,366
单 年 度 資 金 剰 余 額	△ 265,978,316	△ 12,117,417	56,200,160	140,438,347	65,099,279	43,197,329	68,726,720	△ 160,770,866

※ 2021(令和3)年度から釧路市農業用簡易水道事業会計統合による前年度末資金剰余額引継分997円を含む。

4 企業債の状況

(税込、単位:円)

年 度 項 目	2007 (平成19) 年度	2008 (平成20) 年度	2009 (平成21) 年度	2010 (平成22) 年度	2011 (平成23) 年度	2012 (平成24) 年度	2013 (平成25) 年度	2014 (平成26) 年度	2015 (平成27) 年度	2016 (平成28) 年度
1 企 業 債	1,736,400,000	2,609,900,000	2,558,600,000	1,027,700,000	1,403,600,000	1,591,200,000	2,041,200,000	1,584,200,000	2,631,700,000	1,655,600,000
(1) 第 3 回 拡 張 事 業 費	470,200,000	383,700,000	120,200,000	211,700,000	530,000,000	441,400,000	677,800,000	771,400,000	1,731,700,000	555,300,000
(2) 配 水 管 整 備 事 業 費	167,700,000	254,200,000	239,600,000	259,500,000	350,800,000	320,300,000	331,400,000	326,300,000	470,400,000	509,400,000
(3) 净 水 場 施 設 整 備 事 業 費	146,000,000	232,200,000	302,400,000	389,800,000	324,600,000	155,200,000	139,200,000	349,900,000	139,700,000	334,100,000
(4) 簡 易 水 道 整 備 事 業 費	114,200,000	141,200,000	249,900,000	166,700,000	198,200,000	674,300,000	892,800,000	136,600,000	289,900,000	256,800,000
(5) 借 換 債	838,300,000	1,598,600,000	1,646,500,000	-	-	-	-	-	-	-
2 企 業 債 償 戻 金	1,897,348,693	2,666,599,197	2,761,199,402	1,110,626,779	1,103,794,009	1,123,344,446	1,220,340,563	1,263,381,715	1,283,774,794	1,287,419,974
(1) 第 3 回 拡 張 事 業	854,398,292	1,012,072,577	999,021,713	381,984,578	354,611,293	340,593,149	346,621,755	349,235,718	339,655,286	324,643,743
(2) 配 水 管 整 備 事 業	699,687,117	1,250,271,522	1,135,276,108	433,464,453	430,054,301	427,049,452	428,223,879	433,139,990	440,878,961	444,774,517
(3) 净 水 場 施 設 整 備 事 業	101,386,208	234,185,979	164,374,390	147,092,332	167,207,714	196,062,427	222,844,762	259,631,354	266,907,883	281,078,498
(4) 簡 易 水 道 整 備 事 業	241,877,076	170,069,119	462,527,191	148,085,416	151,920,701	159,639,418	142,598,380	139,473,668	152,516,354	151,122,826
(5) 釧 路 町 引 繙 額	-	-	-	-	-	-	80,051,787	81,900,985	83,816,310	85,800,390
3 当 年 度 末 企 業 債 残 高	16,335,091,689	16,278,392,492	16,075,793,090	15,992,866,311	16,292,672,302	16,760,527,856	※18,689,396,974	19,010,215,259	20,358,140,465	20,726,320,491

年 度 項 目	2017 (平成29) 年度	2018 (平成30) 年度	2019 (令和元) 年度	2020 (令和2) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度
1 企 業 債	1,169,000,000	3,724,600,000	1,248,700,000	1,062,200,000	2,019,400,000	2,424,300,000	4,160,000,000	4,206,300,000
(1) 第 3 回 拡 張 事 業 費	220,900,000	2,870,700,000	769,800,000	331,900,000	766,100,000	1,071,500,000	2,729,900,000	2,676,500,000
(2) 配 水 管 整 備 事 業 費	486,300,000	506,600,000	384,000,000	540,500,000	951,100,000	1,149,900,000	1,174,200,000	1,333,000,000
(3) 净 水 場 施 設 整 備 事 業 費	196,600,000	260,500,000	60,200,000	151,300,000	183,600,000	193,400,000	199,500,000	134,200,000
(4) 簡 易 水 道 整 備 事 業 費	265,200,000	86,800,000	34,700,000	38,500,000	118,600,000	9,500,000	56,400,000	62,600,000
(5) 借 換 債	-	-	-	-	-	-	-	-
2 企 業 債 儻 戻 金	1,392,337,854	1,592,905,288	1,610,226,381	1,584,687,190	1,562,652,516	1,641,013,704	1,598,776,764	1,594,273,391
(1) 第 3 回 拡 張 事 業	307,226,385	484,319,317	508,161,041	525,336,008	529,616,356	658,776,606	657,068,794	678,778,324
(2) 配 水 管 整 備 事 業	444,040,239	450,501,411	429,690,813	407,298,737	380,723,602	355,478,798	338,346,545	327,967,690
(3) 净 水 場 施 設 整 備 事 業	314,330,017	315,867,685	327,940,550	311,634,029	289,051,851	251,187,329	246,679,848	241,684,280
(4) 簡 易 水 道 整 備 事 業	239,182,113	252,542,740	258,710,475	273,695,186	294,499,720	304,701,594	285,240,422	275,573,660
(5) 釧 路 町 引 繙 額	87,559,100	89,674,135	85,723,502	66,723,230	68,760,987	70,869,377	71,441,155	70,269,437
3 当 年 度 末 企 業 債 残 高	20,502,982,637	22,634,677,349	22,273,150,968	21,750,663,778	※22,227,859,729	23,011,146,025	25,572,369,261	28,184,395,870

※1 2013(平成25)年度から釧路町給水区域化による企業債引継額1,108,009,681円を含む。

※2 2021(令和3)年度から釧路市農業用簡易水道事業会計統合による企業債引継額20,448,467円を含む。

5 建設改良工事の概況

(1) 第3回拡張事業の実績状況

2020(令和2)年度		(税込)
◎施設工事 (爱国浄水場土木・建築工事) ～継続費設定 (爱国浄水場水処理プラント設備工事)		954,178,000
◎調査設計委託等		17,219,232
合	計	971,397,232

2021(令和3)年度		(税込)
◎施設工事 (爱国浄水場土木・建築工事) ～継続費設定 (爱国浄水場設備工事)		1,670,656,500
～継続費設定 (爱国浄水場構内連絡管布設工事)		
～継続費設定 (爱国浄水場水処理プラント設備工事)		
◎調査設計委託等		13,676,446
合	計	1,684,332,946

2022(令和4)年度		(税込)
◎施設工事 (爱国浄水場土木・建築工事) ～継続費設定 (爱国浄水場設備工事)		1,647,380,600
～継続費設定 (爱国浄水場構内連絡管布設工事)		
～継続費設定 (爱国浄水場水処理プラント設備工事)		
◎調査設計委託等		20,057,084
合	計	1,667,437,684

2023(令和5)年度		(税込)
◎施設工事 (爱国浄水場土木・建築工事) ～継続費設定 (爱国浄水場設備工事)		4,032,777,600
～継続費設定 (爱国浄水場構内連絡管布設工事)		
～継続費設定 (爱国浄水場水処理プラント設備工事)		
◎調査設計委託等		21,181,355
合	計	4,053,958,955

2024(令和6)年度		(税込)
◎施設工事 (爱国浄水場土木・建築工事) ～継続費設定 (爱国浄水場設備工事)		5,603,459,900
～継続費設定 (爱国浄水場構内連絡管布設工事)		
～継続費設定 (爱国浄水場水処理プラント設備工事)		
～継続費設定 (爱国浄水場外構工事)		
◎調査設計委託等		42,508,731
合	計	5,645,968,631

(2) 配水管整備事業の実績状況

2020(令和2)年度		(税込)
◎老朽管更新(Φ50～Φ250 延長 2,872m)		516,142,000
◎配水管布設(Φ50～Φ200 延長 897m)		187,404,525
◎消火栓設置(新設 4基、移設 12基)		37,026,000
◎調査設計委託等		216,694,229
合	計	957,266,754

2021(令和3)年度		(税込)
◎老朽管更新(Φ40～Φ250 延長 3,552m)		657,602,000
◎配水管布設(Φ50～Φ150 延長 2,523m)		419,749,000
◎消火栓設置(移設 23基)		52,965,000
◎調査設計委託等		364,772,838
合	計	1,495,088,838

2022(令和4)年度		(税込)
◎老朽管更新(Φ50～Φ1,000 延長 5,427m)		1,397,077,000
◎配水管布設(Φ50～Φ150 延長 920m)		145,794,000
◎消火栓設置(移設 17基)		33,913,000
◎調査設計委託等		187,060,377
合	計	1,763,844,377

2023(令和5)年度		(税込)
◎老朽管更新(Φ50～Φ700 延長 6,242m)		1,636,063,000
◎配水管布設(Φ50～Φ200 延長 728m)		167,706,000
◎消火栓設置(移設 15基)		48,323,000
◎調査設計委託等		128,239,928
合	計	1,980,331,928

2024(令和6)年度		(税込)
◎老朽管更新(Φ50～Φ1,000 延長 3,157m)		1,747,361,000
◎配水管布設(Φ50～Φ150 延長 658m)		161,051,000
◎消火栓設置(新設 2基、移設 9基)		30,580,000
◎調査設計委託等		173,472,216
合	計	2,112,464,216

(3) 净水場施設整備事業の実績状況

		(税込)
2020(令和2)年度		金額(円)
◎電気設備更新 (貝塚送配水ポンプ場直流電源装置更新工事)		17,710,000
◎機械設備更新 (貝塚送配水ポンプ場桜ヶ岡送水ポンプ更新工事)		159,500,000
◎計装設備更新 (計装監視制御設備更新工事)		38,874,000
合	計	216,084,000
2021(令和3)年度		金額(円)
◎施設設備更新 (汚泥処理施設浸水対策止水板工事)		10,010,000
◎電気設備更新 (貝塚送配水ポンプ場非常用発電機燃料タンク増設工事) (取水口高圧ケーブル更新工事)		57,255,000
◎機械設備更新 (貝塚送配水ポンプ場桜ヶ岡送水ポンプ更新工事)		139,700,000
◎計装設備更新 (計装監視制御設備更新工事)		51,260,000
◎調査設計委託等		25,165,430
合	計	283,390,430
2022(令和4)年度		金額(円)
◎電気設備更新 (導水ポンプ場4号導水ポンプ高圧インバータ盤更新工事) (導水ポンプ場非常用発電設備更新工事)		244,090,000
◎機械設備更新 (貝塚送配水ポンプ場配水ライン改造工事)		18,590,000
◎計装設備更新 (計装監視制御設備更新工事)		77,000,000
合	計	339,680,000
2023(令和5)年度		金額(円)
◎施設設備更新 (貝塚送配水ポンプ場2号配水池防水工事) (導水ポンプ場屋上防水更新工事)		146,520,000
◎電気設備更新 (導水ポンプ場2号導水ポンプ高圧インバータ盤更新工事) (貝塚送配水ポンプ場補助継電器盤更新工事)		52,360,000
◎機械設備更新 (導水ポンプ場機械設備新設工事)		7,370,000
◎計装設備更新 (計装監視制御設備更新工事)		79,200,000
合	計	285,450,000
2024(令和6)年度		金額(円)
◎電気設備更新 (導水ポンプ場1号導水ポンプ高圧インバータ盤更新工事) (沈砂池受変電設備更新工事)		77,990,000
◎機械設備更新 (愛国汚泥処理機械更新工事)		6,600,000
◎計装設備更新 (計装監視制御設備更新工事)		107,360,000
合	計	191,950,000

(4) 簡易水道整備事業の実績状況

		(税込)
2020(令和2)年度		金額(円)
◎消火栓設置(移設 1基)		2,244,000
◎浄水場施設設備 (阿寒净水場計装設備更新工事、機械設備更新工事) (音別净水場送水電動弁更新工事)		25,311,000
◎調査設計委託等		13,530,000
合	計	41,085,000
2021(令和3)年度		金額(円)
◎浄水場施設設備 (阿寒净水場取水井戸設置工事、送水流量計更新工事) (音別净水場送水電動弁更新工事、流量計更新工事、計装設備更新工事)		118,739,500
合	計	118,739,500
2022(令和4)年度		金額(円)
◎浄水場施設設備 (阿寒净水場計装設備更新工事、燃料タンク増設工事) (音別净水場流量計更新工事)		9,592,000
◎調査設計委託		66,000
合	計	9,658,000
2023(令和5)年度		金額(円)
◎電気設備更新 (阿寒净水場原水濁度計更新工事) (音別净水場ろ過濁度計更新工事、高圧気中開閉器更新工事) (直別净水場遠方監視装置更新工事、計装設備更新工事)		24,178,000
◎機械設備更新 (山花簡易水道施設配水ポンプ更新工事) (阿寒净水場機械設備更新工事)		32,780,000
◎調査設計委託		9,350,000
合	計	66,308,000
2024(令和6)年度		金額(円)
◎施設設備更新 (阿寒净水場屋根防水更新工事)		29,535,000
◎電気設備更新 (阿寒净水場沈殿水濁度計更新工事) (音別净水場ろ過濁度計更新工事) (直別净水場残留塩素計更新工事)		14,465,000
◎機械設備更新 (山花簡易水道施設取水ポンプ更新工事)		4,620,000
◎計装設備更新 (山花簡易水道施設水質計器更新工事) (飽別簡易水道施設設備更新工事)		29,260,000
合	計	77,880,000

(5) メーター整備事業の実績状況

項目	(税込、単位:個)					
	年度 (令和2)年度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
φ 13	更新個数	6,782	5,396	6,277	5,983	7,326
	新設個数	12	7	15	6	8
	合 計	6,794	5,403	6,292	5,989	7,334
φ 20	更新個数	4,533	3,844	3,507	4,136	4,413
	新設個数	730	793	639	557	485
	合 計	5,263	4,637	4,146	4,693	4,898
φ 25	更新個数	311	197	299	276	327
	新設個数	24	43	22	32	21
	合 計	335	240	321	308	348
φ 40	更新個数	126	91	138	97	145
	新設個数	14	12	7	7	4
	合 計	140	103	145	104	149
φ 50	更新個数	61	46	67	66	90
	新設個数	9	0	3	1	9
	合 計	70	46	70	67	99
φ 75	更新個数	12	17	11	16	9
	新設個数	2	1	0	0	0
	合 計	14	18	11	16	9
φ 100	更新個数	4	4	2	4	7
	新設個数	0	0	0	1	0
	合 計	4	4	2	5	7
φ 125	更新個数	0	0	0	0	0
	新設個数	0	0	0	0	0
	合 計	0	0	0	0	0
φ 150	更新個数	0	2	0	2	1
	新設個数	0	2	0	0	0
	合 計	0	4	0	2	1
φ 200	更新個数	0	1	0	0	2
	新設個数	0	0	0	0	0
	合 計	0	1	0	0	2
合計	更新個数	11,829	9,598	10,301	10,580	12,320
	新設個数	791	858	686	604	527
	合 計	12,620	10,456	10,987	11,184	12,847
事 業 費 (円)	426,160,339	395,888,176	432,545,198	467,936,017	585,380,518	

(6) 水質検査機器整備事業の実績状況

年 度	事 業 の 内 容	(税込)
2020 (令和2)年度	消毒副生成物ガスクロマトグラフ質量分析計	5,764,000
2021 (令和3)年度	誘導結合プラズマ質量分析計、超純水製造装置	9,903,300
2022 (令和4)年度	固相カラム乾燥ユニット、実体顕微鏡、吹付け式試験管濃縮装置、ポータブルマルチ水質計、卓上pH計、高圧蒸気滅菌器	3,143,030
2023 (令和5)年度	QTトレー用シーラー、ウォーターバス、スーパードライングシェルフ、原子吸光光度計、細菌検査保冷庫、細菌検査冷藏冷凍庫、生物顕微鏡	7,162,320
2024 (令和6)年度	ポケット残留塩素計DR300、塩素要求量計、ガスクロマトグラフ質量分析装置VOC分析システム、紫外可視分光光度計、濁度・色度計、分析天びん、固相抽出装置、純水製造装置	26,002,240

6 給水原価の費用別内訳

(単位:円、税抜)

項目		年 度	2020 (令和2)年度	2021 (令和3)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度	
給水原価	営業費用	原水及び淨水費	動 力 費	166,648,202	176,331,889	234,100,543	221,103,994	223,935,500
			薬 品 費	165,967,252	150,855,190	172,817,546	156,668,426	182,652,682
			そ の 他 維 持 管 理 費	385,006,153	440,242,134	439,924,830	492,155,812	486,635,103
			計	717,621,607	767,429,213	846,842,919	869,928,232	893,223,285
		給 水 及 び 配 水 費		261,620,368	237,427,097	230,121,288	256,445,316	261,502,155
	メ 一 タ 一 費		メ 一 タ 一 費	8,420,884	13,277,837	12,525,971	14,899,105	14,178,359
			業 务 費	222,322,025	226,404,005	223,405,143	222,436,131	224,839,710
			計	575,535,072	494,553,258	440,824,412	496,645,255	505,507,749
	総 係 費	人 件 費	給 料・手 当・そ の 他	407,156,885	363,255,477	358,287,958	378,934,732	399,490,374
			退 職 給 付 費	83,875,060	49,008,150	7,440,310	31,768,180	26,928,350
			計	491,031,945	412,263,627	365,728,268	410,702,912	426,418,724
	原 価	そ の 他 維 持 管 理 費		84,503,127	82,289,631	75,096,144	85,942,343	79,089,025
			計	575,535,072	494,553,258	440,824,412	496,645,255	505,507,749
		減 値 償 却 費		1,763,698,590	1,778,361,526	1,803,043,122	1,827,545,926	1,852,793,043
	資 産 減 耗 費	資 産 減 耗 費		92,401,254	85,357,896	100,060,346	96,270,606	107,006,871
			計	3,641,619,800	3,602,810,832	3,656,823,201	3,784,170,571	3,859,051,172
		合 計		3,940,859,869	3,852,206,787	3,952,585,683	4,063,733,903	4,170,649,792
	給 水 原 価 (円 / m³)			219.74	216.73	225.31	234.00	241.00
	給 水 収 益			3,701,288,467	4,009,940,723	3,551,004,670	3,817,227,630	3,801,709,904
	供 給 単 價 (円 / m³)			206.38	225.61	202.42	219.80	219.68
	販 売 利 益			△ 13.36	8.88	△ 22.89	△ 14.20	△ 21.32
	有 収 水 量 (m³)			17,934,503	17,774,033	17,542,915	17,366,692	17,305,573

※ (1) 受託工事費は除く。

(2) 減価償却費及び資産減耗費は長期前受金戻入分を控除して算出している。

【参考】減免分を含んだ供給単価

項目	年 度	2020 (令和2)年度	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度	2024 (令和6)年度
給 水 原 価 (円 / m³)	219.74		225.31	234.00	241.00
給水収益	4,025,567,771		4,087,260,117	4,081,042,164	4,063,970,242
供 給 単 價(円 / m³)	224.46		232.99	234.99	234.84
販売利益	4.72		7.68	0.99	△ 6.16
有 収 水 量 (m³)	17,934,503		17,542,915	17,366,692	17,305,573

7 経営分析指標

(1) 決算書内の経営指標に関する項目

種 別	算 出 方 法	説 明	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)	2024年度(令和6) 計算式
経 常 収 支 比 率 (%)	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	事業体の収益性を表し、この比率が100%以上であることが望ましい。	117.82	114.57	110.89	$\frac{4,195,260,174 + 758,977,713}{4,156,162,989 + 311,598,620} \times 100$
料 金 回 収 率 (%)	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	供給単価と給水原価との関係を見るものであり、料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。	89.84	93.93	91.15	$\frac{219.68}{241.00} \times 100$
有 形 固 定 資 産 減 債 債 却 率 (%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表し、資産の老朽化度合いを示している。一般的に数値が高いほど、法定耐用年数に資産が多いことを示す。	51.89	53.00	53.27	$\frac{45,144,493,821}{84,739,989,374} \times 100$
管 路 経 年 化 率 (%)	$\frac{\text{法定耐用年数を超過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表し、管路の老朽化度合を示している。有形固定資産減価償却率や管路更新率の状況を踏まえ分析する必要がある。	37.96	41.01	42.00	$\frac{501,560}{1,194,070} \times 100$
管 路 更 新 化 率 (%)	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	当該年度に更新した管路延長の割合を表し、管路の更新ペースや状況を把握できる。有形固定資産減価償却率や管路経年化率の状況を踏まえ分析する必要がある。	0.31	0.20	0.27	$\frac{3,240}{1,194,070} \times 100$

(2) 構成比率

累 積 欠 損 金 比 率 (%)	$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	営業収益に対する累積欠損金の割合を表すものである。	0	0	0	$\frac{0}{4,195,260,174} = 24,762,115 \times 100$
不 良 債 務 比 率 (%)	$\frac{\text{流動負債} - (\text{流動資産} - \text{翌年度繰越財源})}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	営業収益に対する不良債務の割合を表すものである。	△ 24.9	△ 24.9	△ 22.1	$\frac{2,458,380,392}{4,195,260,174} = (3,380,537,485 - 0) \times 100$
固 定 資 産 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	総資産に対する固定資産の割合を示す。比率の小さい方が良いが、現金預金等の流動性要素が大きい。公営企業は施設事業であるため、一般的に高いのが特徴である。	91.5	89.8	94.7	$\frac{60,739,730,060}{60,739,730,060 + 3,380,537,485 + 0} \times 100$
固 定 負 債 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本に対する長期借入金の割合を示し、比率が低いほど経営の安定性が高いと言える。また、事業体の他人資本依存度を見ることができると。	39.6	40.0	42.3	$\frac{27,121,445,597}{64,120,267,545} = 0 \times 100$
自 己 資 本 構 成 比 率 (%)	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本に対する自己資本の割合を示し、企業財政の資本構成における将来にわたる安定性を表す。比率が高いほど経営の安定性が高い。	53.7	51.5	53.9	$\frac{20,627,921,252}{64,120,267,545} = 3,265,704,405 + 10,646,815,899 \times 100$
固 定 資 產 対 長 期 資 本 比 率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産がどのような財源で構成されているか、また、財政に流動性があるかを表す。比率が常に100%以下で、かつ、より低いことが望ましい。	98.1	98.1	98.5	$\frac{60,739,730,060}{23,893,625,657} = 27,121,445,597 + 10,646,815,899 \times 100$
固 定 比 率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	固定資産が、どの程度自己資本(自己資本金+剰余金)で調達されているかを表す。自己資本固定化の程度を示し、100%以下が望ましい。	170.4	174.4	175.9	$\frac{60,739,730,060}{20,627,921,252} = 3,265,704,405 + 10,646,815,899 \times 100$
流 動 比 率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	短期債務に対し流動資産がどの程度あるか(支払能力)を表す。比率が100%を下回っていれば、不良債務が発生していることになる。	126.2	120.0	137.5	$\frac{3,380,537,485}{2,458,380,392} \times 100$
当 座 比 率 (%)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	流動比率の補助比率として用いられ、100%以上であることが望ましく、高いほど良い。	120.6	116.4	131.0	$\frac{2,614,367,995}{2,458,380,392} = 645,762,563 - 40,402,263 \times 100$
現 金 預 金 比 率 (%)	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	企業の資金繰りの状況と即時支払能力を表す。20%以上が望ましい。	101.7	88.8	106.3	$\frac{2,614,367,995}{2,458,380,392} \times 100$

(3) 回転率

種 別	算 出 方 法	説 明	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)	2024年度(令和6) 計算式
自己資本回転率(回)	営業収益 - 受託工事収益 1/2(期首自己資本 + 期末自己資本)	自己資本の活動能率(利用度)を表すもので、この比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発なことを示すが、自己資本構成比率を含めて分析する必要がある。	0.13	0.14	0.13	$\frac{4,195,260,174}{1/2} - 24,762,115$ $30,013,256,353 + 34,540,441,556$
固定資産回転率(回)	営業収益 - 受託工事収益 1/2(期首固定資産 + 期末固定資産)	固定資産の利用度を表す。比率が高い場合は施設が有効に稼動していることになり、低い場合は一般的に過大投資となっている。	0.08	0.08	0.07	$\frac{4,195,260,174}{1/2} - 24,762,115$ $54,884,729,646 + 60,739,730,060$
現金預金回転率(回)	当年度支出額 1/2(期首現金預金 + 期末現金預金)	現金預金の回転の程度を表す。値が高いほど、現金預金の保有高が経営規模に比して小さいことを示す。	3.22	3.07	5.29	$\frac{19,192,163,639}{1/2} - 4,635,709,233$ $2,614,367,995$
未収金回転率(回)	営業収益 - 受託工事収益 1/2(期首未収金 + 期末未収金)	未収金の回収速度を表す。数値が高いほど未収金の回収速度が良好で、低い場合は不良債権があることを意味する。	5.06	3.72	3.90	$\frac{4,195,260,174}{1/2} - 24,762,115$ $1,494,044,059 + 645,762,563$

(4) 施設及び業務概況に関する指標

有 収 率 (%)	年間総有収水量 年間総配水量 × 100	年間総配水量に対する年間の総有収水量の割合で、100%に近づくほど配水効率が良い。	85.4	84.7	84.5	$\frac{17,305,570}{20,472,990} \times 100$
有 効 率 (%)	年間総有効水量 年間総配水量 × 100	給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標で、より高い方が望ましい。	89.9	89.4	89.4	$\frac{18,294,347}{20,472,990} \times 100$
負 荷 率 (%)	一日平均配水量 一日最大配水量 × 100	1日の最大配水量に対する一日平均配水量の割合で、比率が高いほど施設が1年を通じて、又は1日を通じて平均的に稼働していることになり、事業の経営体質が良いことを表している。	93.2	90.7	92.0	$\frac{56,090}{60,991} \times 100$
施 設 利 用 率 (%)	一日平均配水量 一日配水能力 × 100	施設がどれだけ効率的に利用されているかを表す。この比率が100%に近づくほど施設規模が適正で、効率よく稼動していることになる。	80.6	80.1	80.3	$\frac{56,090}{69,886} \times 100$
最 大 稼 働 率 (%)	一日最大配水量 一日配水能力 × 100	施設がどれだけ効率的に利用されているかを表す。この比率が100%を超えると、配水能力が最大配水量に不足することになる。	86.5	88.4	87.3	$\frac{60,991}{69,886} \times 100$
配 水 管 使 用 効 率 (m³/m)	年間総配水量 導送水配水管延長	地理的な配水管布設条件としての人家の密集度を表し、より高い方が望ましい。	17.3	17.2	17.1	$\frac{20,472,990}{1,194,070}$
固 定 資 産 使 用 効 率 (m³/万円)	年間総配水量 有形固定資産 × 10,000	配水を行うための固定資産の取得状況を見るもので、高い方が望ましい。低い場合は、配水管使用効率が低いこと、及び施設規模が水需要に対し適正に設定されていないことなどが考えられる。	4.1	3.7	3.4	$\frac{20,472,990}{60,732,664,121} \times 10,000$
供 給 単 價 (円/m³)	給水収益 年間総有収水量	給水量1m³当たりの収益を表す。	202.42	219.80	219.68	$\frac{3,801,709,904}{17,305,570}$
給 水 原 價 (円/m³)	経常費用 - (受託工事費 + 付帯事業費 + 材料及び不用品売却原価) - 長期前受金戻入 年間総有収水量	給水量1m³当たりの原価を表す。充足率(供給単価/給水原価)が100%以上であることが望ましく、給水原価が供給単価を上回ることは、経営状況の悪化につながる。	225.31	234.00	241.00	$\frac{4,467,761,609}{17,305,570} - 31,783,902 - 265,327,915$

生産性(職員数と事業の状況との関係)に関する項目

給 水 人 口 (人)	給水人口 損益勘定所属職員	職員数が適正規模かどうかを表し、数値は大きいほど良い。	2,950	2,845	2,745	$\frac{167,440}{61}$
有 収 水 量 (m³)	年間総有収水量 損益勘定所属職員	労働生産性(職員一人当たりの生産量)を表し、数値は大きいほど良い。	297,338	289,445	283,698	$\frac{17,305,570}{61}$
営 業 収 益 (千円)	営業収益 損益勘定所属職員	労働生産性(職員一人当たりの生産収益)を表し、数値は大きいほど良い。	66,507	70,250	68,775	$\frac{4,195,260}{61}$

(5) 損益収支及び資本収支に関する指標

種 別	算 出 方 法	説 明	2021年度 (令和3)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)	2024年度(令和6) 計算式
総資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{1/2(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})} \times 100$	総資本金に対する営業収益の割合であり、数値が大きいほど良好である。	0.07	0.07	0.07	$\frac{4,195,260,174}{1/2(61,151,299,267)} - 24,762,115$
総資本利益率 (%)	$\frac{\text{当年度純利益}}{1/2(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})} \times 100$	総資本回転率と収益利益率を合せたもので、投下した総資本に対してどれだけの純利益が生じているかを表す。比率が高いことが望ましい。	1.4	1.1	0.8	$\frac{486,476,278}{1/2(61,151,299,267 + 64,120,267,545)} \times 100$
収益利益率 (%)	$\frac{\text{当年度純利益}}{\text{総収益}} \times 100$	費用対収益比率(費用/収益×100)と表裏の関係にある指標で、水道事業のように資本の回転の遅い産業ではこの数値を高め、費用対収益比率を抑える必要がある。	15.1	12.7	9.8	$\frac{486,476,278}{4,954,237,887} \times 100$
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	事業体の収益性を表し、この比率が100%以上であることが望ましい。	117.82	114.57	110.89	$\frac{4,195,260,174 + 758,977,713}{4,156,162,989 + 311,598,620} \times 100$
営業収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	営業費用が営業収益で賄われているか、また、どの程度の利益率を上げているかを表す。この比率が100%未満であれば、健全経営とは言えない。	99.4	103.6	101.1	$\frac{4,195,260,174 - 24,762,115}{4,156,162,989 - 31,783,902} \times 100$

料金収入に関する比率

企 業 債 債 還 元 金	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	給水収益に対する企業債償還元金の割合を表し、この比率は低いことが望ましい。	46.2	41.9	41.9	$\frac{1,594,273,391}{3,801,709,904} \times 100$
企 業 債 利 息	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	給水収益に対する企業債償還利息の割合を表し、この比率は低いことが望ましい。	6.3	6.1	7.0	$\frac{265,109,015}{3,801,709,904} \times 100$
職 員 給 与 費	$\frac{\text{職員給与費(総係費分)}}{\text{給水収益}} \times 100$	給水収益に対する職員給与費の割合を表し、この比率は低いことが望ましい。	10.3	10.8	11.2	$\frac{426,418,724}{3,801,709,904} \times 100$

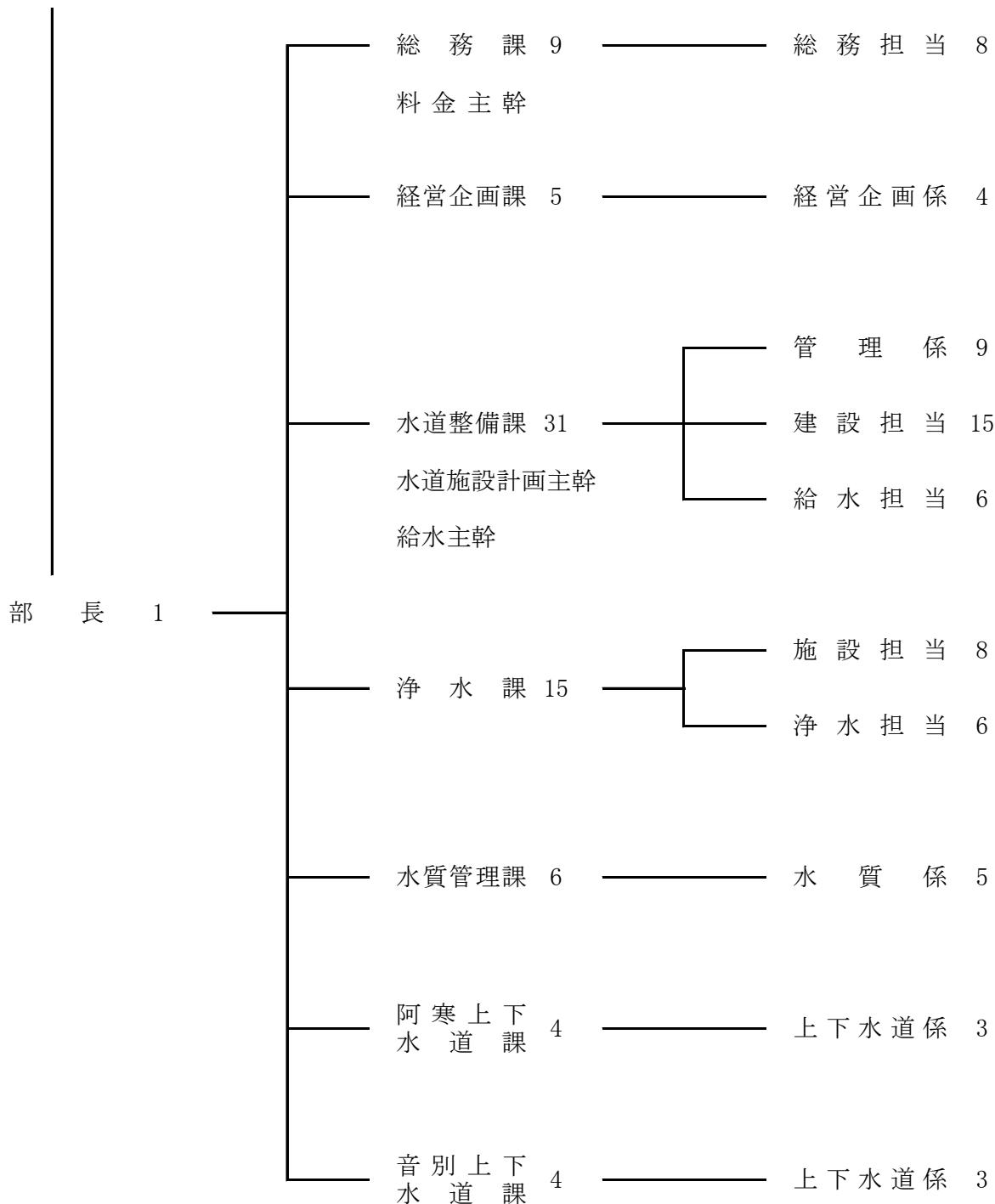
V 機 構

1 上下水道部(水道事業)機構図

職員定数 75名(特別職除く)

2025(令和7)年3月31日現在

公 営 企 業 管 理 者



2 事務分掌

2025（令和7）年3月31日現在

総務課

（総務担当）

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 文書の収発及び保存に関すること。
- (3) 上下水道に係る一般例規に関すること。
- (4) 職員の進退、身分及び服務に関すること。
- (5) 職員の諸給与及び研修に関すること。
- (6) 職員の福利厚生及び保健に関すること。
- (7) 労働組合に関すること。
- (8) 職員住宅に関すること。
- (9) 給水装置工事事業者の指定及び登録に関すること。
- (10) 日本水道協会に関すること。
- (11) 日本下水道協会に関すること。
- (12) 上下水道事業の市有車両に関すること。
- (13) 排水設備工事指定店の指定及び登録に関すること。
- (14) 排水設備責任技術者登録及び講習に関すること。
- (15) 上下水道事業の工事請負契約に関すること。
- (16) 上下水道事業の物品の購入契約に関すること。
- (17) 上下水道事業の物品の修繕契約に関すること。
- (18) 上下水道事業の不用品の売却契約に関すること。
- (19) 上下水道事業の直払品、貯蔵品の検収及び出納保管に関すること。
- (20) 序舎の維持管理に関すること。
- (21) 下水道供用開始の告示に関すること。
- (22) 上下水道賠償責任保険に関すること。
- (23) 下水道の普及促進に関すること。
- (24) 上下水道事業審議会に関すること。
- (25) 上下水道料金お客様サービスセンターに関すること。
- (26) 水道料金及び下水道使用料の調定及び業務報告書に関すること。
- (27) 下水道事業受益者負担金（区域外負担金を含む。以下同じ。）の賦課、入金処理等に関すること。
- (28) 下水道事業受益者負担金の徴収及び納付督励に関すること。
- (29) 下水道事業受益者負担金に係る滞納処分に関すること。
- (30) 下水道事業受益者負担金の徴収猶予及び減免に関すること。
- (31) 水洗便所改造資金の融資あっせんに関すること。
- (32) 水洗便所改造工事補助金の交付に関すること。
- (33) 水道及び下水道（工事用排水を除く。以下同じ。）の使用水量の決定に関すること。
- (34) 異常水量の決定及び認定に関すること。
- (35) 収納等の相談に関すること。

- (36) 水道料金及び下水道使用料の滞納整理並びに給水停止の決定に関すること。
- (37) 部内他課の所管に属しないこと。

経営企画課

(経営企画係)

- (1) 上下水道事業の経営に係る企画及び総合調整に関すること。
- (2) 上下水道事業の経営手法に関する調査研究に関すること。
- (3) 上下水道事業の経営計画に関すること。
- (4) 上下水道事業会計の予算及び決算の総括に関すること。
- (5) 上下水道事業の予算執行の総括及び調整に関すること。
- (6) 上下水道事業の資金計画及び長期債に関すること。
- (7) 上下水道事業の統計に関すること。
- (8) 上下水道事業の業務状況の公表及び経営状況報告に関すること。
- (9) 上下水道事業全般の広報に関すること。
- (10) 上下水道事業の現金、預金及び有価証券の出納保管に関すること。
- (11) 上下水道事業の入金及び出金の総括に関すること。
- (12) 上下水道事業の出納取扱金融機関等に関すること。
- (13) 上下水道事業の財産の取得、管理及び処分に関すること。

水道整備課

(管理係)

- (1) 送水管及び配水管の維持管理に関すること。
- (2) 給水装置(異常水量に関するこ除く。)の保全に関すること。
- (3) 消火栓の維持管理に関すること。
- (4) 漏水防止に関するこ。
- (5) 配水圧に関するこ。
- (6) 管路図台帳及び管路図(導水管を除く。)の整備に関するこ。
- (7) 貯水槽水道の検査等に関するこ。
- (8) 専用水道に関するこ。
- (9) 課内他係の所管に属しないこと。

(建設担当)

- (1) 水道施設の調査、計画及び審査に関するこ。
- (2) 水道施設の設計及び工事施行に関するこ。
- (3) 消火栓の設置工事に関するこ。
- (4) 水利権及び事業認可に関するこ。
- (5) 水道台帳の管理に関するこ。
- (6) 補助事業の申請及び完了検査に関するこ。

(給水担当)

- (1) 納入装置工事設計基準に関すること。
- (2) 納入装置工事設計の審査及び指導に関すること。
- (3) 納入装置工事の施行管理及び検査に関すること。
- (4) 納入装置所有者台帳の管理に関すること。
- (5) 納入装置工事事業者への指導に関すること。
- (6) 納入装置工事の相談に関すること。
- (7) メーターの整備計画及び実施に関すること。
- (8) メーターの維持補修に関すること。
- (9) メーター台帳の管理に関すること。

浄水課

(施設担当)

- (1) 水道施設(送配水管を除く。以下同じ。)の維持管理に関すること。
- (2) 水道施設の設備(電気、機械、計装等)の維持管理、計画及び工事に関すること。
- (3) 水道施設管理に係る調査に関すること。
- (4) 浄水汚泥の有効利用に関すること。
- (5) 課内他係の所管に属しないこと。

(浄水担当)

- (1) 取水、導水、浄水及び送配水施設の運転管理に関すること。
- (2) 浄水処理に関すること。
- (3) 水道用薬剤の管理に関すること。
- (4) 配水量の管理に関すること。
- (5) 排水処理施設の運転管理に関すること。
- (6) 浄水管理に係る調査に関すること。

水質管理課

(水質係)

- (1) 水源の水質保全に関すること。
- (2) 水道水の水質検査及び試験に関すること。
- (3) 水道水質の相談に関すること。
- (4) 原水から給水栓水までの水質管理に関すること。
- (5) 水道水質の調査及び研究に関すること。

阿寒上下水道課

(上下水道係)

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 文書の収発及び保存に関すること。
- (3) 上下水道事業(簡易水道を含む。以下同じ。)の広報事務に関すること。
- (4) 給水装置工事事業者の指定及び登録の事務に関すること。
- (5) 排水設備工事指定店の指定及び登録の事務に関すること。
- (6) 排水設備責任技術者登録及び講習の事務に関すること。
- (7) 上下水道事業の市有車両に関すること。
- (8) 上下水道事業の工事請負契約、物品購入契約及び物品修繕契約に関すること。
- (9) 上下水道事業の不用品の売却契約及び直払品・貯蔵品の検収及び出納保管に関すること。
- (10) 上下水道賠償責任保険の事務に関すること。
- (11) 下水道の普及促進事務に関すること。
- (12) 日本水道協会、日本下水道協会及び簡易水道北海道等環境整備協議会に関すること。
- (13) 水道料金及び下水道使用料の調定、入金処理等及び業務報告書に関すること。
- (14) 下水道事業受益者分担金に関すること。
- (15) 水道料金、下水道使用料及び下水道受益者分担金の納付、滞納整理等に関すること。
- (16) 水洗便所改造資金の融資あっせんに関すること。
- (17) 水洗便所改造工事補助金交付に関すること。
- (18) 委託検針員及び委託収納員に関すること。
- (19) 水道、下水道の使用開始、中止等の契約及び使用水量の計量、認定及び決定に関すること。
- (20) 上下水道施設(簡易水道を含む。以下同じ。)の調査、計画及び審査に関すること。
- (21) 上下水道施設の設計、更新及び工事施行に関すること。
- (22) 消火栓の設置工事及び維持管理に関すること。
- (23) 水利権及び事業認可の事務に関すること。
- (24) 上下水道の台帳及び道路図台帳の管理に関すること。
- (25) 上下水道事業の補助申請及び完了検査に関すること。
- (26) 净水汚泥及び下水汚泥の有効利用に関すること。
- (27) 原水から給水栓水まで及び下水道に係る水質の管理に関すること。
- (28) 給水装置工事設計基準に関すること。
- (29) 給水装置工事及び排水設備等の設計審査、指導、検査及び施行管理等に関すること。
- (30) 給水装置所有者台帳の管理に関すること。
- (31) 給水装置工事事業者及び排水設備工事指定店への指導に関すること。
- (32) メーターの整備、維持管理及びメータ一台帳の管理に関すること。
- (33) 異常水量の調査、決定及び認定に関すること。
- (34) 上下水道施設全般の維持管理及び運転管理に関すること。
- (35) 漏水防止及び配水圧に関すること。
- (36) 净水処理、配水量管理及び水道用薬剤の管理に関すること。
- (37) 貯水槽水道の検査等に関すること。
- (38) 公共下水道(特定環境公共下水道を含む。以下同じ。)の指導及び調査に関すること。

- (39) 公共下水道の管渠工事の調査、設計及び施行に関すること。
- (40) 私道内の公共下水道に関すること。
- (41) 公共ます等工事の新設受付、設計及び積算施行に関すること。
- (42) 申請者設置の汚水ます及び汚水ます新設工事に係る下水道台帳図の整理に関すること。
- (43) 開発行為等に係る下水道施設の指導及び検査に関すること。
- (44) 公共ます等の接続確認調査並びに工事用排水の認定等に関すること。

音別上下水道課

(上下水道係)

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 文書の収発及び保存に関すること。
- (3) 上下水道事業(簡易水道を含む。以下同じ。)の広報事務に関すること。
- (4) 給水装置工事事業者の指定及び登録の事務に関すること。
- (5) 排水設備工事指定店の指定及び登録の事務に関すること。
- (6) 排水設備責任技術者登録及び講習の事務に関すること。
- (7) 上下水道事業の市有車両に関すること。
- (8) 上下工業用水道事業の工事請負契約、物品購入契約及び物品修繕契約に関すること。
- (9) 上下水道事業の不用品の売却契約及び直払品・貯蔵品の検収及び出納保管に関すること。
- (10) 上下水道賠償責任保険の事務に関すること。
- (11) 下水道の普及促進事務に関すること。
- (12) 日本水道協会、日本下水道協会、日本工業用水協会及び簡易水道北海道等環境整備協議会に関すること。
- (13) 水道料金、下水道使用料及び工業用水道料金の調定、入金処理等及び業務報告書に関すること。
- (14) 下水道事業受益者分担金に関すること。
- (15) 水道料金、下水道使用料、工業用水道料金及び下水道受益者分担金の納付・滞納整理等に関すること。
- (16) 水洗便所改造資金の融資あっせんに関すること。
- (17) 水洗便所改造工事補助金交付に関すること。
- (18) 委託検針員及び委託収納員に関すること。
- (19) 水道、下水道及び工業用水道の使用開始、中止等の契約及び使用水量の計量、認定及び決定に関すること。
- (20) 上下水道施設(簡易水道を含む。以下同じ。)及び工業用水道施設の調査、計画及び審査に関すること。
- (21) 上下水道施設及び工業用水道施設の設計、更新及び工事施行に関すること。
- (22) 消火栓の設置工事及び維持管理に関すること。
- (23) 水利権及び事業認可の事務に関すること。
- (24) 上下水道及び工業用水道の台帳及び管路図台帳の管理に関すること。
- (25) 上下水道事業及び工業用水道事業の補助申請及び完了検査に関すること。
- (26) 净水汚泥及び下水汚泥の有効利用に関すること。

- (27) 原水から給水栓水まで及び下水道に係る水質の管理に関すること。
- (28) 納水装置工事設計基準に関すること。
- (29) 納水装置工事及び排水設備等の設計審査、指導、検査及び施行管理等に関すること。
- (30) 納水装置所有者台帳の管理に関すること。
- (31) 納水装置工事事業者及び排水設備工事指定店への指導に関すること。
- (32) メーターの整備、維持管理及びメータ一台帳の管理に関すること。
- (33) 異常水量の調査、決定及び認定に関すること。
- (34) 上下水道施設及び工業用水道施設全般の維持管理及び運転管理に関すること。
- (35) 漏水防止及び配水圧に関すること。
- (36) 净水処理、配水量管理及び水道用薬剤の管理に関すること。
- (37) 貯水槽水道の検査等に関すること。
- (38) 公共下水道(特定環境公共下水道を含む。以下同じ。)の指導及び調査に関すること。
- (39) 公共下水道の管渠工事の調査、設計及び施行に関すること。
- (40) 私道内の公共下水道に関すること。
- (41) 公共ます等工事の新設受付、設計及び積算施行に関すること。
- (42) 申請者設置の汚水ます及び汚水ます新設工事に係る下水道台帳図の整理に関すること。
- (43) 開発行為等に係る下水道施設の指導及び検査に関すること。
- (44) 公共ます等の接続確認調査並びに工事用排水の認定等に関すること。
- (45) 工業用水道全般の総括及び調整に関すること。
- (46) 工業用水道事業会計の予算及び決算に関すること。
- (47) 工業用水道事業の予算執行及び調整に関すること。
- (48) 工業用水道事業の財産の取得、管理及び処分に関すること。
- (49) 工業用水道事業の業務統計及び経理状況報告に関すること。
- (50) 工業用水道事業の営業の企画及び長期経営計画に関すること。
- (51) 工業用水道事業の財政計画及び資金計画に関すること。
- (52) 工業用水道事業の現金及び有価証券の出納保管に関すること。
- (53) 工業用水道事業の入金及び出金に関すること。
- (54) 工業用水道事業の出納取扱金融機関に関すること。
- (55) 工業用水道の供給に関すること。
- (56) 工業用水道資機材の管理及び給水装置に関すること。
- (57) 工業用水道の取水場に関すること。
- (58) 工業用水道水質の試験に関すること。
- (59) 工業用水道の給水記録の整理及び報告に関すること。

3 職員配置表

定員:76人

現員:76人

(単位:人)

所 属	区 分	特 別 職	企 業 職		計	備 考
			事 勿	技 術		
	管 理 者	1			1	
	部 長		1		1	
総務課	課 長		1		1	
	主 幹		1		1	
	総務担当		7		7	
	小 計		9		9	
企画営業課	課 長		1		1	
	経営企画係		4		4	
	小 計		5		5	
水道整備課	課 長			1	1	
	主 幹			2	2	
	管理係		1	8	9	
	建設担当			14	14	
	給水担当			5	5	
	小 計		1	30	31	
浄水課	課 長			1	1	
	施設担当		1	7	8	
	浄水担当			6	6	
	小 計		1	14	15	
水管理質課	課 長		1		1	
	水質係			5	5	
	小 計		1	5	6	
阿寒上下水道課	課 長			1	1	
	上下水道係		1	2	3	
	小 計		1	3	4	
音水別上下水道課	課 長			1	1	
	上下水道係		1	2	3	
	小 計		1	3	4	
合 計		1	20	55	76	

2025(令和7)年3月31日現在

4 職員構成

(1) 年齢別職員構成

2025(令和7)年3月31日現在

年齢別 区分	事務職員 (人)	技術職員 (人)	計 (人)	構成比 (%)
20歳未満	1	0	1	1.4
20歳以上25歳未満	2	0	2	2.7
25歳以上30歳未満	1	7	8	10.7
30歳以上35歳未満	2	8	10	13.3
35歳以上40歳未満	2	11	13	17.3
40歳以上45歳未満	3	4	7	9.3
45歳以上50歳未満	2	11	13	17.3
50歳以上55歳未満	4	5	9	12.0
55歳以上	3	9	12	16.0
計	20	55	75	100.0
平均年齢	42歳4ヶ月	42歳5ヶ月	42歳5ヶ月	—

(特別職除く)

(2) 勤続年数別職員構成(企業経験年数)

2025(令和7)年3月31日現在

年齢別 区分	事務職員 (人)	技術職員 (人)	計 (人)	構成比 (%)
1年未満	3	5	8	10.7
1年以上5年未満	9	14	23	30.7
5年以上10年未満	5	13	18	24.0
10年以上15年未満	0	10	10	13.3
15年以上20年未満	0	3	3	4.0
20年以上25年未満	3	4	7	9.3
25年以上30年未満	0	6	6	8.0
30年以上	0	0	0	0.0
計	20	55	75	100.0
平均勤続年数	7.0年	10.8年	9.6年	—

(特別職除く)

5 納入状況

(1) 一般職

損益勘定支弁職員: 延べ支給人員 636人(特別職除く)

資本勘定支弁職員: 延べ支給人員 264人

2025(令和7)年3月31日現在、単位:円

種 別	区 分 損益勘定支弁職員 (53人)	資本勘定支弁職員 (22人)	1人当たり平均支給額	
			月 額	年 額
基 本 納	204,521,504	88,878,866	326,000	3,912,005
諸 手 当	通 勤 手 当	3,983,620	1,368,060	5,946
	超 過 勤 務 手 当	8,253,879	5,491,036	15,272
	特 殊 勤 務 手 当	236,290	2,400	265
	寒 冷 地 手 当	4,923,500	2,123,500	7,830
	期 末・勤 勉 手 当	80,109,927	35,972,809	128,981
	住 居 手 当	5,875,440	3,430,000	10,339
	そ の 他 手 当	13,963,000	4,380,000	20,381
合 計	117,345,656	52,767,805	189,014	2,268,181
合 計	321,867,160	141,646,671	515,014	6,180,186

※ (1) 基本給は給料及び扶養手当である。

(2) 期末・勤勉手当は実支給額である。

(3) 退職給付費、法定福利費は除く。通勤手当は税込で算出している。

(4) 1人当たり平均支給額は、延べ支給人員で算出している。(延べ年間支給人員 900 人)

(2) 会計年度任用職員

損益勘定支弁職員: 延べ支給人員 88人

資本勘定支弁職員: 延べ支給人員 12人

2025(令和7)年3月31日現在、単位:円

種 別	区 分 損益勘定支弁職員 (8人)	資本勘定支弁職員 (1人)	1人当たり平均支給額	
			月 額	年 額
給 料	14,388,040	1,664,892	160,529	1,926,352
諸 手 当	通 勤 手 当	311,600	0	3,116
	超 過 勤 務 手 当	678,152	0	6,782
	特 殊 勤 務 手 当	36,610	0	366
	寒 冷 地 手 当	0	0	0
	期 末・勤 勉 手 当	4,936,721	638,206	55,749
	住 居 手 当	0	0	0
	そ の 他 手 当	0	0	0
合 計	5,963,083	638,206	66,013	792,154
合 計	20,351,123	2,303,098	226,542	2,718,506

※ (1) 期末手当は実支給額である。

(2) 法定福利費は除く。通勤手当は税込で算出している。

(3) 1人当たり平均支給額は、延べ支給人員で算出している。(延べ年間支給人員 100 人)

く し ろ の 水 道
2024(令和 6)年度

2025(令和 7)年 9 月発行

[編集・発行]

釧路市上下水道部経営企画課

〒085-0841 釧路市南大通 2 丁目 1 番 121 号

TEL 0154-43-2169

FAX 0154-43-0080